

令和4年度 貝塚市人権問題に関する市民意識調査
報 告 書

令和5年4月

貝塚市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査実施概要	1
3. 標本誤差	1
4. 報告書の見方	2
II 調査結果	3
1. 回答者自身のことについて	3
2. 人権全般について	4
3. 女性に関する人権について	51
4. 子どもに関する人権について	60
5. 高齢者に関する人権について	70
6. 障害者に関する人権について	79
7. 外国人に関する人権について	87
8. インターネットによる人権侵害について	96
9. 性的マイノリティ（性的指向の異なる人や性別違和など）の人権について	104
10. 同和問題について	113
11. 人権問題に関する学習やその解決に向けた取組について	127
III 調査票	137

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、貝塚市が今後の人権施策を推進する基礎資料として活用するため実施しました。

2. 調査実施概要

対 象	貝塚市内在住の満18歳以上の方 2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)
調査実施時期	令和4年11月1日(火)～11月25日(金)
調査方法	郵送配布、郵送回収
有効回答数	695件(34.8%)

3. 標本誤差

一般的に標本調査においては、信頼度95%のレベルでの結果を評価することが妥当とされており、信頼度95%における標本誤差は次の式で算出されます。主な標本誤差については下表の通りです。

例えば695人が回答している設問について、ある選択肢に回答した比率が50%であった場合、回答比率の誤差範囲は±3.7% (46.3%～53.7%) の間にあることが推測できます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

信頼度95%：同一の調査を100回実施した場合、うち95回はこの誤差の範囲におさまるとのこと

N：母集団数（令和4年10月1日時点の18歳以上の男女70,556人）

n：標本数（本調査では回答総数=695）

P：測定値（回答の比率）

		P(%)	n									
			5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
全体		695	±1.6%	±2.2%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.4%	±3.5%	±3.6%	±3.7%	±3.7%
男性	18・19歳	8	±15.1%	±20.8%	±24.7%	±27.7%	±30.0%	±31.8%	±33.1%	±33.9%	±34.5%	±34.6%
	20～29歳	21	±9.3%	±12.8%	±15.3%	±17.1%	±18.5%	±19.6%	±20.4%	±21.0%	±21.3%	±21.4%
	30～39歳	22	±9.1%	±12.5%	±14.9%	±16.7%	±18.1%	±19.1%	±19.9%	±20.5%	±20.8%	±20.9%
	40～49歳	41	±6.7%	±9.2%	±10.9%	±12.2%	±13.3%	±14.0%	±14.6%	±15.0%	±15.2%	±15.3%
	50～59歳	42	±6.6%	±9.1%	±10.8%	±12.1%	±13.1%	±13.9%	±14.4%	±14.8%	±15.0%	±15.1%
	60～69歳	53	±5.9%	±8.1%	±9.6%	±10.8%	±11.7%	±12.3%	±12.8%	±13.2%	±13.4%	±13.5%
	70歳以上	99	±4.3%	±5.9%	±7.0%	±7.9%	±8.5%	±9.0%	±9.4%	±9.6%	±9.8%	±9.8%
女性	18・19歳	4	±21.4%	±29.4%	±35.0%	±39.2%	±42.4%	±44.9%	±46.7%	±48.0%	±48.8%	±49.0%
	20～29歳	29	±7.9%	±10.9%	±13.0%	±14.6%	±15.8%	±16.7%	±17.4%	±17.8%	±18.1%	±18.2%
	30～39歳	41	±6.7%	±9.2%	±10.9%	±12.2%	±13.3%	±14.0%	±14.6%	±15.0%	±15.2%	±15.3%
	40～49歳	57	±5.7%	±7.8%	±9.3%	±10.4%	±11.2%	±11.9%	±12.4%	±12.7%	±12.9%	±13.0%
	50～59歳	73	±5.0%	±6.9%	±8.2%	±9.2%	±9.9%	±10.5%	±10.9%	±11.2%	±11.4%	±11.5%
	60～69歳	66	±5.3%	±7.2%	±8.6%	±9.6%	±10.4%	±11.1%	±11.5%	±11.8%	±12.0%	±12.1%
	70歳以上	109	±4.1%	±5.6%	±6.7%	±7.5%	±8.1%	±8.6%	±8.9%	±9.2%	±9.3%	±9.4%

4. 報告書の見方

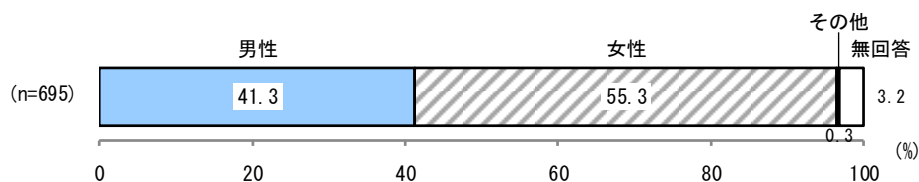
- ・ 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・ 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ・ 表については、報告書内で注目している箇所を「+太字」表記にしています。
- ・ クロス集計において、回答者数（n）が少数となる場合は標本誤差が大きくなるため、参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意が必要です。
- ・ 18・19歳は回答者数が12人（男性：8人、女性：4人）と少なく、標本誤差が大きい可能性が高いため、年代別や性年代別のクロス集計における分析コメントの対象からは除外しています。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者自身のことについて

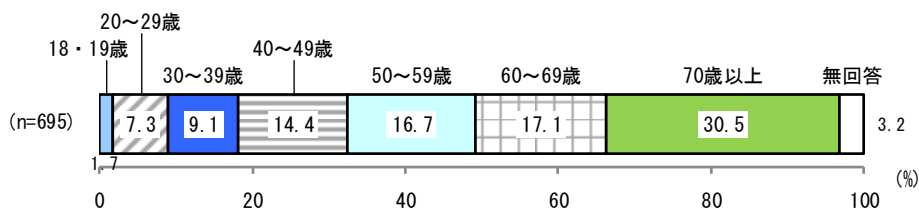
問23 あなたの性別についておたずねします。

回答者の性別については、「男性」が41.3%、「女性」が55.3%、「その他」が0.3%となっています。



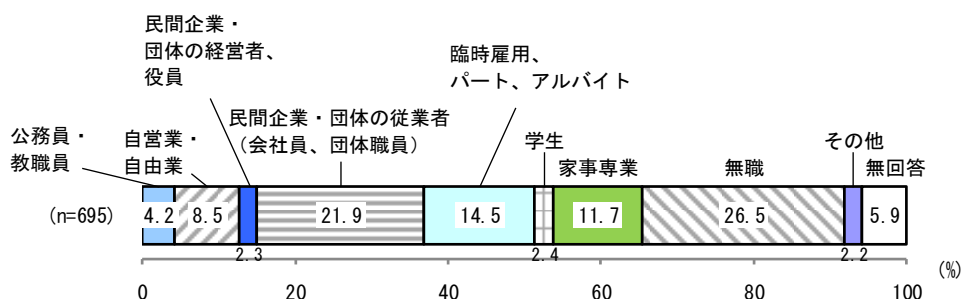
問24 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか。(令和4年10月1日現在)

回答者の年齢については、「70歳以上」が30.5%と最も高く、次いで「60～69歳」(17.1%)、「50～59歳」(16.7%)となっています。



問25 あなたのお仕事（職業）は次のうちどれにあてはまりますか。

回答者の職業については、「無職」が26.5%と最も高く、次いで「民間企業・団体の従業者（会社員、団体職員）」(21.9%)、「臨時雇用、パート、アルバイト」(14.5%)となっています。



2. 人権全般について

問1 人権を取り巻く社会の状況について、あなたはどのように思いますか。

(1) 今の社会は、基本的人権が尊重されている社会である

今の社会は、基本的人権が尊重されている社会であるかについては、「どちらかといえばそう思う」が38.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.0%)、「そう思う」(12.4%)となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は50.7%となっています。

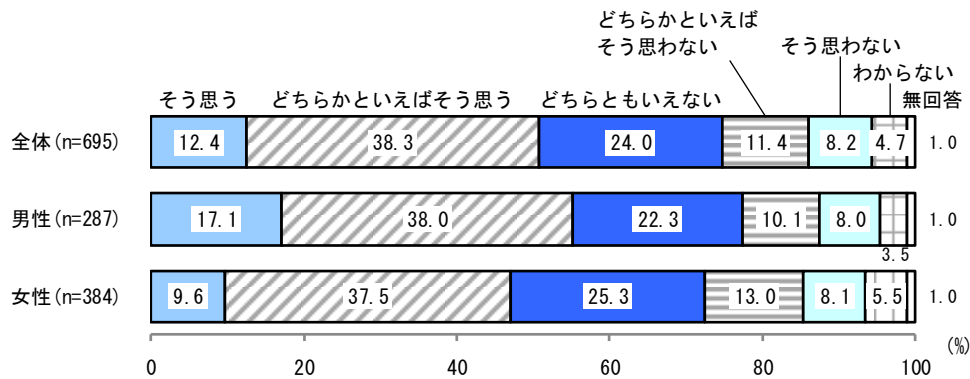
性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は女性(47.1%)より男性(55.1%)のほうが8.0ポイント高くなっています。

年代別でみると、「そう思う」は70歳以上(18.9%)で2割近くを占め高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体	695	12.4	38.3	24.0	11.4	8.2	4.7	1.0
年代別								
18・19歳	12	8.3	41.7	16.7	16.7	8.3	8.3	-
20～29歳	51	17.6	31.4	21.6	13.7	7.8	5.9	2.0
30～39歳	63	9.5	34.9	27.0	12.7	12.7	3.2	-
40～49歳	100	7.0	34.0	36.0	8.0	14.0	1.0	-
50～59歳	116	6.9	44.0	25.9	14.7	5.2	3.4	-
60～69歳	119	11.8	42.0	21.8	14.3	5.0	4.2	0.8
70歳以上	212	18.9	36.3	18.4	9.4	7.1	7.5	2.4
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	10.1	41.2	26.0	11.5	8.1	2.4	0.7
学習経験なし又は覚えていない	218	16.1	33.9	20.6	12.4	7.8	8.3	0.9
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	11.4	39.5	23.7	13.2	8.8	2.6	0.9
参加経験なし	560	12.3	38.6	23.8	11.4	8.0	5.2	0.7

(2) 市民一人ひとりの人権意識は、ここ10年間で高くなっている

市民一人ひとりの人権意識は、ここ10年間で高くなっているかについては、「どちらかといえばそう思う」が32.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(29.9%)、「そう思う」(13.1%)となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は45.5%となっています。

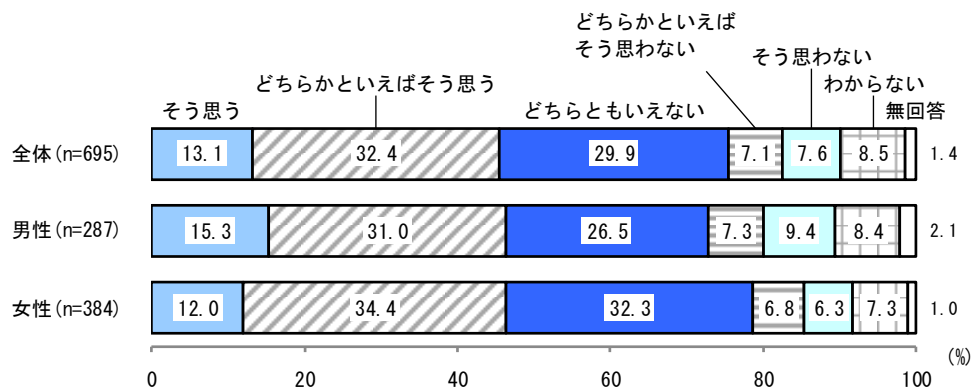
性別でみると、「どちらともいえない」は男性(26.5%)より女性(32.3%)のほうが5.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、「そう思う」は70歳以上(18.9%)で2割近くを占め高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	そう思わない	わからない	無回答
全体	695	13.1	32.4	29.9	7.1	7.6	8.5
年代別							
18・19歳	12	16.7	50.0	8.3	8.3	16.7	-
20～29歳	51	13.7	35.3	25.5	9.8	5.9	7.8
30～39歳	63	7.9	31.7	33.3	6.3	12.7	7.9
40～49歳	100	15.0	26.0	37.0	5.0	12.0	5.0
50～59歳	116	6.0	36.2	37.1	12.1	2.6	6.0
60～69歳	119	11.8	34.5	32.8	4.2	7.6	8.4
70歳以上	212	18.9	31.1	22.2	5.7	7.1	11.3
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	12.1	34.6	30.0	8.1	7.7	6.8
学習経験なし又は覚えていない	218	14.2	28.9	30.3	5.5	7.8	11.5
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	14.9	29.8	28.1	11.4	7.0	7.9
参加経験なし	560	12.5	33.4	30.0	6.4	7.7	8.8

(3) ここ10年間で、人権が侵害されることは減っている

ここ10年間で、人権が侵害されることは減っているかについては、「どちらともいえない」が32.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(23.7%)、「どちらかといえばそう思わない」(11.7%)となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は34.1%となっています。

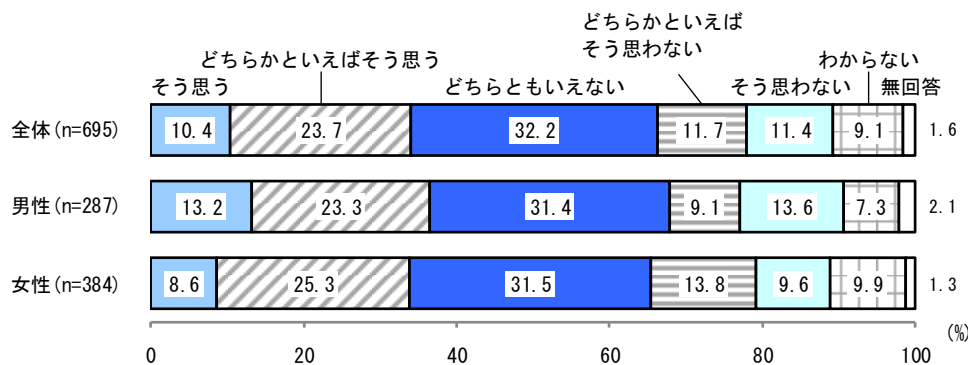
性別でみると、「どちらかといえばそう思わない」は男性(9.1%)より女性(13.8%)のほうが4.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、「そう思う」は70歳以上(15.1%)で1割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は、学習経験あり(26.0%)で学習経験なし又は覚えていない(18.3%)より7.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』は参加経験あり(28.9%)で参加経験なし(21.6%)より7.3ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体	695	10.4	23.7	32.2	11.7	11.4	9.1	1.6
年代別								
18・19歳	12	16.7	25.0	16.7	25.0	16.7	-	-
20～29歳	51	9.8	21.6	33.3	11.8	17.6	3.9	2.0
30～39歳	63	6.3	27.0	41.3	11.1	11.1	3.2	-
40～49歳	100	7.0	26.0	33.0	11.0	18.0	5.0	-
50～59歳	116	7.8	23.3	35.3	19.0	9.5	5.2	-
60～69歳	119	9.2	26.1	29.4	12.6	12.6	9.2	0.8
70歳以上	212	15.1	23.1	26.4	7.1	7.5	16.5	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	9.3	25.1	34.4	13.2	12.8	4.4	0.9
学習経験なし又は覚えていない	218	12.4	21.6	28.0	8.7	9.6	17.9	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	14.0	18.4	31.6	14.9	14.0	6.1	0.9
参加経験なし	560	9.5	25.0	32.9	10.5	11.1	9.6	1.4

問2 人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたは次の(1)～(19)の人権に関心をお持ちですか。

(1) 女性に関する人権問題

女性に関する人権問題については、「少し関心がある」が48.9%、「関心がある」が39.1%、「関心がない」が9.8%となっています。

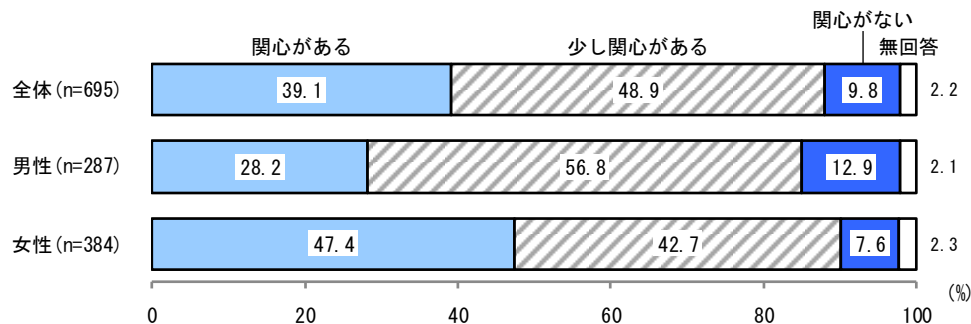
性別でみると、「関心がある」は男性(28.2%)より女性(47.4%)のほうが19.2ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「関心がある」は女性の20～29歳(75.9%)で7割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がない」は学習経験なし又は覚えていない(14.2%)で学習経験あり(7.7%)より6.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「関心がない」は参加経験なし(10.9%)で参加経験あり(5.3%)より5.6ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

		調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体		695	39.1	48.9	9.8	2.2
性年代別						
男性	18・19歳	8	62.5	25.0	12.5	-
	20～29歳	21	23.8	66.7	9.5	-
	30～39歳	22	27.3	50.0	22.7	-
	40～49歳	41	31.7	53.7	14.6	-
	50～59歳	42	11.9	71.4	14.3	2.4
	60～69歳	53	28.3	60.4	9.4	1.9
	70歳以上	99	32.3	51.5	12.1	4.0
女性	18・19歳	4	50.0	-	25.0	25.0
	20～29歳	29	75.9	17.2	6.9	-
	30～39歳	41	46.3	46.3	7.3	-
	40～49歳	57	47.4	40.4	10.5	1.8
	50～59歳	73	49.3	45.2	2.7	2.7
	60～69歳	66	45.5	48.5	6.1	-
	70歳以上	109	40.4	45.0	10.1	4.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別						
学習経験あり		454	41.4	49.1	7.7	1.8
学習経験なし又は覚えていない		218	34.9	49.1	14.2	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別						
参加経験あり		114	37.7	52.6	5.3	4.4
参加経験なし		560	39.6	48.0	10.9	1.4

(2) 子どもに関する人権問題

子どもに関する人権問題については、「関心がある」が51.5%、「少し関心がある」が37.8%、「関心がない」が8.8%となっています。

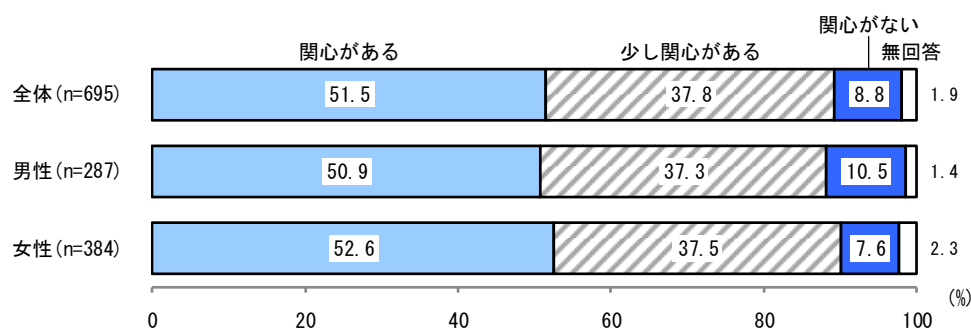
性別で大きな差はみられません。

性年代別でみると、「関心がある」が女性の20～29歳（79.3%）で8割近くを占めて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がない」は学習経験なし又は覚えていない（12.4%）で学習経験あり（6.4%）より6.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

		調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体		695	51.5	37.8	8.8	1.9
性年代別						
男性	18・19歳	8	62.5	37.5	-	-
	20～29歳	21	42.9	52.4	4.8	-
	30～39歳	22	50.0	36.4	13.6	-
	40～49歳	41	51.2	29.3	19.5	-
	50～59歳	42	28.6	57.1	14.3	-
	60～69歳	53	58.5	37.7	1.9	1.9
	70歳以上	99	57.6	29.3	10.1	3.0
女性	18・19歳	4	50.0	-	25.0	25.0
	20～29歳	29	79.3	20.7	-	-
	30～39歳	41	61.0	31.7	7.3	-
	40～49歳	57	56.1	36.8	7.0	-
	50～59歳	73	46.6	43.8	6.8	2.7
	60～69歳	66	47.0	43.9	9.1	-
	70歳以上	109	48.6	37.6	9.2	4.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別						
学習経験あり		454	54.4	38.1	6.4	1.1
学習経験なし又は覚えていない		218	47.2	37.6	12.4	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別						
参加経験あり		114	53.5	34.2	8.8	3.5
参加経験なし		560	51.1	39.1	8.6	1.3

(3) 高齢者に関する人権問題

高齢者に関する人権問題については、「関心がある」が45.2%、「少し関心がある」が42.2%、「関心がない」が10.8%となっています。

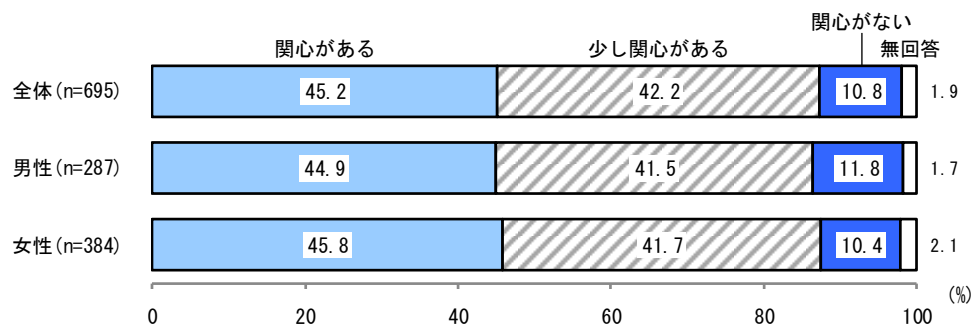
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「関心がない」は30～39歳（25.4%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	45.2	42.2	10.8	1.9
年代別					
18・19歳	12	50.0	33.3	8.3	8.3
20～29歳	51	21.6	58.8	19.6	-
30～39歳	63	25.4	49.2	25.4	-
40～49歳	100	35.0	48.0	17.0	-
50～59歳	116	41.4	50.0	6.9	1.7
60～69歳	119	52.9	41.2	5.0	0.8
70歳以上	212	59.4	29.2	7.5	3.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	42.7	46.0	10.6	0.7
学習経験なし又は覚えていない	218	50.0	36.2	11.0	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	55.3	31.6	11.4	1.8
参加経験なし	560	42.5	45.2	10.7	1.6

(4) 障害者に関する人権問題

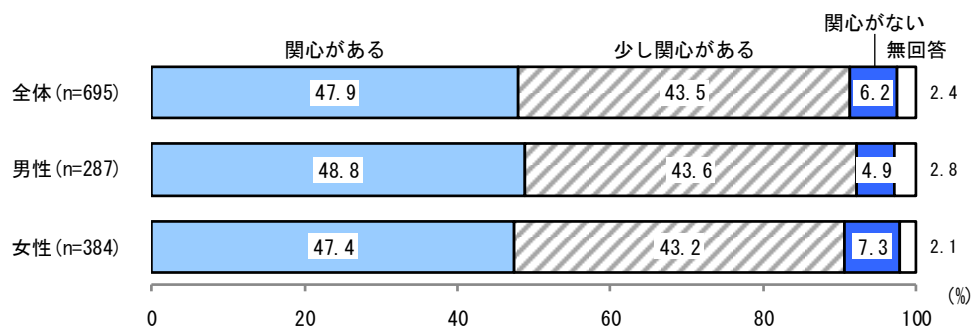
障害者に関する人権問題については、「関心がある」が47.9%、「少し関心がある」が43.5%、「関心がない」が6.2%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	47.9	43.5	6.2	2.4
年代別					
18・19歳	12	58.3	25.0	8.3	8.3
20～29歳	51	47.1	43.1	9.8	-
30～39歳	63	46.0	47.6	6.3	-
40～49歳	100	38.0	54.0	8.0	-
50～59歳	116	43.1	51.7	3.4	1.7
60～69歳	119	46.2	46.2	5.0	2.5
70歳以上	212	56.6	32.5	6.6	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	46.3	47.4	5.3	1.1
学習経験なし又は覚えていない	218	50.9	37.6	7.3	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	47.4	46.5	3.5	2.6
参加経験なし	560	47.1	43.9	6.6	2.3

(5) 同和問題（部落差別）

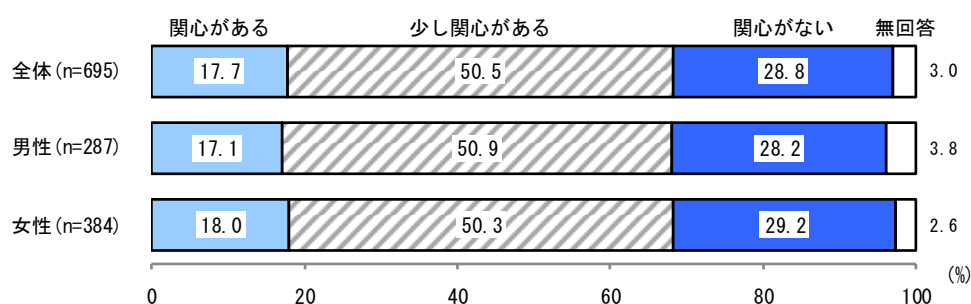
同和問題(部落差別)については、「少し関心がある」が50.5%、「関心がない」が28.8%、「関心がある」が17.7%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は、学習経験あり（73.5%）で学習経験なし又は覚えていない（57.3%）より16.2ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「少し関心がある」は参加経験あり（61.4%）で参加経験なし（48.6%）より12.8ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	17.7	50.5	28.8	3.0
年代別					
18・19歳	12	33.3	33.3	25.0	8.3
20～29歳	51	19.6	58.8	21.6	-
30～39歳	63	17.5	58.7	23.8	-
40～49歳	100	15.0	50.0	35.0	-
50～59歳	116	19.0	49.1	30.2	1.7
60～69歳	119	16.0	55.5	25.2	3.4
70歳以上	212	17.9	45.3	30.7	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	17.6	55.9	24.9	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	16.5	40.8	37.6	5.0
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	16.7	61.4	17.5	4.4
参加経験なし	560	17.7	48.6	31.3	2.5

(6) 日本に居住している外国人に関する人権問題

日本に居住している外国人に関する人権問題については、「少し関心がある」が54.1%、「関心がない」が24.3%、「関心がある」が19.0%となっています。

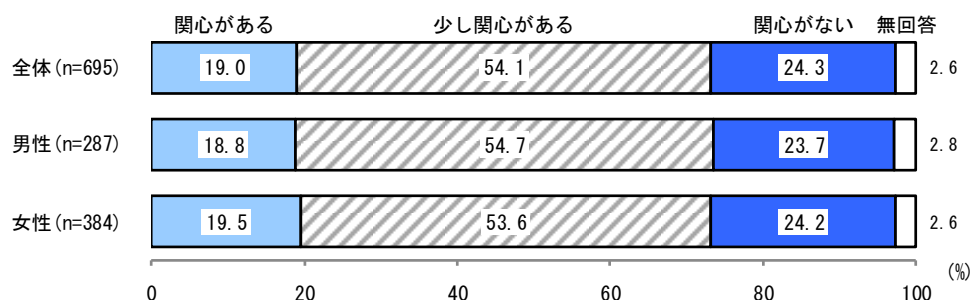
性別で大きな差はみられません。

年代別で見ると、「関心がない」は40～49歳（33.0%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で見ると、「関心がある」は、学習経験あり（21.6%）で学習経験なし又は覚えていない（13.3%）より8.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	19.0	54.1	24.3	2.6
年代別					
18・19歳	12	50.0	33.3	8.3	8.3
20～29歳	51	33.3	45.1	21.6	-
30～39歳	63	25.4	46.0	28.6	-
40～49歳	100	19.0	47.0	33.0	1.0
50～59歳	116	18.1	61.2	19.0	1.7
60～69歳	119	14.3	61.3	21.8	2.5
70歳以上	212	16.0	54.7	24.1	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	21.6	54.8	21.8	1.8
学習経験なし又は覚えていない	218	13.3	55.0	28.4	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	21.1	49.1	26.3	3.5
参加経験なし	560	18.6	55.5	23.8	2.1

(7) HIV感染者、ハンセン病患者・回復者及びその家族に関する人権問題

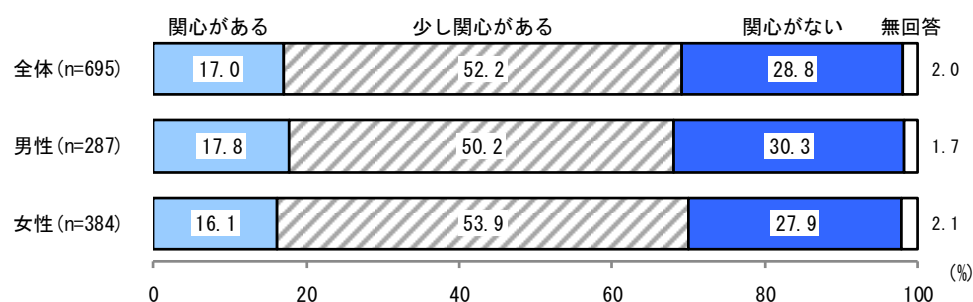
HIV感染者、ハンセン病患者等の人権問題については、「少し関心がある」が52.2%、「関心がない」が28.8%、「関心がある」が17.0%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「少し関心がある」は、学習経験あり（57.0%）で学習経験なし又は覚えていない（44.0%）より13.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	17.0	52.2	28.8	2.0
年代別					
18・19歳	12	41.7	41.7	8.3	8.3
20～29歳	51	13.7	52.9	33.3	-
30～39歳	63	12.7	52.4	34.9	-
40～49歳	100	14.0	49.0	37.0	-
50～59歳	116	14.7	62.1	21.6	1.7
60～69歳	119	14.3	61.3	23.5	0.8
70歳以上	212	21.2	43.9	30.7	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	16.3	57.0	25.3	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	17.4	44.0	36.2	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	17.5	51.8	28.1	2.6
参加経験なし	560	16.1	52.9	29.5	1.6

(8) こころの病（うつ病、依存症など）をもつ人に関する人権問題

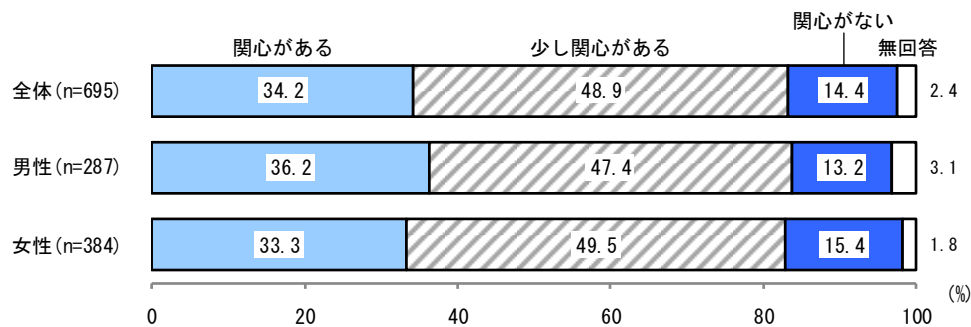
こころの病をもつ人に関する人権問題については、「少し関心がある」が48.9%、「関心がある」が34.2%、「関心がない」が14.4%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」が学習経験あり（36.3%）で学習経験なし又は覚えていない（30.3%）より6.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	34.2	48.9	14.4	2.4
年代別					
18・19歳	12	75.0	8.3	8.3	8.3
20～29歳	51	47.1	39.2	13.7	-
30～39歳	63	28.6	52.4	19.0	-
40～49歳	100	33.0	48.0	19.0	-
50～59歳	116	35.3	49.1	13.8	1.7
60～69歳	119	31.9	55.5	11.8	0.8
70歳以上	212	33.0	48.6	13.2	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	36.3	47.4	14.8	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	30.3	52.8	13.8	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	31.6	50.0	14.9	3.5
参加経験なし	560	34.8	48.9	14.5	1.8

(9) 犯罪被害者に関する人権問題

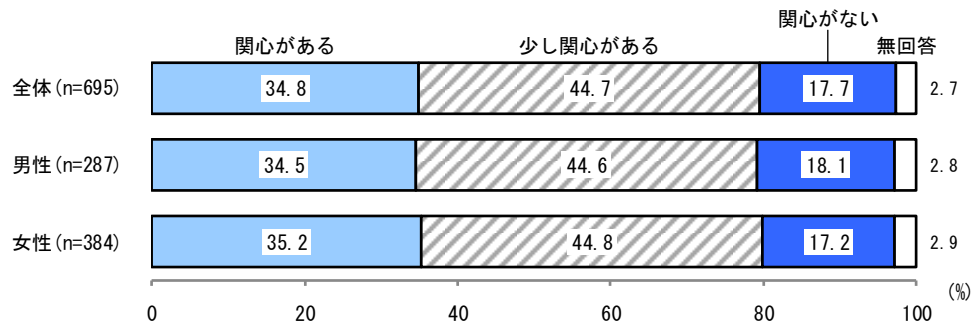
犯罪被害者に関する人権問題については、「少し関心がある」が44.7%、「関心がある」が34.8%、「関心がない」が17.7%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は、学習経験あり（82.4%）で学習経験なし又は覚えていない（75.2%）より7.2ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	34.8	44.7	17.7	2.7
年代別					
18・19歳	12	41.7	33.3	16.7	8.3
20～29歳	51	33.3	54.9	11.8	-
30～39歳	63	27.0	50.8	20.6	1.6
40～49歳	100	39.0	36.0	25.0	-
50～59歳	116	30.2	51.7	16.4	1.7
60～69歳	119	35.3	49.6	13.4	1.7
70歳以上	212	36.3	38.7	18.9	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	35.7	46.7	15.6	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	32.1	43.1	21.6	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	36.0	43.9	17.5	2.6
参加経験なし	560	34.1	45.7	17.9	2.3

(10) ホームレスの人権問題

ホームレスの人権問題については、「少し関心がある」が50.1%、「関心がない」が34.1%、「関心がある」が13.5%となっています。

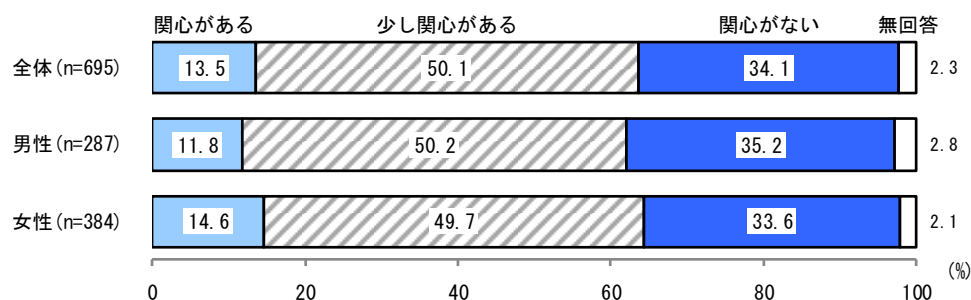
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「関心がない」は40～49歳（45.0%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は、学習経験あり（67.2%）で学習経験なし又は覚えていない（57.8%）より9.4ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	13.5	50.1	34.1	2.3
年代別					
18・19歳	12	25.0	41.7	25.0	8.3
20～29歳	51	13.7	56.9	29.4	-
30～39歳	63	9.5	54.0	36.5	-
40～49歳	100	11.0	44.0	45.0	-
50～59歳	116	12.9	50.9	35.3	0.9
60～69歳	119	12.6	58.8	27.7	0.8
70歳以上	212	15.1	44.8	34.0	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	13.9	53.3	31.5	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	11.9	45.9	39.0	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	14.0	50.9	31.6	3.5
参加経験なし	560	12.9	50.5	35.0	1.6

(11) 性的マイノリティ（性的指向の異なる人・性別違和など）の人権問題

性的マイノリティの人権問題については、「少し関心がある」が44.9%、「関心がない」が29.5%、「関心がある」が23.3%となっています。

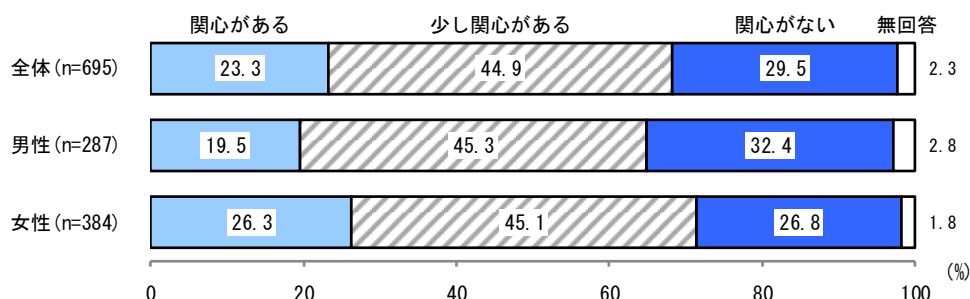
性別でみると、「関心がある」は男性（19.5%）より女性（26.3%）のほうが6.8ポイント高くなっています。

性年代別でみると、男女ともに概ね年代が上がるにつれ「関心がない」が高くなる傾向がみられ、男女ともに70歳以上で4割を占めています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は、学習経験あり（75.8%）で学習経験なし又は覚えていない（54.6%）より21.2ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

		調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体		695	23.3	44.9	29.5	2.3
性年代別						
男性	18・19歳	8	62.5	25.0	12.5	-
	20～29歳	21	23.8	57.1	19.0	-
	30～39歳	22	22.7	54.5	22.7	-
	40～49歳	41	31.7	41.5	26.8	-
	50～59歳	42	11.9	54.8	33.3	-
	60～69歳	53	17.0	49.1	32.1	1.9
	70歳以上	99	14.1	38.4	41.4	6.1
女性	18・19歳	4	75.0	-	25.0	-
	20～29歳	29	62.1	20.7	17.2	-
	30～39歳	41	26.8	48.8	24.4	-
	40～49歳	57	31.6	42.1	26.3	-
	50～59歳	73	23.3	58.9	15.1	2.7
	60～69歳	66	24.2	53.0	21.2	1.5
	70歳以上	109	16.5	39.4	40.4	3.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別						
学習経験あり		454	26.2	49.6	22.9	1.3
学習経験なし又は覚えていない		218	17.4	37.2	42.7	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別						
参加経験あり		114	24.6	44.7	28.1	2.6
参加経験なし		560	23.0	45.5	29.8	1.6

(12) 職業や雇用をめぐる人権問題（差別待遇、職業や職種に対する偏り、過労死など）

職業や雇用をめぐる人権問題については、「関心がある」が52.7%、「少し関心がある」が38.1%、「関心がない」が7.1%となっています。

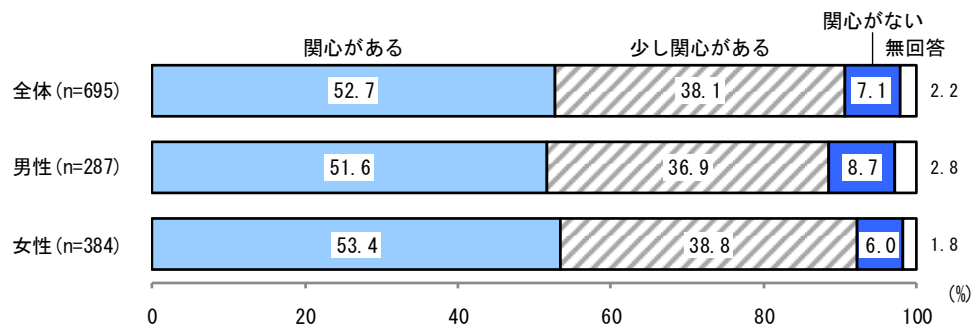
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「関心がない」は60～69歳（0.8%）で低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」は、学習経験あり（57.7%）で学習経験なし又は覚えていない（42.7%）より15.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	52.7	38.1	7.1	2.2
年代別					
18・19歳	12	58.3	16.7	16.7	8.3
20～29歳	51	60.8	29.4	9.8	-
30～39歳	63	60.3	30.2	7.9	1.6
40～49歳	100	63.0	31.0	6.0	-
50～59歳	116	51.7	44.8	2.6	0.9
60～69歳	119	53.8	44.5	0.8	0.8
70歳以上	212	42.9	39.6	12.3	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	57.7	36.6	4.4	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	42.7	42.2	12.4	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	52.6	39.5	4.4	3.5
参加経験なし	560	52.7	38.2	7.7	1.4

(13) セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント

セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントについては、「関心がある」が46.2%、「少し関心がある」が41.6%、「関心がない」が9.8%となっています。

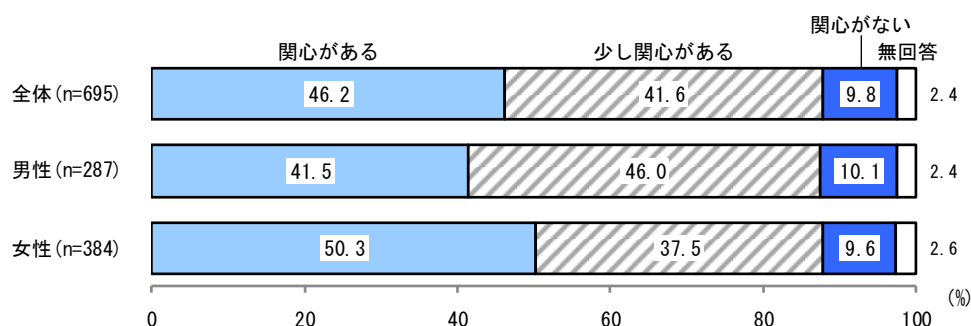
性別でみると、「関心がある」は男性（41.5%）より女性（50.3%）のほうが8.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、「関心がある」は70歳以上（37.3%）で低くなっており、「少し関心がある」（42.0%）を合わせた『関心がある』も79.3%と他の年代に比べて低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」は、学習経験あり（50.0%）で学習経験なし又は覚えていない（37.6%）より12.4ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	46.2	41.6	9.8	2.4
年代別					
18・19歳	12	50.0	25.0	16.7	8.3
20～29歳	51	51.0	41.2	7.8	-
30～39歳	63	49.2	41.3	9.5	-
40～49歳	100	54.0	34.0	12.0	-
50～59歳	116	46.6	47.4	5.2	0.9
60～69歳	119	51.3	42.9	4.2	1.7
70歳以上	212	37.3	42.0	14.6	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	50.0	41.2	7.7	1.1
学習経験なし又は覚えていない	218	37.6	45.0	14.2	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	47.4	40.4	7.9	4.4
参加経験なし	560	46.1	42.1	10.4	1.4

(14) インターネットにおける人権侵害

インターネットにおける人権侵害については、「関心がある」が47.8%、「少し関心がある」が35.7%、「関心がない」が14.0%となっています。

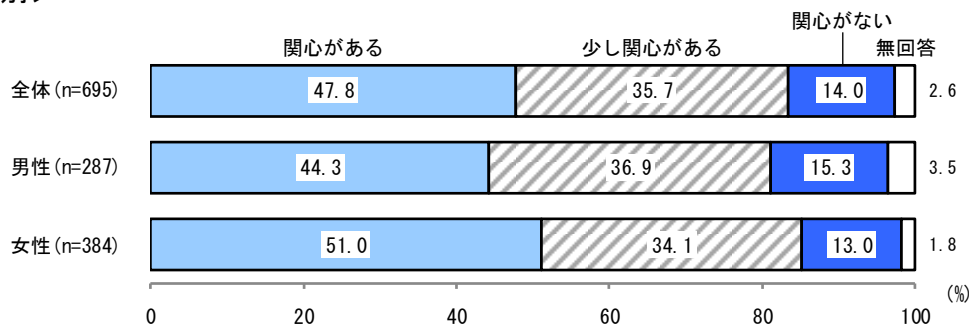
性別でみると、「関心がある」は男性（44.3%）より女性（51.0%）のほうが6.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、「関心がない」は70歳以上（24.5%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」は、学習経験あり（54.4%）で学習経験なし又は覚えていない（34.4%）より20.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「関心がない」は参加経験なし（15.0%）で参加経験あり（9.6%）より5.4ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	47.8	35.7	14.0	2.6
年代別					
18・19歳	12	75.0	8.3	8.3	8.3
20～29歳	51	62.7	27.5	9.8	-
30～39歳	63	47.6	44.4	7.9	-
40～49歳	100	61.0	32.0	7.0	-
50～59歳	116	52.6	36.2	7.8	3.4
60～69歳	119	50.4	34.5	13.4	1.7
70歳以上	212	33.0	37.7	24.5	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	54.4	33.3	10.6	1.8
学習経験なし又は覚えていない	218	34.4	42.2	20.6	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	50.0	36.8	9.6	3.5
参加経験なし	560	47.5	35.7	15.0	1.8

(15) ヘイトスピーチ（特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動）

ヘイトスピーチについては、「少し関心がある」が47.1%、「関心がある」が28.9%、「関心がない」が21.0%となっています。

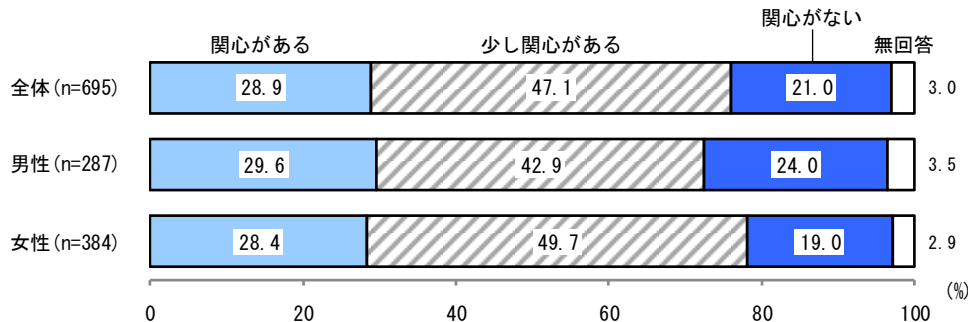
性別でみると、「少し関心がある」は男性（42.9%）より女性（49.7%）のほうが6.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、「関心がない」は60～69歳（10.9%）で低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は、学習経験あり（78.8%）で学習経験なし又は覚えていない（70.7%）より8.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「少し関心がある」は参加経験なし（48.9%）で参加経験あり（40.4%）より8.5ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	28.9	47.1	21.0	3.0
年代別					
18・19歳	12	41.7	33.3	16.7	8.3
20～29歳	51	29.4	51.0	19.6	-
30～39歳	63	23.8	42.9	28.6	4.8
40～49歳	100	29.0	40.0	31.0	-
50～59歳	116	23.3	57.8	18.1	0.9
60～69歳	119	30.3	58.0	10.9	0.8
70歳以上	212	30.2	39.2	23.6	7.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	29.7	49.1	19.2	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	25.7	45.0	25.2	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	29.8	40.4	23.7	6.1
参加経験なし	560	28.2	48.9	20.9	2.0

(16) 新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに治療にかかわる医療従事者やその家族の人権問題

新型コロナウイルス感染症感染者等の人権問題については、「少し関心がある」が43.9%、「関心がある」が39.6%、「関心がない」が14.7%となっています。

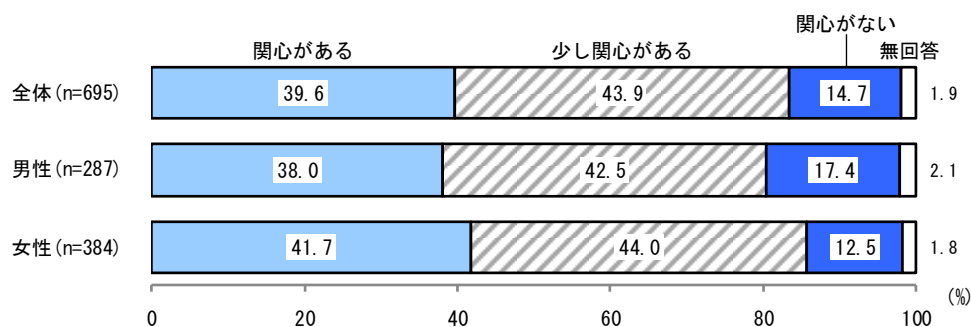
性別でみると、「関心がない」は女性（12.5%）より男性（17.4%）のほうが4.9ポイント高くなっています。

年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	39.6	43.9	14.7	1.9
年代別					
18・19歳	12	33.3	41.7	16.7	8.3
20～29歳	51	37.3	43.1	19.6	-
30～39歳	63	28.6	52.4	19.0	-
40～49歳	100	33.0	46.0	21.0	-
50～59歳	116	40.5	46.6	12.1	0.9
60～69歳	119	43.7	42.9	12.6	0.8
70歳以上	212	43.9	39.6	11.8	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	38.1	46.7	13.9	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	41.7	39.4	17.0	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	45.6	39.5	12.3	2.6
参加経験なし	560	38.2	45.0	15.5	1.3

(17) アイヌの人々の人権問題

アイヌの人々の人権問題については、「少し関心がある」が42.9%、「関心がない」が41.0%、「関心がある」が14.0%となっています。

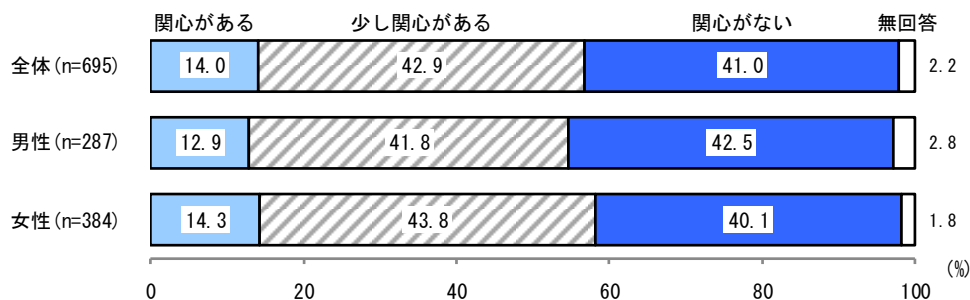
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「少し関心がある」は60～69歳（53.8%）で高くなっている一方で、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は20～29歳（49.1%）で低くなっており、5割を下回っています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「少し関心がある」は、学習経験あり（46.3%）で学習経験なし又は覚えていない（37.2%）より9.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は参加経験あり（62.3%）で参加経験なし（55.2%）より7.1ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	14.0	42.9	41.0	2.2
年代別					
18・19歳	12	25.0	41.7	25.0	8.3
20～29歳	51	11.8	37.3	51.0	-
30～39歳	63	14.3	38.1	47.6	-
40～49歳	100	10.0	41.0	49.0	-
50～59歳	116	10.3	48.3	40.5	0.9
60～69歳	119	14.3	53.8	31.1	0.8
70歳以上	212	16.5	38.2	40.1	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	13.0	46.3	39.6	1.1
学習経験なし又は覚えていない	218	14.7	37.2	45.0	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	18.4	43.9	34.2	3.5
参加経験なし	560	12.9	42.3	43.4	1.4

(18) 刑を終えて出所した人の人権問題

刑を終えて出所した人の人権問題については、「少し関心がある」が47.9%、「関心がない」が36.4%、「関心がある」が13.5%となっています。

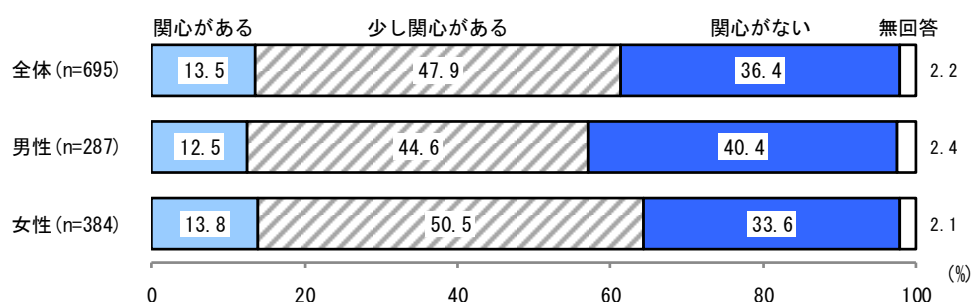
性別でみると、「関心がない」は女性（33.6%）より男性（40.4%）のほうが6.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、「関心がない」は20～29歳（51.0%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』は、学習経験あり（63.9%）で学習経験なし又は覚えていない（56.4%）より7.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	13.5	47.9	36.4	2.2
年代別					
18・19歳	12	25.0	41.7	25.0	8.3
20～29歳	51	9.8	39.2	51.0	-
30～39歳	63	17.5	42.9	39.7	-
40～49歳	100	14.0	47.0	39.0	-
50～59歳	116	11.2	56.0	31.9	0.9
60～69歳	119	10.9	56.3	31.9	0.8
70歳以上	212	14.2	42.5	37.7	5.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	13.7	50.2	35.0	1.1
学習経験なし又は覚えていない	218	11.9	44.5	40.4	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	16.7	48.2	31.6	3.5
参加経験なし	560	12.5	47.9	38.2	1.4

(19) 環境・気候変動によっておこる人権問題

環境・気候変動によっておこる人権問題については、「少し関心がある」が45.8%、「関心がない」が28.1%、「関心がある」が24.2%となっています。

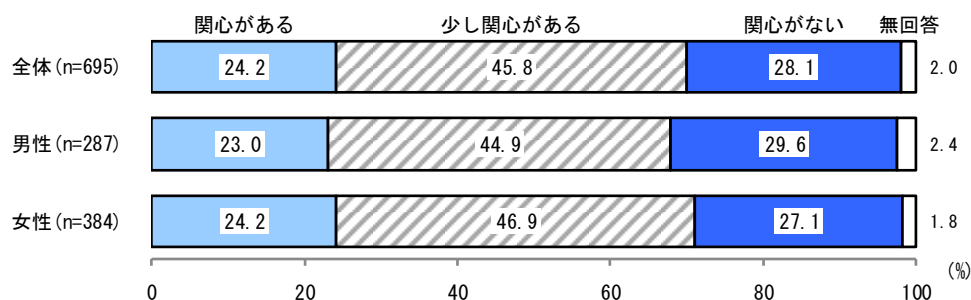
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「関心がない」は40～49歳（42.0%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体	695	24.2	45.8	28.1	2.0
年代別					
18・19歳	12	41.7	16.7	33.3	8.3
20～29歳	51	27.5	37.3	35.3	-
30～39歳	63	17.5	46.0	36.5	-
40～49歳	100	18.0	40.0	42.0	-
50～59歳	116	21.6	55.2	21.6	1.7
60～69歳	119	22.7	54.6	21.8	0.8
70歳以上	212	28.3	42.9	24.1	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	22.9	48.5	27.3	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	24.8	42.7	30.3	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	29.8	40.4	26.3	3.5
参加経験なし	560	22.3	47.7	28.8	1.3

問3 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがあるかについて、「ない」が47.8%、「ある」が27.5%、「わからない」が19.4%となっています。

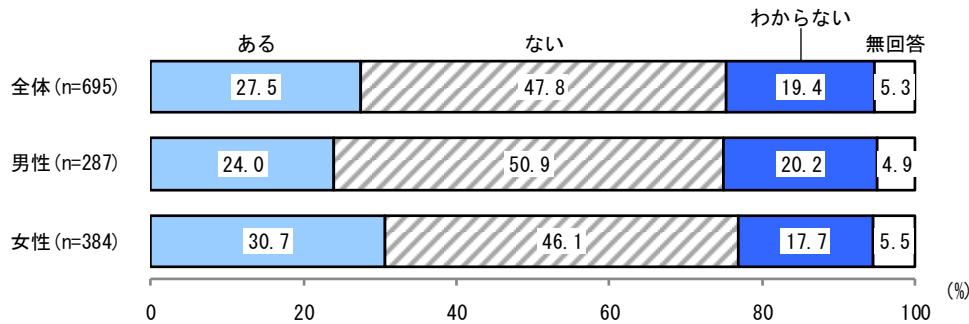
性別で見ると、「ある」は男性（24.0%）より女性（30.7%）のほうが6.7ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「ある」は30～39歳（42.9%）で高くなっている一方で、「ない」は70歳以上（57.1%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で見ると、「ある」は学習経験あり（31.5%）で学習経験なし又は覚えていない（20.2%）より11.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で見ると、「ない」は参加経験あり（52.6%）で参加経験なし（46.4%）より6.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	ある (%)	ない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体	695	27.5	47.8	19.4	5.3
年代別					
18・19歳	12	33.3	41.7	25.0	-
20～29歳	51	31.4	43.1	25.5	-
30～39歳	63	42.9	38.1	14.3	4.8
40～49歳	100	37.0	43.0	17.0	3.0
50～59歳	116	27.6	44.0	17.2	11.2
60～69歳	119	28.6	46.2	21.8	3.4
70歳以上	212	17.9	57.1	18.9	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	31.5	43.2	20.0	5.3
学習経験なし又は覚えていない	218	20.2	56.9	18.3	4.6
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	28.1	52.6	16.7	2.6
参加経験なし	560	28.0	46.4	20.2	5.4

問4 問3で「1 ある」と答えた方におたずねします。

どのような人権侵害でしたか。(〇はいくつでも)

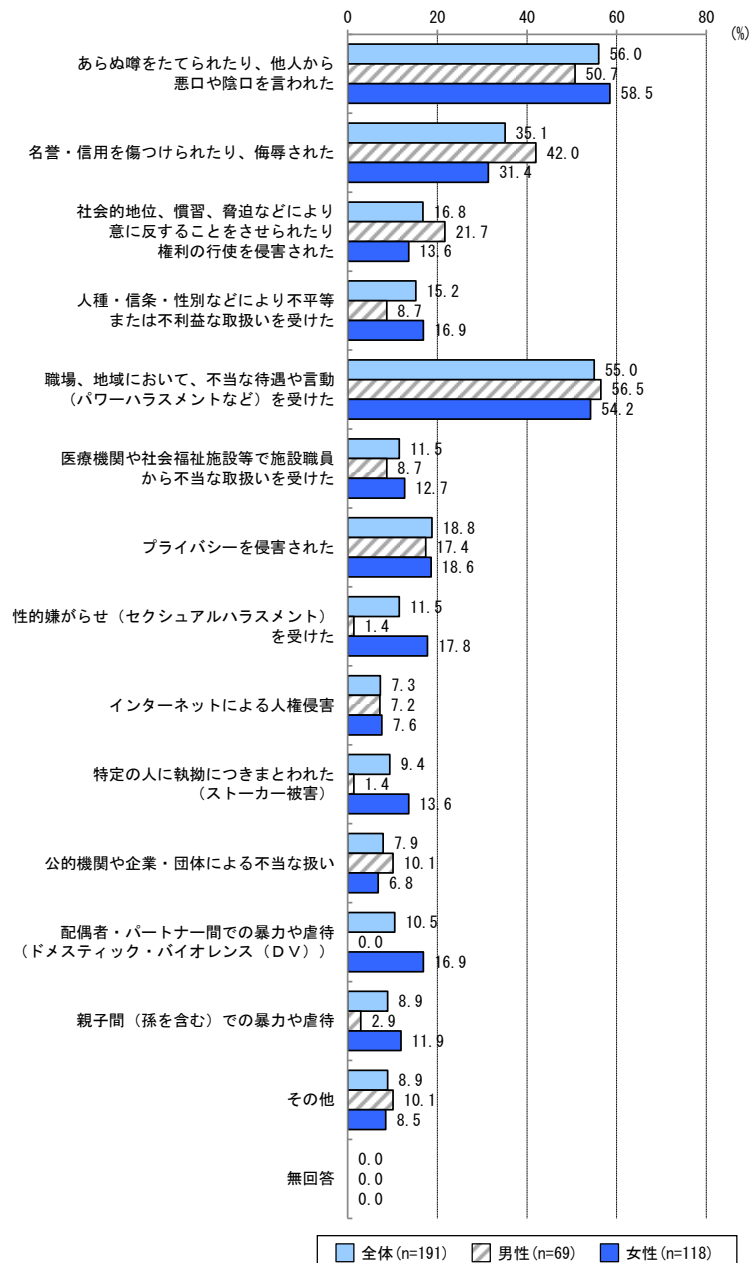
人権侵害の内容について、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が56.0%と最も高く、次いで「職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」(55.0%)、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」(35.1%)となっています。

性別でみると、「性的嫌がらせ(セクシュアルハラスメント)を受けた」、「特定の人につきまとわれた(ストーカー被害)」、「配偶者・パートナー間での暴力や虐待(DV)」で男性より女性のほうが10ポイント以上高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が「学習経験あり」(38.5%)で4割近くを占めています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「医療機関や社会福祉施設等で施設職員から不当な取扱いを受けた」が参加経験あり(21.9%)で2割を占めています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	陰口を言われた あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や	名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	社会的地位、慣習、脅迫などにより意に反することさせられたり権利の行使を侵害された	人種・信条・性別などにより不平等または不利益な取扱いを受けた	職場、地域において、不当な待遇や言動（パワハラ・ハラスメントなど）を受けた	医療機関や社会福祉施設等で施設職員から不当な取扱いを受けた	プライバシーを侵害された	性的嫌がらせ（セクシュアルハラスメント）を受けた
全体	191	56.0	35.1	16.8	15.2	55.0	11.5	18.8	11.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別									
学習経験あり	143	58.0	38.5	16.8	16.1	55.9	11.2	20.3	13.3
学習経験なし又は覚えていない	44	50.0	25.0	18.2	13.6	52.3	13.6	13.6	6.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別									
参加経験あり	32	56.3	34.4	21.9	15.6	56.3	21.9	15.6	15.6
参加経験なし	157	56.1	35.7	15.9	15.3	54.1	9.6	19.7	10.8
	調査数	インターネットによる人権侵害	特定の人に執拗につきまとわれた（ストーカ被害）	公的機関や企業・団体による不当な扱い	配偶者・パートナー間での暴力や虐待（ドメスティック・バイオレンス（DV））	親子間（孫を含む）での暴力や虐待	その他	無回答	
全体	191	7.3	9.4	7.9	10.5	8.9	8.9	-	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別									
学習経験あり	143	8.4	9.1	8.4	10.5	10.5	9.1	-	
学習経験なし又は覚えていない	44	4.5	11.4	6.8	9.1	4.5	6.8	-	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別									
参加経験あり	32	3.1	6.3	12.5	6.3	15.6	9.4	-	
参加経験なし	157	8.3	10.2	7.0	11.5	7.6	8.3	-	

問5 問4を回答された方におたずねします。

(問4で回答された人権侵害について)その時、どうされましたか。(〇はいくつでも)

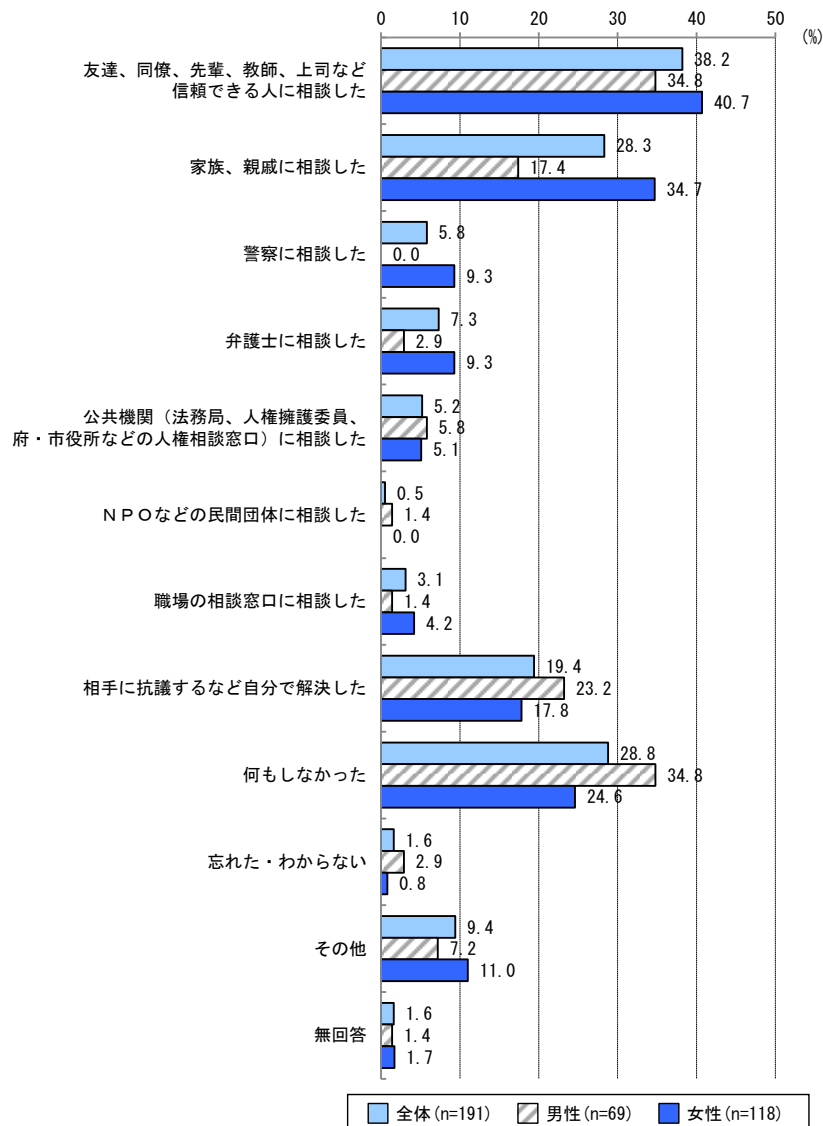
人権侵害された時どうしたかについて、「友達、同僚、先輩、教師、上司など信頼できる人に相談した」が38.2%と最も高く、次いで「何もしなかった」(28.8%)、「家族、親戚に相談した」(28.3%)となっています。

性別でみると、女性は家族や公的機関などに相談した割合が高くなっている一方で、男性は「相手に抗議するなど自分で解決した」、「何もしなかった」の割合が高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、学習経験ありで「友達、同僚、先輩、教師、上司など信頼できる人に相談した」(39.9%)が4割近くを占めている一方で、「何もしなかった」(30.8%)が3割を占めています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「何もしなかった」は参加経験なし(31.8%)で参加経験あり(15.6%)より16.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	友達、同僚、先輩、教師、上司など信頼できる人に相談した	家族、親戚に相談した	警察に相談した	弁護士に相談した	公共機関（法務局、人権擁護委員、府・市役所など）の人権相談窓口）に相談した	NPOなどの民間団体に相談した
全体	191	38.2	28.3	5.8	7.3	5.2	0.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	143	39.9	30.8	5.6	7.7	6.3	0.7
学習経験なし又は覚えていない	44	31.8	22.7	6.8	4.5	2.3	-
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	32	46.9	28.1	6.3	6.3	9.4	3.1
参加経験なし	157	36.3	28.7	5.7	7.0	4.5	-
	調査数	職場の相談窓口相談した	相手に抗議するなど自分で解決した	何もしなかった	忘れた・わからない	その他	無回答
全体	191	3.1	19.4	28.8	1.6	9.4	1.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	143	4.2	21.0	30.8	0.7	9.1	0.7
学習経験なし又は覚えていない	44	-	15.9	22.7	4.5	11.4	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	32	3.1	28.1	15.6	-	9.4	3.1
参加経験なし	157	2.5	17.8	31.8	1.9	9.6	1.3

問6 人権問題にかかわる次のような法律や条例、制度などを知っていますか。

(1) 水平社宣言（1922（大正11）年宣言）

水平社宣言について、「知らない」が63.9%、「内容は知らないが名称は知っている」が23.5%、「内容を知っている」が9.2%となっています。

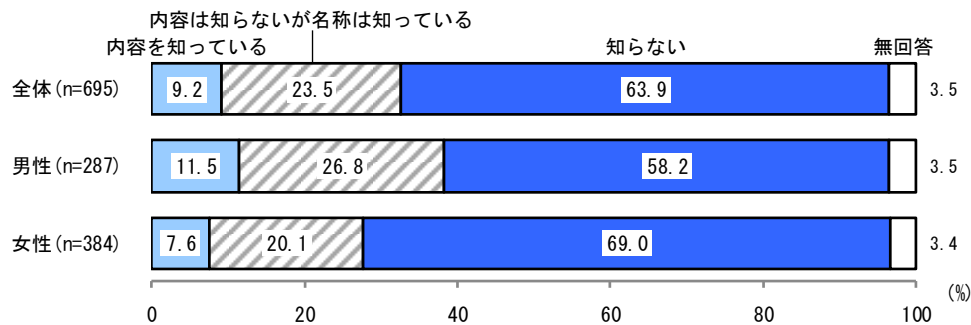
性別で見ると、「知らない」は男性（58.2%）より女性（69.0%）のほうが10.8ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「内容は知らないが名称は知っている」は60～69歳（34.5%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で見ると、「知らない」は学習経験なし又は覚えていない（73.9%）で学習経験あり（59.9%）より14.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で見ると、「知らない」は参加経験なし（67.1%）で参加経験あり（51.8%）より15.3ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	9.2	23.5	63.9	3.5
年代別					
18・19歳	12	58.3	8.3	33.3	-
20～29歳	51	5.9	19.6	74.5	-
30～39歳	63	9.5	15.9	74.6	-
40～49歳	100	12.0	22.0	65.0	1.0
50～59歳	116	5.2	24.1	67.2	3.4
60～69歳	119	7.6	34.5	53.8	4.2
70歳以上	212	9.0	21.2	63.2	6.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	10.4	27.1	59.9	2.6
学習経験なし又は覚えていない	218	6.0	17.0	73.9	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	15.8	31.6	51.8	0.9
参加経験なし	560	7.5	22.0	67.1	3.4

(2) 世界人権宣言（1948（昭和23）年採択）

世界人権宣言について、「内容は知らないが名称は知っている」が55.4%、「知らない」が29.1%、「内容を知っている」が11.8%となっています。

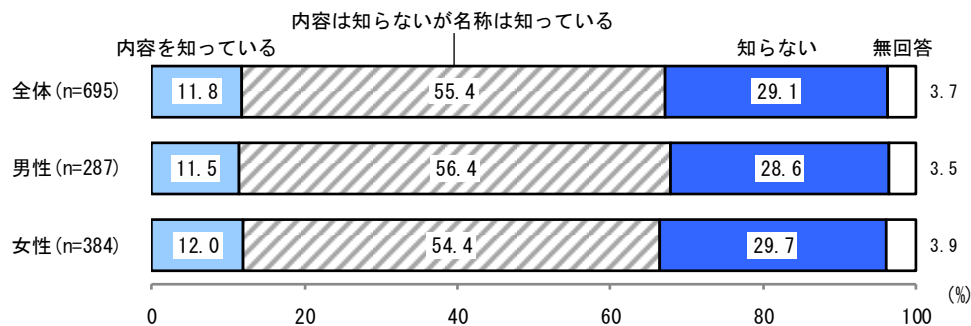
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「内容を知っている」は50歳以上で1割を満たしていませんが、他に大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「知らない」は学習経験なし又は覚えていない（39.0%）で学習経験あり（24.0%）より15.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（32.1%）で参加経験あり（14.0%）より18.1ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	11.8	55.4	29.1	3.7
年代別					
18・19歳	12	66.7	25.0	8.3	-
20～29歳	51	19.6	58.8	21.6	-
30～39歳	63	15.9	47.6	34.9	1.6
40～49歳	100	17.0	55.0	27.0	1.0
50～59歳	116	8.6	62.1	25.9	3.4
60～69歳	119	6.7	58.0	29.4	5.9
70歳以上	212	7.5	54.7	31.6	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	15.0	58.4	24.0	2.6
学習経験なし又は覚えていない	218	5.5	52.3	39.0	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	20.2	64.0	14.0	1.8
参加経験なし	560	10.0	54.6	32.1	3.2

(3) 国際人権規約（社会権規約・自由権規約／日本は1979（昭和54）年批准）

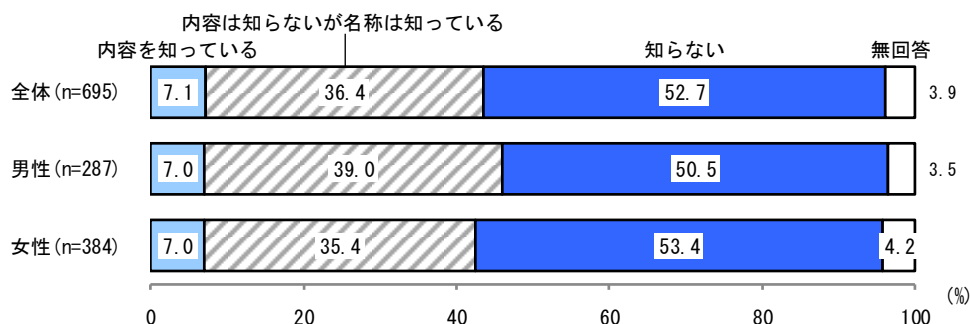
国際人権規約について、「知らない」が52.7%、「内容は知らないが名称は知っている」が36.4%、「内容を知っている」が7.1%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「知らない」は学習経験なし又は覚えていない（63.3%）で学習経験あり（48.0%）より15.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（55.7%）で参加経験あり（41.2%）より14.5ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	内容を知っている (%)	内容は知らないが名称は知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体	695	7.1	36.4	52.7	3.9
年代別					
18・19 歳	12	58.3	25.0	16.7	-
20～29 歳	51	11.8	35.3	52.9	-
30～39 歳	63	9.5	28.6	61.9	-
40～49 歳	100	5.0	42.0	53.0	-
50～59 歳	116	6.9	44.8	44.8	3.4
60～69 歳	119	3.4	40.3	51.3	5.0
70 歳以上	212	5.2	32.1	54.7	8.0
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	8.6	41.0	48.0	2.4
学習経験なし又は覚えていない	218	3.7	29.4	63.3	3.7
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	14.9	43.0	41.2	0.9
参加経験なし	560	5.0	35.7	55.7	3.6

(4) 貝塚市人権擁護に関する条例（1994（平成6）年施行）

貝塚市人権擁護に関する条例について、「知らない」が68.5%、「内容は知らないが名称は知っている」が24.3%、「内容を知っている」が2.7%となっています。

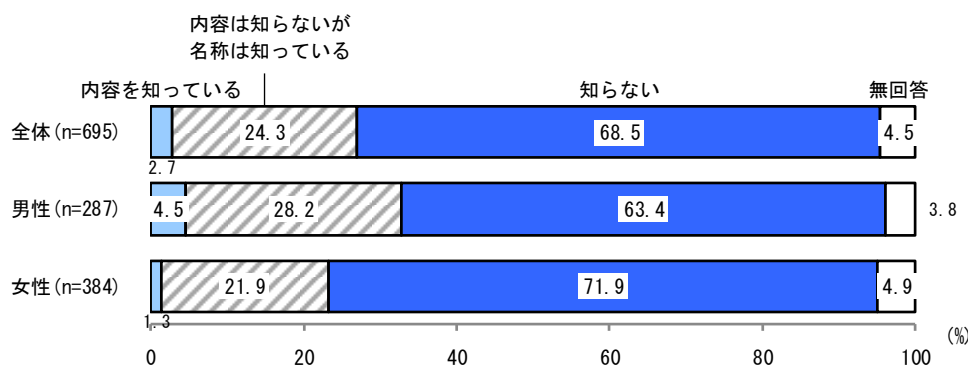
性別でみると、「知らない」は男性（63.4%）より女性（71.9%）のほうが8.5ポイント高くなっています。

年代別でみると、「知らない」は20～29歳（86.3%）、30～39歳（87.3%）で8割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「内容を知っている」と「内容は知らないが名称を知っている」を合わせた『名称を知っている』は参加経験あり（38.6%）で参加経験なし（24.8%）より13.8ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	2.7	24.3	68.5	4.5
年代別					
18・19歳	12	-	33.3	66.7	-
20～29歳	51	-	13.7	86.3	-
30～39歳	63	1.6	9.5	87.3	1.6
40～49歳	100	2.0	19.0	79.0	-
50～59歳	116	1.7	25.0	69.0	4.3
60～69歳	119	4.2	30.3	57.1	8.4
70歳以上	212	3.8	31.1	58.5	6.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	2.4	24.4	69.6	3.5
学習経験なし又は覚えていない	218	2.3	25.7	68.3	3.7
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	7.0	31.6	58.8	2.6
参加経験なし	560	1.6	23.2	71.4	3.8

- (5) 本人通知制度（貝塚市が、住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者に交付した場合に、希望する本人（事前に市への登録が必要）に交付したことをお知らせする制度／（2011（平成23）年施行）

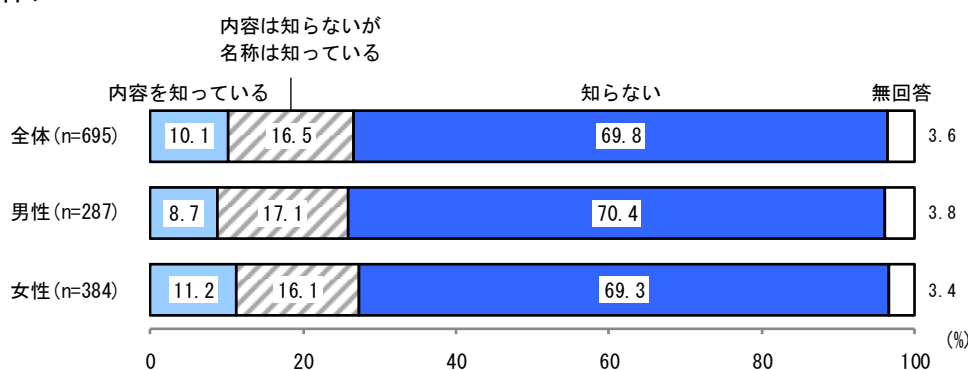
本人通知制度について、「知らない」が69.8%、「内容は知らないが名称は知っている」が16.5%、「内容を知っている」が10.1%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「内容を知っている」と「内容は知らないが名称を知っている」を合わせた『名称を知っている』は参加経験あり（36.0%）で参加経験なし（24.6%）より11.4ポイント高くなっています。

<全体>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	10.1	16.5	69.8	3.6
年代別					
18・19歳	12	25.0	25.0	50.0	-
20～29歳	51	13.7	21.6	64.7	-
30～39歳	63	14.3	9.5	76.2	-
40～49歳	100	10.0	13.0	77.0	-
50～59歳	116	8.6	17.2	70.7	3.4
60～69歳	119	9.2	16.0	69.7	5.0
70歳以上	212	9.0	17.9	66.5	6.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	11.2	16.3	70.3	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	7.3	18.3	70.6	3.7
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	16.7	19.3	63.2	0.9
参加経験なし	560	8.9	15.7	72.0	3.4

(6) 障害者虐待防止法（「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律」／2012（平成24）年施行）

障害者虐待防止法について、「知らない」が52.1%、「内容は知らないが名称は知っている」が35.5%、「内容を知っている」が8.1%となっています。

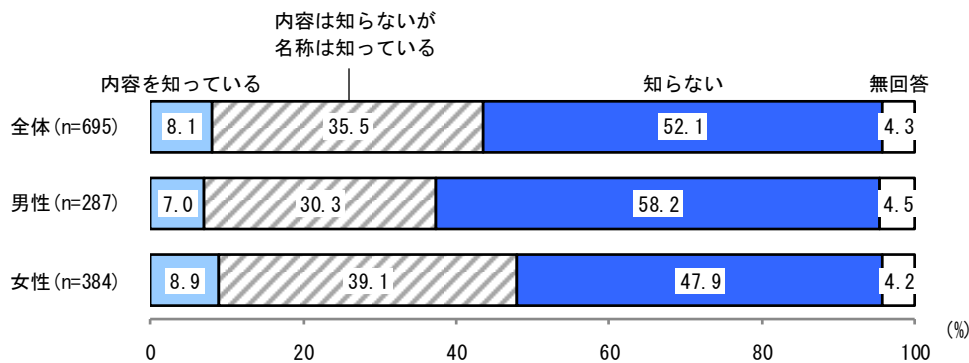
性別でみると、「知らない」は女性（47.9%）より男性（58.2%）のほうが10.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、「知らない」は20～29歳（70.6%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（55.9%）で参加経験あり（36.8%）より19.1ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	8.1	35.5	52.1	4.3
年代別					
18・19歳	12	8.3	66.7	25.0	-
20～29歳	51	7.8	21.6	70.6	-
30～39歳	63	12.7	23.8	63.5	-
40～49歳	100	10.0	32.0	57.0	1.0
50～59歳	116	12.1	31.0	50.9	6.0
60～69歳	119	5.0	43.7	45.4	5.9
70歳以上	212	5.2	40.1	47.6	7.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	9.7	35.0	52.4	2.9
学習経験なし又は覚えていない	218	4.1	38.5	52.8	4.6
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	14.0	46.5	36.8	2.6
参加経験なし	560	6.4	33.8	55.9	3.9

(7) いじめ防止対策推進法（2013（平成25）年施行）

いじめ防止対策推進法について、「内容は知らないが名称は知っている」が51.8%、「知らない」が31.5%、「内容を知っている」が13.1%となっています。

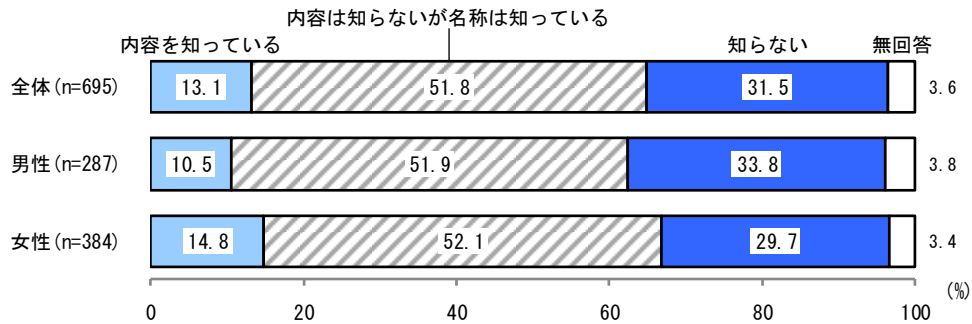
性別でみると、「内容を知っている」は男性（10.5%）より女性（14.8%）のほうが4.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、「内容を知っている」は20～29歳（27.5%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「知らない」は学習経験なし又は覚えていない（35.8%）で学習経験あり（29.3%）より6.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（34.3%）で参加経験あり（19.3%）より15.0ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	内容を知っている (%)	内容は知らないが名称は知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体	695	13.1	51.8	31.5	3.6
年代別					
18・19歳	12	41.7	50.0	8.3	-
20～29歳	51	27.5	49.0	23.5	-
30～39歳	63	19.0	49.2	31.7	-
40～49歳	100	14.0	55.0	31.0	-
50～59歳	116	10.3	56.9	29.3	3.4
60～69歳	119	7.6	56.3	30.3	5.9
70歳以上	212	10.4	47.6	35.8	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	15.2	53.5	29.3	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	8.3	51.8	35.8	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	21.9	57.9	19.3	0.9
参加経験なし	560	11.3	51.3	34.3	3.2

(8) 子供の貧困対策推進法（「子どもの貧困対策の推進に関する法律」

／2014（平成26）年施行）

子供の貧困対策推進法について、「知らない」が43.6%、「内容は知らないが名称は知っている」が43.0%、「内容を知っている」が9.4%となっています。

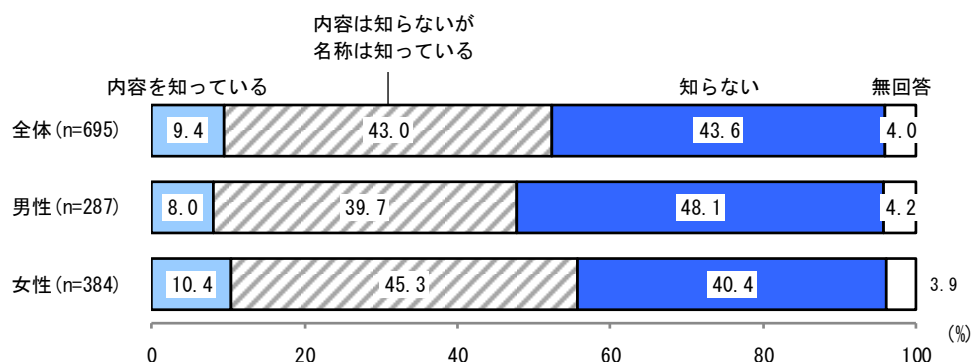
性別でみると、「知らない」は女性（40.4%）より男性（48.1%）のほうが7.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、「内容は知らないが名称は知っている」は30～39歳（27.0%）で低くなっており、「知らない」は半数を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（48.4%）で参加経験あり（21.9%）より26.5ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	9.4	43.0	43.6	4.0
年代別					
18・19歳	12	33.3	33.3	33.3	-
20～29歳	51	15.7	45.1	39.2	-
30～39歳	63	17.5	27.0	55.6	-
40～49歳	100	12.0	44.0	44.0	-
50～59歳	116	9.5	47.4	38.8	4.3
60～69歳	119	6.7	39.5	47.9	5.9
70歳以上	212	4.2	47.2	41.0	7.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	11.7	43.2	42.3	2.9
学習経験なし又は覚えていない	218	5.0	45.4	46.3	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	17.5	58.8	21.9	1.8
参加経験なし	560	7.7	40.4	48.4	3.6

(9) 女性活躍推進法（「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」

／2016（平成28）年施行）

女性活躍推進法について、「内容は知らないが名称は知っている」が44.9%、「知らない」が40.6%、「内容を知っている」が10.6%となっています。

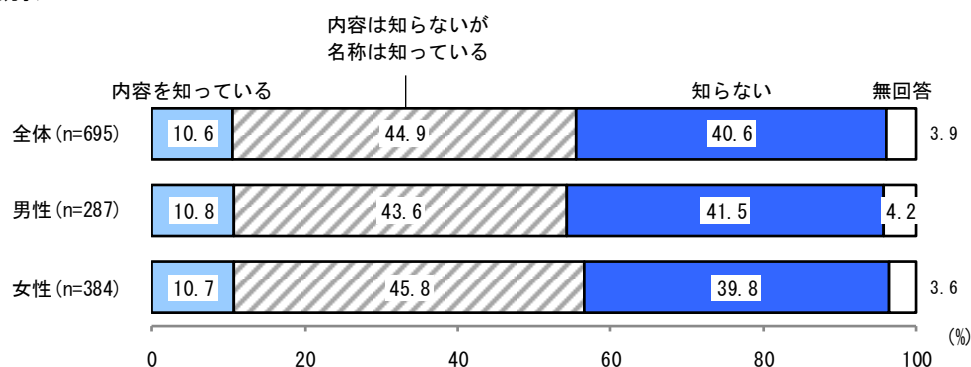
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「内容を知っている」は20～29歳（23.5%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「知らない」は学習経験なし又は覚えていない（45.0%）で学習経験あり（38.1%）より6.9ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（43.6%）で参加経験あり（26.3%）より17.3ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	10.6	44.9	40.6	3.9
年代別					
18・19歳	12	41.7	41.7	16.7	-
20～29歳	51	23.5	43.1	33.3	-
30～39歳	63	17.5	47.6	34.9	-
40～49歳	100	13.0	46.0	40.0	1.0
50～59歳	116	10.3	50.0	36.2	3.4
60～69歳	119	5.9	42.0	46.2	5.9
70歳以上	212	5.7	43.9	43.9	6.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	12.3	47.1	38.1	2.4
学習経験なし又は覚えていない	218	7.3	43.6	45.0	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	16.7	55.3	26.3	1.8
参加経験なし	560	9.5	43.6	43.6	3.4

(10) 障害者差別解消法（「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

／2016（平成28）年施行）

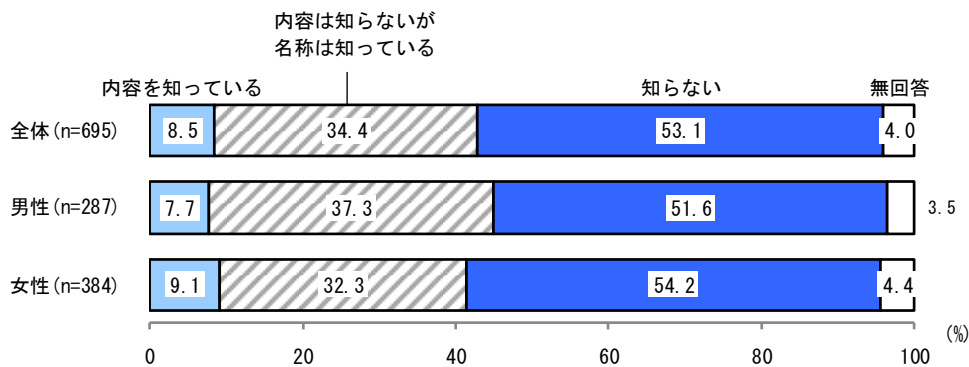
障害者差別解消法について、「知らない」が53.1%、「内容は知らないが名称は知っている」が34.4%、「内容を知っている」が8.5%となっています。

性別、年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（57.3%）で参加経験あり（35.1%）より22.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	8.5	34.4	53.1	4.0
年代別					
18・19歳	12	33.3	41.7	25.0	-
20～29歳	51	13.7	35.3	51.0	-
30～39歳	63	11.1	27.0	61.9	-
40～49歳	100	7.0	35.0	58.0	-
50～59歳	116	9.5	33.6	53.4	3.4
60～69歳	119	7.6	32.8	52.1	7.6
70歳以上	212	5.7	37.3	50.5	6.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	9.0	35.9	52.6	2.4
学習経験なし又は覚えていない	218	7.8	33.0	54.6	4.6
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	17.5	46.5	35.1	0.9
参加経験なし	560	6.6	32.3	57.3	3.8

(11) ヘイトスピーチ解消法（「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」／2016（平成28）年施行）

ヘイトスピーチ解消法について、「知らない」が60.1%、「内容は知らないが名称は知っている」が30.1%、「内容を知っている」が5.9%となっています。

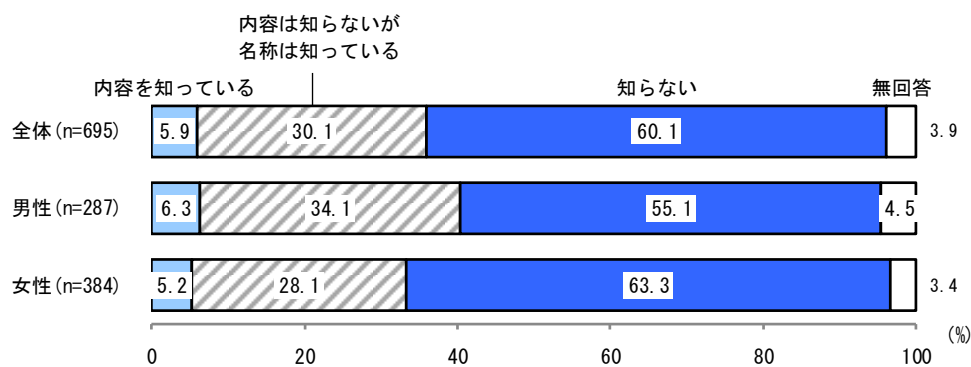
性別でみると、「知らない」は男性（55.1%）より女性（63.3%）のほうが8.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、「知らない」は20～29歳（80.4%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（63.0%）で参加経験あり（51.8%）より11.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	5.9	30.1	60.1	3.9
年代別					
18・19歳	12	33.3	25.0	41.7	-
20～29歳	51	-	19.6	80.4	-
30～39歳	63	4.8	20.6	74.6	-
40～49歳	100	7.0	29.0	64.0	-
50～59歳	116	5.2	28.4	63.8	2.6
60～69歳	119	3.4	34.5	56.3	5.9
70歳以上	212	6.6	35.4	50.5	7.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	5.9	30.8	61.2	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	5.5	28.9	60.6	5.0
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	9.6	36.8	51.8	1.8
参加経験なし	560	5.2	28.4	63.0	3.4

(12) 部落差別解消推進法（「部落差別の解消の推進に関する法律」

／2016（平成28）年施行）

部落差別解消推進法について、「知らない」が50.2%、「内容は知らないが名称は知っている」が37.8%、「内容を知っている」が8.3%となっています。

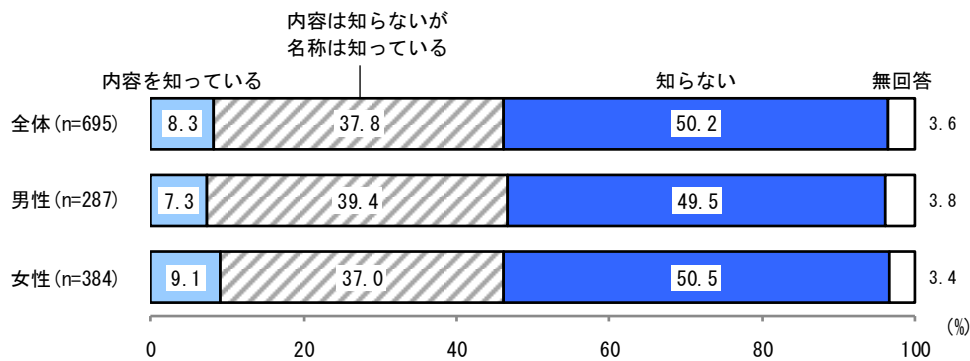
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「知らない」は70歳以上（38.2%）で低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（54.3%）で参加経験あり（35.1%）より19.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	8.3	37.8	50.2	3.6
年代別					
18・19歳	12	33.3	25.0	41.7	-
20～29歳	51	13.7	23.5	62.7	-
30～39歳	63	6.3	30.2	63.5	-
40～49歳	100	7.0	33.0	60.0	-
50～59歳	116	6.0	37.9	52.6	3.4
60～69歳	119	6.7	41.2	47.1	5.0
70歳以上	212	9.0	46.2	38.2	6.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	8.6	38.8	50.7	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	7.8	37.2	50.5	4.6
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	14.9	47.4	35.1	2.6
参加経験なし	560	6.6	36.1	54.3	3.0

(13) 大阪府障がい者差別解消条例（「大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」／2016（平成28）年施行）

大阪府障がい者差別解消条例について、「知らない」が68.6%、「内容は知らないが名称は知っている」が23.0%、「内容を知っている」が4.6%となっています。

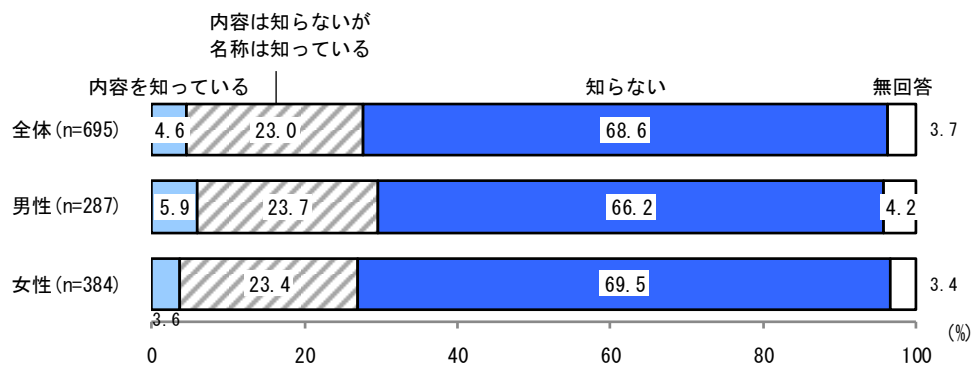
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「知らない」は20～29歳（84.3%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（72.1%）で参加経験あり（56.1%）より16.0ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	4.6	23.0	68.6	3.7
年代別					
18・19歳	12	8.3	58.3	33.3	-
20～29歳	51	5.9	9.8	84.3	-
30～39歳	63	4.8	23.8	71.4	-
40～49歳	100	2.0	24.0	74.0	-
50～59歳	116	5.2	21.6	70.7	2.6
60～69歳	119	5.9	22.7	64.7	6.7
70歳以上	212	4.2	25.5	63.2	7.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	4.4	23.8	69.6	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	5.0	22.5	68.3	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	12.3	30.7	56.1	0.9
参加経験なし	560	3.2	21.1	72.1	3.6

(14) 大阪府性の多様性理解増進条例（「大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例」／2019（令和元）年施行）

大阪府性の多様性理解増進条例について、「知らない」が80.4%、「内容は知らないが名称は知っている」が13.1%、「内容を知っている」が2.4%となっています。

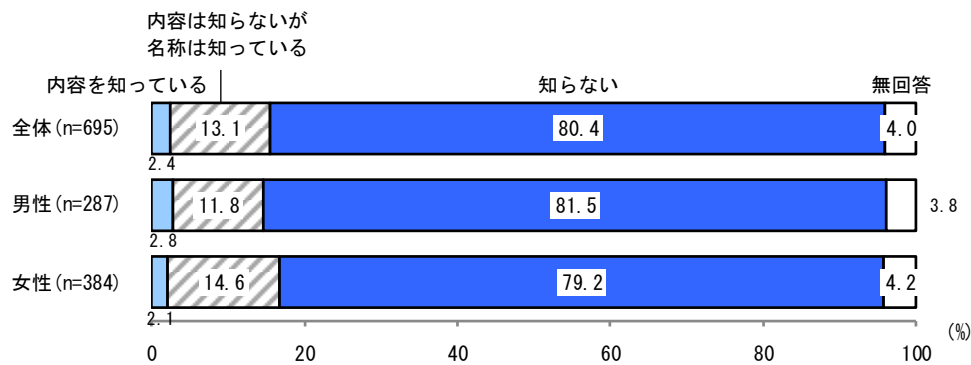
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「知らない」は20～29歳（92.2%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（82.3%）で参加経験あり（75.4%）より6.9ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	2.4	13.1	80.4	4.0
年代別					
18・19歳	12	16.7	8.3	75.0	-
20～29歳	51	2.0	5.9	92.2	-
30～39歳	63	1.6	15.9	82.5	-
40～49歳	100	3.0	12.0	85.0	-
50～59歳	116	2.6	14.7	80.2	2.6
60～69歳	119	2.5	12.6	78.2	6.7
70歳以上	212	1.4	15.1	75.9	7.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	2.4	12.6	82.6	2.4
学習経験なし又は覚えていない	218	2.3	14.7	78.9	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	6.1	15.8	75.4	2.6
参加経験なし	560	1.8	12.5	82.3	3.4

(15) 大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例（「大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例」／2019（令和元）年施行）

大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例について、「知らない」が73.7%、「内容は知らないが名称は知っている」が18.8%、「内容を知っている」が3.2%となっています。

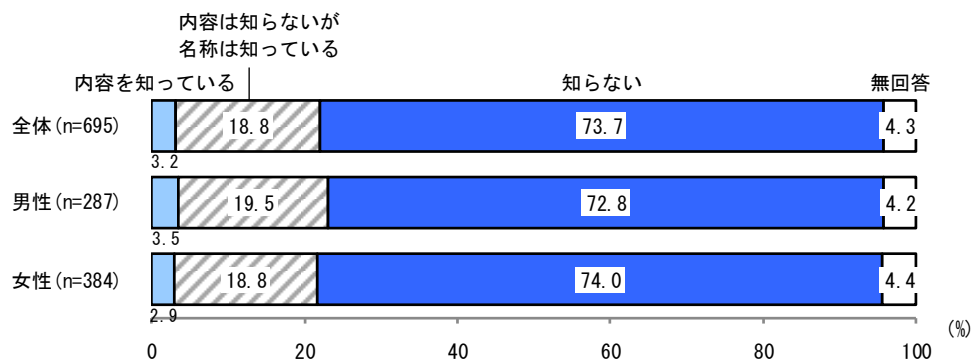
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「知らない」は20～29歳（92.2%）で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（77.1%）で参加経験あり（63.2%）より13.9ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	3.2	18.8	73.7	4.3
年代別					
18・19歳	12	8.3	16.7	75.0	-
20～29歳	51	-	7.8	92.2	-
30～39歳	63	4.8	14.3	81.0	-
40～49歳	100	3.0	18.0	79.0	-
50～59歳	116	3.4	19.0	75.0	2.6
60～69歳	119	1.7	21.8	69.7	6.7
70歳以上	212	3.8	21.7	66.0	8.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	2.6	18.9	75.8	2.6
学習経験なし又は覚えていない	218	4.1	19.3	72.5	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	7.0	27.2	63.2	2.6
参加経験なし	560	2.5	16.8	77.1	3.6

(16) アイヌ民族支援法（「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」／2019（令和元）年施行）

アイヌ民族支援法について、「知らない」が71.8%、「内容は知らないが名称は知っている」が20.3%、「内容を知っている」が4.2%となっています。

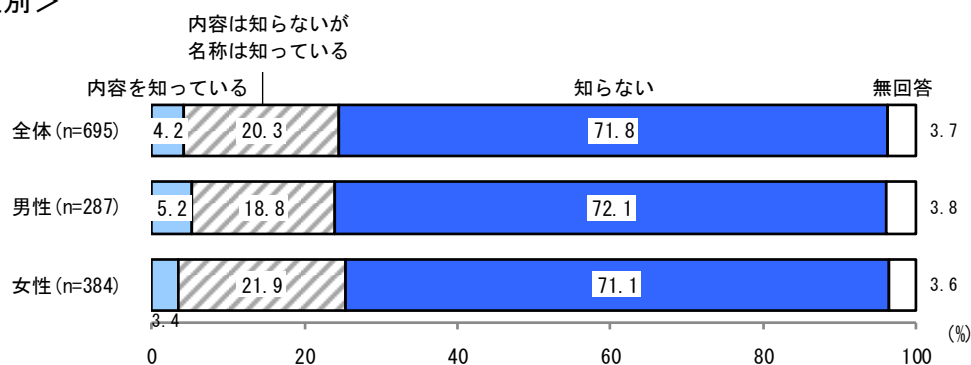
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「知らない」は20～29歳（86.3%）、30～39歳（82.5%）、40～49歳（81.0%）で8割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（74.3%）で参加経験あり（65.8%）より8.5ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	4.2	20.3	71.8	3.7
年代別					
18・19歳	12	41.7	25.0	33.3	-
20～29歳	51	2.0	11.8	86.3	-
30～39歳	63	1.6	15.9	82.5	-
40～49歳	100	2.0	17.0	81.0	-
50～59歳	116	3.4	23.3	70.7	2.6
60～69歳	119	4.2	21.8	67.2	6.7
70歳以上	212	4.7	22.6	66.0	6.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	4.0	21.4	72.5	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	4.1	18.3	73.4	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	7.9	24.6	65.8	1.8
参加経験なし	560	3.2	19.1	74.3	3.4

(17) 貝塚市パートナーシップ宣誓制度（2020（令和2）年施行）

貝塚市パートナーシップ宣誓制度について、「知らない」が69.1%、「内容は知らないが名称は知っている」が22.0%、「内容を知っている」が5.0%となっています。

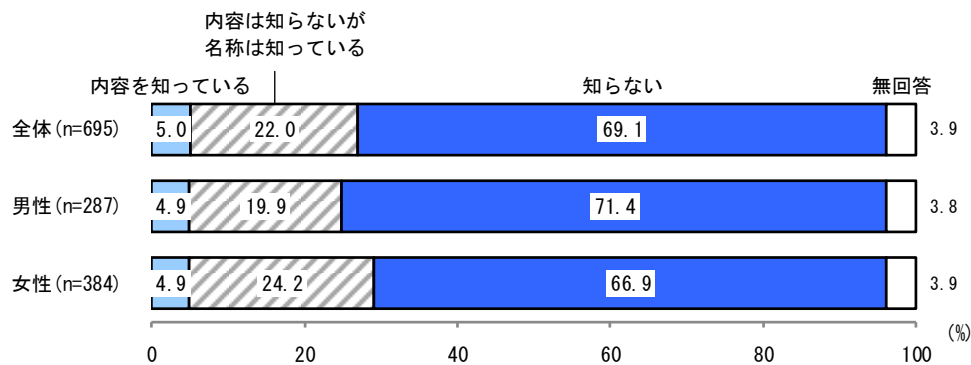
性別でみると、「知らない」は女性（66.9%）より男性（71.4%）のほうが4.5ポイント高くなっています。

年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「知らない」は参加経験なし（71.8%）で参加経験あり（59.6%）より12.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	内容を知っている	内容は知らないが名称は知っている	知らない	無回答
全体	695	5.0	22.0	69.1	3.9
年代別					
18・19歳	12	8.3	16.7	75.0	-
20～29歳	51	9.8	13.7	76.5	-
30～39歳	63	7.9	30.2	61.9	-
40～49歳	100	6.0	20.0	74.0	-
50～59歳	116	3.4	21.6	72.4	2.6
60～69歳	119	4.2	22.7	66.4	6.7
70歳以上	212	3.3	24.1	65.6	7.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別					
学習経験あり	454	5.7	22.0	70.0	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	3.7	22.9	69.3	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別					
参加経験あり	114	11.4	27.2	59.6	1.8
参加経験なし	560	3.8	21.1	71.8	3.4

問7 あなたが仮に、結婚相手など、パートナーを決めるとしたら、その人について重視することはどんなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

結婚相手など、パートナーについて重視することは、「人柄や性格」が94.4%と最も高く、次いで「趣味や価値観」(68.5%)、「健康」(63.6%)となっています。

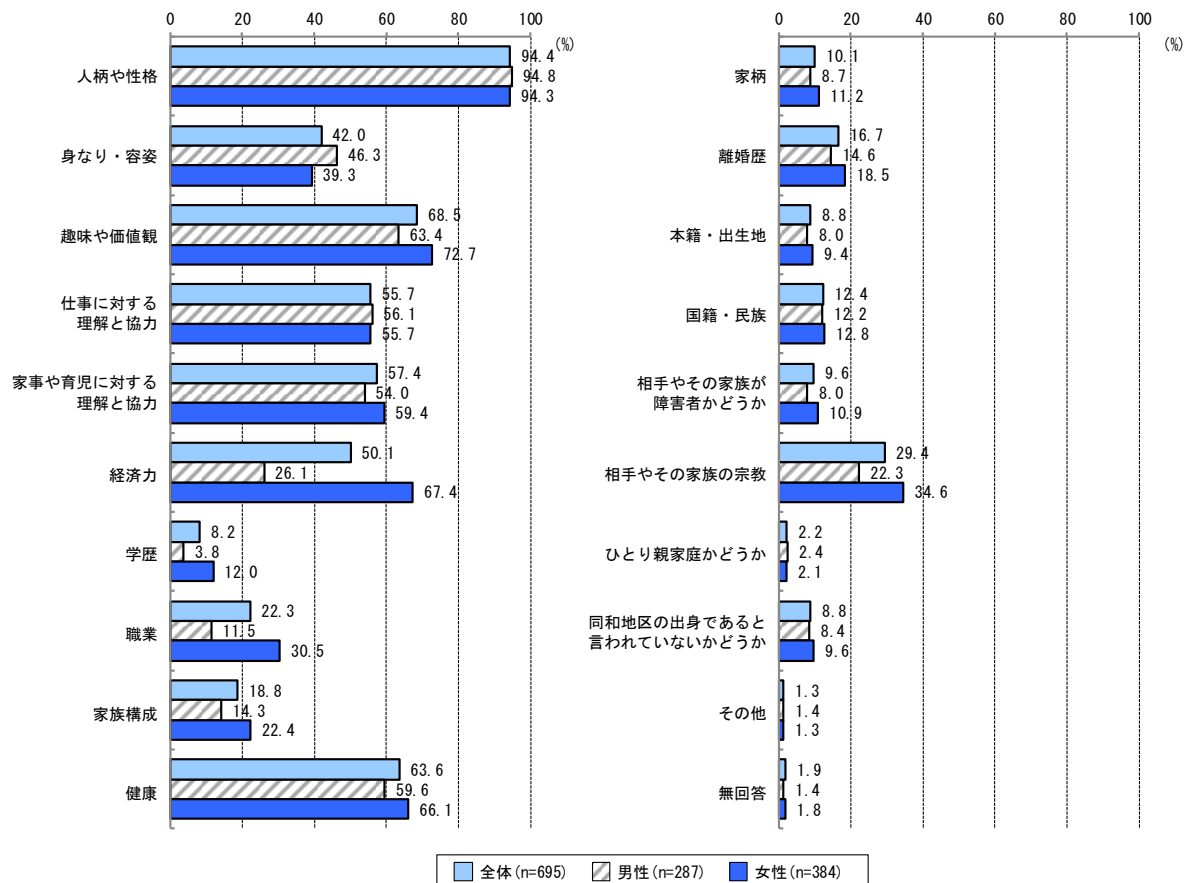
性別でみると、「経済力」で男性は26.1%に対し、女性は67.4%と高くなっています。

年代別でみると、20～29歳で「身なり・容姿」(66.7%)、「家事や育児に対する理解と協力」(82.4%)が高くなっており、70歳以上では「健康」(72.6%)、「本籍・出生地」(14.6%)が高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、学習経験ありで「趣味や価値観」(76.0%)、「身なり・容姿」(48.5%)が学習経験なし又は覚えていないより15ポイント以上高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「家事や育児に対する理解と協力」は参加経験なし(59.8%)で参加経験あり(49.1%)より10.7ポイント高くなっています。

<性別>



※「同和地区」について（これ以降の設問でも同様）

我が国では同和問題の解決に向け、平成14(2002)年3月に「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下、「同法」という。)が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組みが積極的に進められてきました。

この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、同法(平成14(2002)年3月失効)によって指定されていた対象地域を示しています。

<クロス表>

(%)

	調査数	人柄や性格	身なり・容姿	趣味や価値観	仕事に対する理解と協力	家事や育児に対する理解と協力	経済力	学歴	職業	家族構成	健康	
全体	695	94.4	42.0	68.5	55.7	57.4	50.1	8.2	22.3	18.8	63.6	
18・19歳	12	91.7	75.0	83.3	58.3	58.3	33.3	16.7	16.7	16.7	41.7	
20～29歳	51	92.2	66.7	78.4	54.9	82.4	54.9	7.8	25.5	15.7	64.7	
30～39歳	63	95.2	49.2	81.0	61.9	68.3	60.3	3.2	22.2	12.7	44.4	
40～49歳	100	98.0	52.0	76.0	59.0	60.0	46.0	5.0	20.0	18.0	54.0	
50～59歳	116	96.6	49.1	77.6	55.2	59.5	55.2	10.3	23.3	17.2	59.5	
60～69歳	119	96.6	32.8	70.6	52.9	49.6	49.6	7.6	19.3	19.3	69.7	
70歳以上	212	91.0	29.7	52.4	53.8	48.6	44.8	10.4	23.6	21.2	72.6	
	調査数	家柄	離婚歴	本籍・出生地	国籍、民族	相手やその家族が障害者かどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	あると言われているかどうか	同和地区の出身で	その他	無回答
全体	695	10.1	16.7	8.8	12.4	9.6	29.4	2.2	8.8	1.3	1.9	
18・19歳	12	16.7	25.0	16.7	16.7	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	-	
20～29歳	51	15.7	25.5	3.9	9.8	13.7	39.2	2.0	5.9	-	-	
30～39歳	63	14.3	17.5	7.9	11.1	12.7	23.8	1.6	4.8	1.6	1.6	
40～49歳	100	8.0	24.0	7.0	8.0	10.0	31.0	-	9.0	1.0	-	
50～59歳	116	9.5	14.7	7.8	14.7	5.2	29.3	4.3	8.6	0.9	1.7	
60～69歳	119	5.0	18.5	2.5	11.8	8.4	28.6	1.7	5.9	-	0.8	
70歳以上	212	10.8	10.4	14.6	14.2	9.9	27.8	1.9	12.3	2.4	3.8	

<人権問題に関する学習経験・参加経験の有無別クロス表>

(%)

	調査数	人柄や性格	身なり・容姿	趣味や価値観	仕事に対する理解と協力	家事や育児に対する理解と協力	経済力	学歴
全体	695	94.4	42.0	68.5	55.7	57.4	50.1	8.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	96.9	48.5	76.0	57.9	61.5	52.6	6.8
学習経験なし又は覚えていない	218	92.7	31.7	57.3	54.1	52.3	48.6	11.0
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	92.1	40.4	69.3	57.0	49.1	44.7	4.4
参加経験なし	560	95.5	43.2	69.3	55.7	59.8	52.1	8.9
	調査数	職業	家族構成	健康	家柄	離婚歴	本籍・出生地	国籍、民族
全体	695	22.3	18.8	63.6	10.1	16.7	8.8	12.4
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	21.1	18.1	61.0	9.7	18.3	7.7	13.4
学習経験なし又は覚えていない	218	25.7	21.6	71.6	11.9	14.2	11.5	10.6
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	19.3	13.2	63.2	11.4	18.4	7.9	9.6
参加経験なし	560	23.0	20.0	64.5	10.2	16.6	8.9	12.9
	調査数	障害者やその家族が	宗教	相手やその家族の	ひとり親家庭かどうか	いとこや親戚など	その他	無回答
全体	695	9.6	29.4	2.2	8.8	1.3	1.9	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	9.5	31.7	2.0	8.1	1.5	0.2	
学習経験なし又は覚えていない	218	11.0	26.1	2.8	10.6	0.9	2.8	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	9.6	28.9	1.8	4.4	1.8	1.8	
参加経験なし	560	10.0	29.8	2.3	9.6	1.3	1.1	

3. 女性に関する人権について

問8 あなたは、女性の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。

(1) 男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること

男女の固定的な役割分担意識があることについて、「問題だと思う」が35.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(34.0%)、「あまり問題だと思わない」(20.3%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は69.0%となっています。

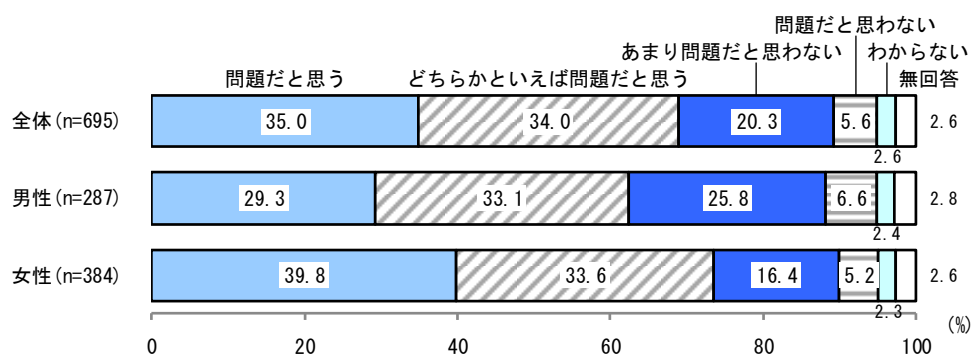
性別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は男性(62.4%)より女性(73.4%)のほうが11.0ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の20~29歳(69.0%)、40~49歳(52.6%)で5割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(39.6%)で学習経験なし又は覚えていない(26.1%)より13.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験なし(37.0%)で参加経験あり(27.2%)より9.8ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

		調査数	問題だと思 う	問題だと思 う どちらかとい えば	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		695	35.0	34.0	20.3	5.6	2.6	2.6
性年代別								
男性	18・19歳	8	62.5	25.0	12.5	-	-	-
	20～29歳	21	28.6	38.1	23.8	4.8	4.8	-
	30～39歳	22	45.5	22.7	22.7	-	4.5	4.5
	40～49歳	41	29.3	36.6	22.0	9.8	-	2.4
	50～59歳	42	33.3	33.3	23.8	7.1	2.4	-
	60～69歳	53	24.5	32.1	32.1	5.7	3.8	1.9
	70歳以上	99	24.2	34.3	26.3	8.1	2.0	5.1
女性	18・19歳	4	75.0	25.0	-	-	-	-
	20～29歳	29	69.0	24.1	6.9	-	-	-
	30～39歳	41	39.0	39.0	14.6	4.9	-	2.4
	40～49歳	57	52.6	28.1	12.3	3.5	-	3.5
	50～59歳	73	35.6	39.7	15.1	2.7	4.1	2.7
	60～69歳	66	45.5	34.8	12.1	6.1	-	1.5
	70歳以上	109	24.8	31.2	25.7	9.2	5.5	3.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	39.6	34.1	17.4	5.1	2.0	1.8
学習経験なし又は覚えていない		218	26.1	35.8	26.1	6.9	2.3	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	27.2	39.5	26.3	3.5	-	3.5
参加経験なし		560	37.0	33.6	18.2	6.1	3.0	2.1

(2) 女性ということで、同じ勤続年数の男性よりも、給料や昇進で低い評価を受けること

女性ということで、同じ勤続年数の男性よりも、給料や昇進で低い評価を受けることについて、「問題だと思う」が55.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(28.8%)、「あまり問題だと思わない」(7.3%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は84.3%となっています。

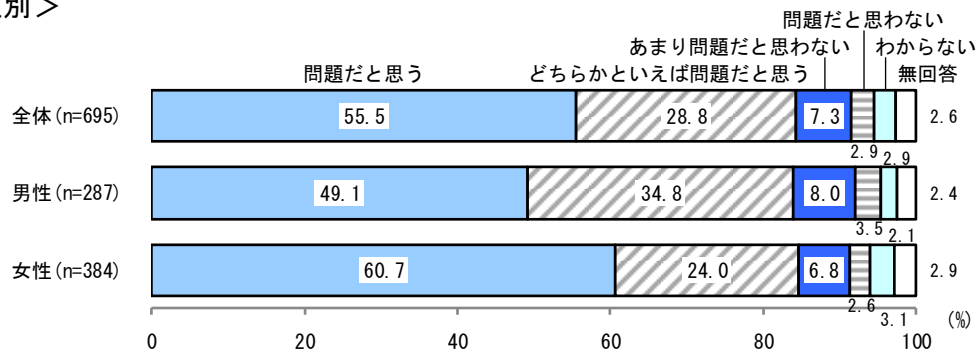
性別でみると、「問題だと思う」は男性(49.1%)より女性(60.7%)のほうが11.6ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の20～29歳(93.1%)で9割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(63.2%)で学習経験なし又は覚えていない(42.7%)より20.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

		調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体		695	55.5	28.8	7.3	2.9	2.9	2.6
性年代別								
男性	18・19歳	8	75.0	25.0	-	-	-	-
	20～29歳	21	71.4	23.8	4.8	-	-	-
	30～39歳	22	54.5	31.8	4.5	-	4.5	4.5
	40～49歳	41	65.9	22.0	9.8	-	-	2.4
	50～59歳	42	45.2	47.6	2.4	2.4	2.4	-
	60～69歳	53	45.3	32.1	15.1	3.8	1.9	1.9
	70歳以上	99	38.4	40.4	7.1	7.1	3.0	4.0
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-	-
	20～29歳	29	93.1	3.4	3.4	-	-	-
	30～39歳	41	78.0	9.8	7.3	2.4	-	2.4
	40～49歳	57	77.2	15.8	1.8	1.8	-	3.5
	50～59歳	73	63.0	28.8	4.1	-	2.7	1.4
	60～69歳	66	59.1	28.8	6.1	1.5	1.5	3.0
	70歳以上	109	33.9	34.9	12.8	6.4	7.3	4.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	63.2	25.3	5.7	2.2	1.8	1.8
学習経験なし又は覚えていない		218	42.7	35.3	11.5	4.6	3.7	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	57.0	28.9	7.0	3.5	0.9	2.6
参加経験なし		560	56.1	28.2	7.7	2.7	3.2	2.1

(3) 職場において、妊娠や出産、育児等を理由に急に仕事を減らされたり、
会社を辞めるよう言われたりすること

妊娠や出産、育児等を理由に急に仕事を減らされたり、会社を辞めるよう言われたりすることについて、「問題だと思う」が65.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(21.6%)、「あまり問題だと思わない」(5.2%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は87.2%となっています。

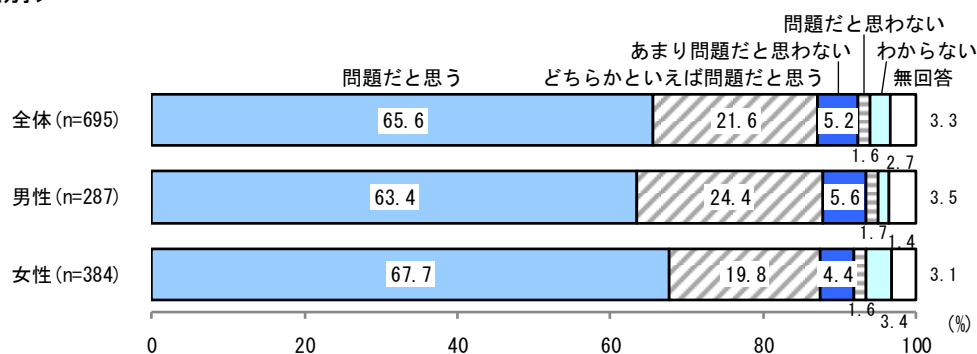
性別で大きな差はみられません。

性年代別でみると、「問題だと思う」は男性の20～29歳(90.5%)で9割を占めて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(70.0%)で学習経験なし又は覚えていない(57.8%)より12.2ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

		調査数	問題だと思 う	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		695	65.6	21.6	5.2	1.6	2.7	3.3
性年代別								
男性	18・19歳	8	75.0	12.5	-	-	12.5	-
	20～29歳	21	90.5	9.5	-	-	-	-
	30～39歳	22	63.6	22.7	9.1	-	-	4.5
	40～49歳	41	65.9	19.5	9.8	2.4	-	2.4
	50～59歳	42	50.0	38.1	7.1	2.4	-	2.4
	60～69歳	53	64.2	20.8	9.4	3.8	-	1.9
	70歳以上	99	61.6	26.3	2.0	1.0	3.0	6.1
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-	-
	20～29歳	29	86.2	13.8	-	-	-	-
	30～39歳	41	73.2	14.6	9.8	-	-	2.4
	40～49歳	57	80.7	12.3	-	3.5	-	3.5
	50～59歳	73	75.3	19.2	1.4	-	2.7	1.4
	60～69歳	66	62.1	24.2	6.1	1.5	3.0	3.0
	70歳以上	109	50.5	26.6	7.3	2.8	7.3	5.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	70.0	19.6	5.5	1.5	1.3	2.0
学習経験なし又は覚えていない		218	57.8	27.5	5.0	1.8	4.1	3.7
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	63.2	26.3	4.4	0.9	0.9	4.4
参加経験なし		560	66.3	21.1	5.4	1.8	3.0	2.5

(4) 恋人や配偶者・パートナーが携帯電話やスマートフォンの通信履歴を見ること

携帯電話やスマートフォンの通信履歴を見ることについて、「問題だと思う」が42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(28.9%)、「あまり問題だと思わない」(16.1%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は71.6%となっています。

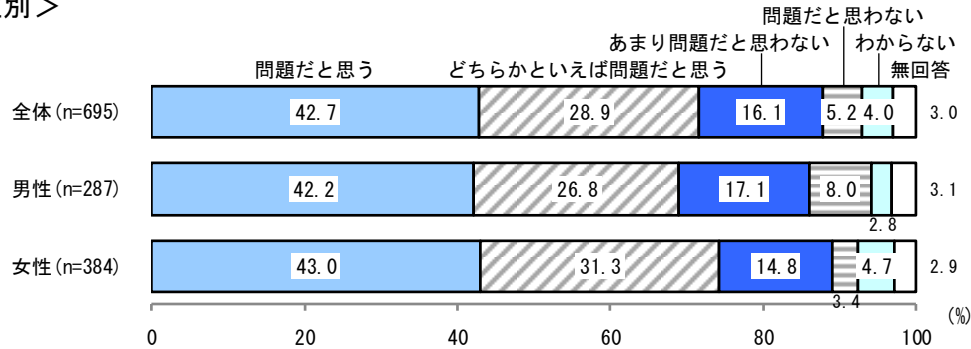
性別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は男性(69.0%)より女性(74.3%)のほうが5.3ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は女性の20~29歳(44.8%)で4割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(45.8%)で学習経験なし又は覚えていない(38.1%)より7.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

		調査数	問題だと思 う	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		695	42.7	28.9	16.1	5.2	4.0	3.0
性年代別								
男性	18・19歳	8	50.0	12.5	25.0	-	12.5	-
	20~29歳	21	42.9	33.3	9.5	9.5	4.8	-
	30~39歳	22	40.9	18.2	13.6	22.7	-	4.5
	40~49歳	41	39.0	36.6	14.6	4.9	2.4	2.4
	50~59歳	42	47.6	21.4	21.4	9.5	-	-
	60~69歳	53	41.5	26.4	20.8	9.4	-	1.9
	70歳以上	99	41.4	26.3	16.2	5.1	5.1	6.1
女性	18・19歳	4	50.0	25.0	-	25.0	-	-
	20~29歳	29	27.6	27.6	31.0	13.8	-	-
	30~39歳	41	48.8	24.4	22.0	-	2.4	2.4
	40~49歳	57	35.1	42.1	17.5	-	1.8	3.5
	50~59歳	73	49.3	32.9	9.6	5.5	1.4	1.4
	60~69歳	66	54.5	24.2	15.2	1.5	1.5	3.0
	70歳以上	109	36.7	33.0	11.0	2.8	11.9	4.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	45.8	28.2	16.7	5.3	2.0	2.0
学習経験なし又は覚えていない		218	38.1	32.6	14.7	5.5	6.4	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	44.7	30.7	15.8	3.5	1.8	3.5
参加経験なし		560	42.7	29.5	16.1	5.7	3.9	2.1

(5) 職場で「まだ結婚しないのか」などと何度も聞かれること

「まだ結婚しないのか」などと何度も聞かれることについて、「問題だと思う」が55.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(25.3%)、「あまり問題だと思わない」(9.8%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は80.8%となっています。

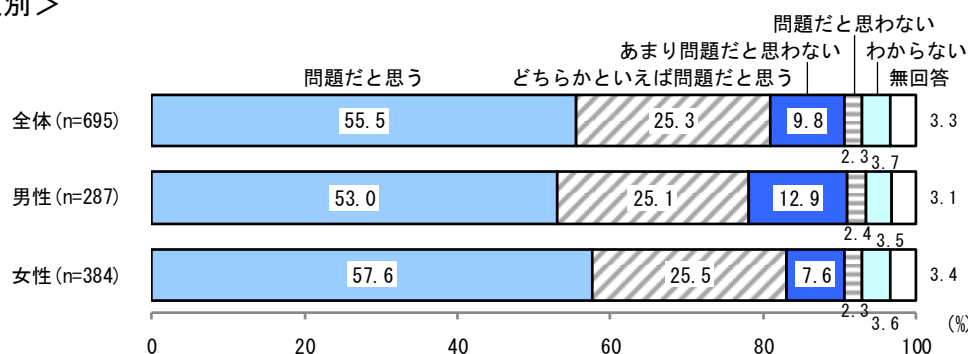
性別でみると、「あまり問題だと思わない」は女性(7.6%)より男性(12.9%)のほうが5.3ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は男性の40~49歳(21.9%)、60~69歳(22.7%)で2割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(59.9%)で学習経験なし又は覚えていない(48.2%)より11.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思 う	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	695	55.5	25.3	9.8	2.3	3.7	3.3	
性年代別								
男性	18・19歳	8	75.0	25.0	-	-	-	
	20~29歳	21	52.4	42.9	4.8	-	-	
	30~39歳	22	54.5	22.7	13.6	4.5	-	4.5
	40~49歳	41	61.0	12.2	19.5	2.4	2.4	2.4
	50~59歳	42	50.0	28.6	16.7	2.4	2.4	-
	60~69歳	53	54.7	17.0	20.8	1.9	3.8	1.9
	70歳以上	99	48.5	29.3	7.1	3.0	6.1	6.1
女性	18・19歳	4	50.0	50.0	-	-	-	
	20~29歳	29	65.5	17.2	17.2	-	-	
	30~39歳	41	61.0	26.8	4.9	2.4	-	4.9
	40~49歳	57	64.9	26.3	5.3	-	-	3.5
	50~59歳	73	63.0	28.8	4.1	-	2.7	1.4
	60~69歳	66	65.2	18.2	9.1	3.0	1.5	3.0
	70歳以上	109	40.4	29.4	9.2	5.5	10.1	5.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	59.9	24.2	10.4	1.5	1.8	2.2	
学習経験なし又は覚えていない	218	48.2	29.8	8.7	3.7	6.4	3.2	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	57.9	23.7	11.4	0.9	1.8	4.4	
参加経験なし	560	55.4	26.1	9.5	2.5	4.1	2.5	

(6) 女性の政治家や管理職が少ないなど、女性が政策や方針などの決定に参画する機会が少ないこと

女性が政策や方針などの決定に参画する機会が少ないことについて、「問題だと思う」が38.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(34.2%)、「あまり問題だと思わない」(16.1%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思おう」を合わせた『問題だと思う』は72.8%となっています。

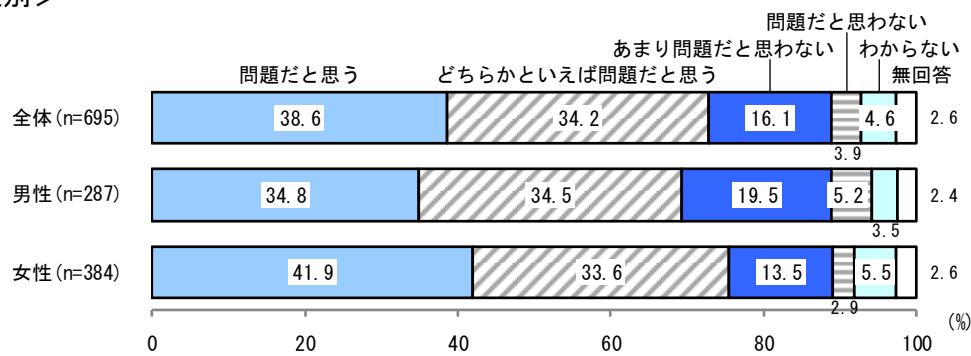
性別でみると、「問題だと思う」は男性(34.8%)より女性(41.9%)のほうが7.1ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は男性の50~59歳(40.4%)で4割を占めて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(43.6%)で学習経験なし又は覚えていない(30.3%)より13.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思おう	どちらかといえば問題だと思おう	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	38.6	34.2	16.1	3.9	4.6	2.6
性年代別							
男性	18・19歳	8	50.0	25.0	12.5	12.5	-
	20~29歳	21	52.4	42.9	4.8	-	-
	30~39歳	22	22.7	40.9	9.1	18.2	4.5
	40~49歳	41	41.5	24.4	24.4	2.4	4.9
	50~59歳	42	26.2	31.0	33.3	7.1	2.4
	60~69歳	53	32.1	39.6	18.9	5.7	1.9
	70歳以上	99	35.4	35.4	18.2	3.0	4.0
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	65.5	24.1	10.3	-	-
	30~39歳	41	53.7	31.7	9.8	2.4	-
	40~49歳	57	47.4	29.8	14.0	3.5	1.8
	50~59歳	73	46.6	32.9	13.7	2.7	2.7
	60~69歳	66	40.9	37.9	13.6	-	4.5
	70歳以上	109	24.8	36.7	16.5	5.5	12.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	43.6	33.0	15.9	3.7	2.2	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	30.3	37.2	17.9	3.7	8.7	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	41.2	36.8	14.0	3.5	1.8	2.6
参加経験なし	560	38.4	33.6	16.8	3.9	5.4	2.0

(7) 自治会長など地域の役職は慣習的に男性がつとめていること

地域の役職は慣習的に男性がつとめていることについて、「どちらかといえば問題だと思う」が28.6%と最も高く、次いで「あまり問題だと思わない」(28.3%)、「問題だと思う」(26.6%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は55.2%となっています。

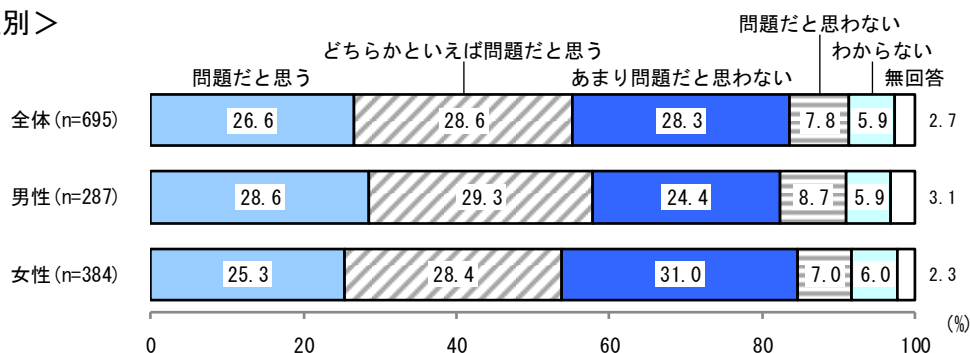
性別でみると、「あまり問題だと思わない」は男性(24.4%)より女性(31.0%)のほうが6.6ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は男性の50~59歳(50.0%)で5割を占めて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(30.6%)で学習経験なし又は覚えていない(19.3%)より11.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は参加経験あり(61.4%)で参加経験なし(53.9%)より7.5ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

		調査数	問題だ と思う	どちらか といえば 問題 だと思 う	い だ と 思 わ な い	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		695	26.6	28.6	28.3	7.8	5.9	2.7	
性年代別									
男性	18・19歳	8	62.5	12.5	12.5	-	12.5	-	
	20~29歳	21	28.6	28.6	28.6	9.5	4.8	-	
	30~39歳	22	22.7	54.5	9.1	4.5	4.5	4.5	
	40~49歳	41	43.9	19.5	22.0	4.9	7.3	2.4	
	50~59歳	42	21.4	26.2	35.7	14.3	7.5	2.4	-
	60~69歳	53	24.5	28.3	30.2	7.5	7.5	1.9	
	70歳以上	99	26.3	31.3	21.2	10.1	5.1	6.1	
女性	18・19歳	4	75.0	-	-	25.0	-	-	
	20~29歳	29	41.4	37.9	17.2	-	3.4	-	
	30~39歳	41	29.3	41.5	24.4	2.4	-	2.4	
	40~49歳	57	24.6	29.8	28.1	10.5	3.5	3.5	
	50~59歳	73	24.7	34.2	34.2	2.7	2.7	1.4	
	60~69歳	66	33.3	18.2	31.8	7.6	6.1	3.0	
	70歳以上	109	14.7	23.9	36.7	9.2	12.8	2.8	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別									
学習経験あり		454	30.6	28.9	27.1	7.3	4.4	1.8	
学習経験なし又は覚えていない		218	19.3	28.4	32.1	8.7	8.7	2.8	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別									
参加経験あり		114	28.1	33.3	24.6	6.1	4.4	3.5	
参加経験なし		560	26.4	27.5	29.3	8.2	6.4	2.1	

そのほか、あなたが女性の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、65件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・男性と比較すると「女性らしさ」を求められる状況が男性の「男らしさ」と比較して、多いということ。(18・19歳男性)
- ・その歳で独身?、結婚しないの?、私はもうあなたの歳で子供育ててたわよ等、非常に不快な気持ちになる。(20~29歳女性)
- ・共働き夫婦が増えてきているが、それでも家事・育児は女性の役割という認識がされていること。(20~29歳女性)
- ・妊娠中の仕事負担減や休みやすい様な配慮がされるような社会になってほしいと思う。(できれば小学生以下に適用される様になってほしい。)(30~39歳男性)
- ・(5)に似ているが、「子供早く作らないと」等言われるのは本人の意示もあるし、出来ないと言うのもある。問題だと思う。(30~39歳女性)
- ・女性に的を絞って考えるべきではない。男性でも「まだ結婚しないのか」と聞かれるのは嫌である。女性の人権を主張する人や団体ほど、差別意識があるのでは?(40~49歳女性)
- ・生物学的な平等が必要だと思う。女性、男性共に生物学的に同じではないので得手不得手があるはずであり、それを社会的平等にするのは、ストレスがたまる原因になるように思う。(40~49歳男性)
- ・高齢者や専業主婦の方に女性を低くみている意識を持った方が多いと感じる。女性の中でも女性は男性より下でいいと思っている人がいる。特に男性に依存している人に多いと感じる。(50~59歳女性)
- ・男女平等と言われるがまだまだ平等になっていない。子などの世話で仕事を定時に帰る事が男性の理解がまだない。男性が子の世話するとやはり定時に帰宅しなければならず、そうなるとう世にひびくなどと考えられている。そこが平等になっていず、女性がする事となってしまう。(50~59歳女性)
- ・「女性は女性らしく」と固定的に決め付けること。(60~69歳女性)
- ・男性は仕事をし家庭を守る事、女性は家事育児に専念するのが本来の姿であると思うが、今の日本では難しい事が残念である。それはなぜなのかを官民でもっと考えるべきであると思うのだが……。 (60~69歳男性)
- ・女性自身がこの問題に対し認識が弱い。(70歳以上男性)
- ・女性であることだけを理由に能力以上に優遇されている人が存在する半面、大多数の女性が大きな差別をうけていること。(70歳以上男性)
- ・平等と云ってもやはり自由に出来る事が少なすぎる。(70歳以上女性)

4. 子どもに関する人権について

問9 あなたは、子どもの人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。

(1) 子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること

子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えることについて、「問題だと思う」が44.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(33.7%)、「あまり問題だと思わない」(13.8%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は77.7%となっています。

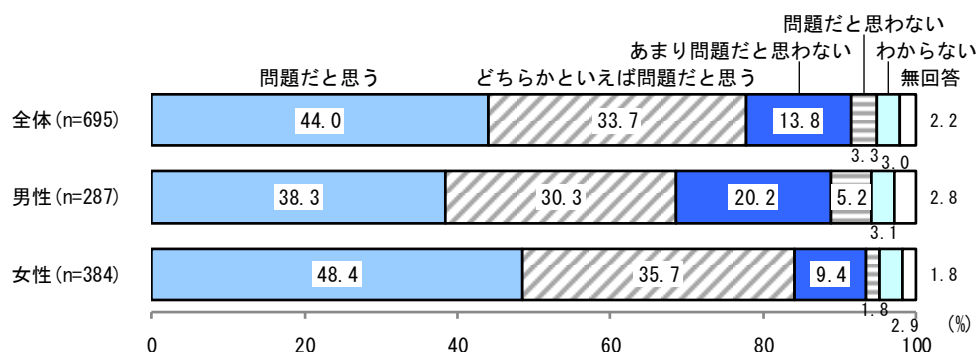
性別でみると、「あまり問題だと思わない」は女性(9.4%)より男性(20.2%)のほうが10.8ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は男性の30~39歳(31.8%)、40~49歳(36.6%)、50~59歳(35.7%)で3割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(48.0%)で学習経験なし又は覚えていない(37.2%)より10.8ポイント高くなっている一方で、「どちらかといえば問題だと思う」では、学習経験なし又は覚えていない(41.7%)で学習経験あり(30.6%)より11.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

		調査数	問題だと思 う	問題だと思 う どちらかといえ ば	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		695	44.0	33.7	13.8	3.3	3.0	2.2
性年代別								
男性	18・19歳	8	37.5	37.5	12.5	-	12.5	-
	20～29歳	21	47.6	23.8	28.6	-	-	-
	30～39歳	22	36.4	22.7	27.3	4.5	4.5	4.5
	40～49歳	41	36.6	22.0	24.4	12.2	2.4	2.4
	50～59歳	42	38.1	26.2	26.2	9.5	-	-
	60～69歳	53	39.6	26.4	24.5	3.8	1.9	3.8
	70歳以上	99	37.4	39.4	11.1	3.0	5.1	4.0
女性	18・19歳	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-
	20～29歳	29	65.5	20.7	3.4	3.4	6.9	-
	30～39歳	41	36.6	46.3	12.2	2.4	2.4	-
	40～49歳	57	49.1	36.8	7.0	1.8	-	5.3
	50～59歳	73	56.2	32.9	9.6	-	1.4	-
	60～69歳	66	51.5	39.4	7.6	-	-	1.5
	70歳以上	109	41.3	35.8	10.1	3.7	6.4	2.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	48.0	30.6	14.3	3.3	1.8	2.0
学習経験なし又は覚えていない		218	37.2	41.7	12.4	2.8	4.6	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	47.4	37.7	8.8	3.5	0.9	1.8
参加経験なし		560	43.4	33.6	14.3	3.2	3.6	2.0

(2) 子ども同士の「仲間はずれ」、「無視」など

子ども同士の「仲間はずれ」、「無視」などについて、「問題だと思う」が72.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(20.3%)、「あまり問題だと思わない」(2.7%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は92.7%となっています。

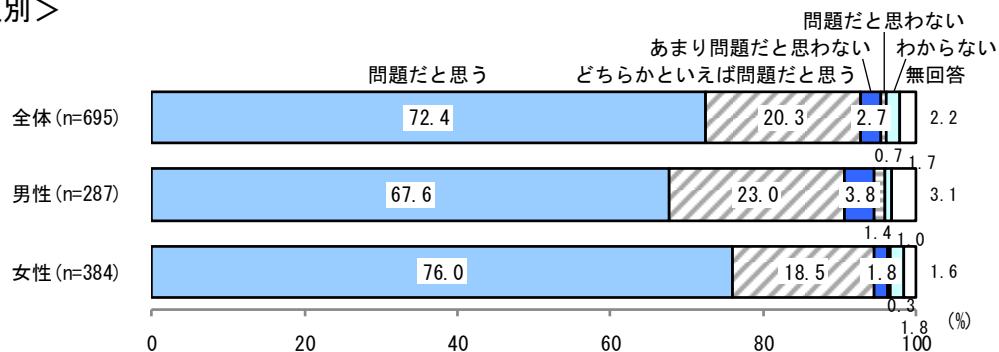
性別でみると、「問題だと思う」は男性(67.6%)より女性(76.0%)のほうが8.4ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の60～69歳(90.9%)で9割を占めて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(74.7%)で学習経験なし又は覚えていない(69.3%)より5.4ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	72.4	20.3	2.7	0.7	1.7	2.2
性年代別							
男性	18・19歳	8	100.0	-	-	-	-
	20～29歳	21	61.9	28.6	9.5	-	-
	30～39歳	22	54.5	31.8	9.1	-	4.5
	40～49歳	41	65.9	24.4	7.3	-	2.4
	50～59歳	42	73.8	19.0	2.4	4.8	-
	60～69歳	53	67.9	28.3	-	1.9	1.9
	70歳以上	99	67.7	20.2	3.0	1.0	2.0
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20～29歳	29	82.8	13.8	3.4	-	-
	30～39歳	41	56.1	36.6	4.9	2.4	-
	40～49歳	57	78.9	17.5	-	-	3.5
	50～59歳	73	80.8	19.2	-	-	-
	60～69歳	66	90.9	7.6	-	-	1.5
	70歳以上	109	67.9	20.2	2.8	-	6.4
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	74.7	20.0	2.6	0.7	0.7	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	69.3	22.5	3.2	0.5	2.3	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	71.1	22.8	3.5	0.9	-	1.8
参加経験なし	560	72.5	20.2	2.7	0.7	2.0	2.0

(3) SNSなどインターネットを使ったいじめが起きていること

SNSなどインターネットを使ったいじめが起きていることについて、「問題だと思う」が82.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(11.5%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は94.4%となっています。

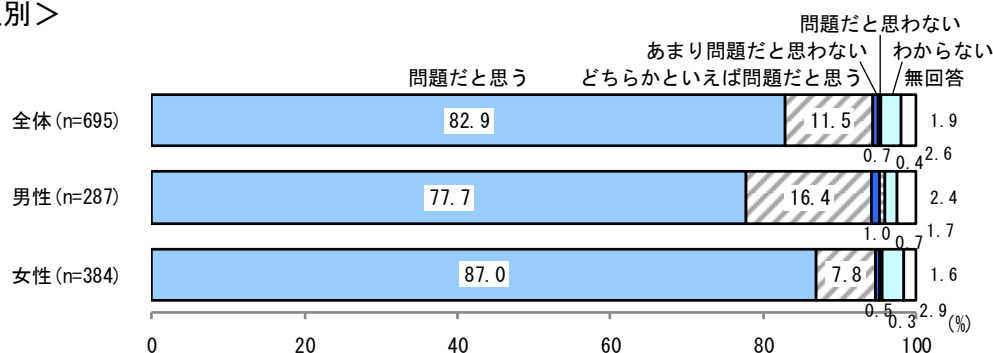
性別でみると、「問題だと思う」は男性(77.7%)より女性(87.0%)のほうが9.3ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の20~29歳(96.6%)、40~49歳(91.2%)、60~69歳(95.5%)で9割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(87.0%)で学習経験なし又は覚えていない(77.1%)より9.9ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だ と思う	思 え ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	695	82.9	11.5	0.7	0.4	2.6	1.9
性年代別							
男性	18・19歳	8	87.5	12.5	-	-	-
	20~29歳	21	81.0	14.3	4.8	-	-
	30~39歳	22	72.7	22.7	-	-	4.5
	40~49歳	41	85.4	12.2	-	-	2.4
	50~59歳	42	73.8	19.0	-	2.4	4.8
	60~69歳	53	79.2	17.0	-	1.9	1.9
	70歳以上	99	74.7	16.2	2.0	-	3.0
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	96.6	3.4	-	-	-
	30~39歳	41	82.9	14.6	-	2.4	-
	40~49歳	57	91.2	5.3	-	-	3.5
	50~59歳	73	87.7	11.0	1.4	-	-
	60~69歳	66	95.5	1.5	1.5	-	1.5
	70歳以上	109	77.1	10.1	-	-	10.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	87.0	10.6	-	0.4	0.7	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	77.1	13.3	1.8	-	5.5	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	84.2	11.4	0.9	0.9	0.9	1.8
参加経験なし	560	82.7	11.8	0.7	0.4	2.9	1.6

(4) 学校の規則等を定める際に子どもの意見表明の場がないこと

学校の規則等を定める際に子どもの意見表明の場がないことについて、「問題だと思う」が40.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(36.0%)、「あまり問題だと思わない」(14.0%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は76.9%となっています。

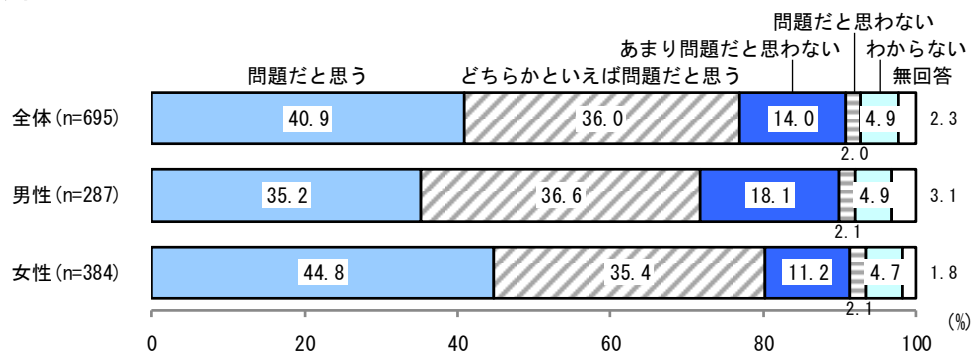
性別でみると、「問題だと思う」は男性(35.2%)より女性(44.8%)のほうが9.6ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は女性の20~29歳(93.1%)で9割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(45.4%)で学習経験なし又は覚えていない(33.0%)より12.4ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

		調査数	問題だ と思う	思 えど ちら か と い え ば 問 題 だ と い う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		695	40.9	36.0	14.0	2.0	4.9	2.3
性年代別								
男性	18・19歳	8	50.0	37.5	12.5	-	-	-
	20~29歳	21	42.9	33.3	23.8	-	-	-
	30~39歳	22	40.9	31.8	13.6	4.5	4.5	4.5
	40~49歳	41	46.3	29.3	17.1	-	4.9	2.4
	50~59歳	42	28.6	35.7	28.6	2.4	2.4	2.4
	60~69歳	53	35.8	35.8	24.5	1.9	-	1.9
	70歳以上	99	29.3	42.4	11.1	3.0	9.1	5.1
女性	18・19歳	4	75.0	25.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	55.2	37.9	6.9	-	-	-
	30~39歳	41	48.8	29.3	14.6	7.3	-	-
	40~49歳	57	42.1	40.4	8.8	1.8	3.5	3.5
	50~59歳	73	53.4	30.1	12.3	-	4.1	-
	60~69歳	66	42.4	34.8	13.6	3.0	4.5	1.5
	70歳以上	109	36.7	39.4	9.2	1.8	9.2	3.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	45.4	34.4	15.0	1.3	2.4	1.5
学習経験なし又は覚えていない		218	33.0	39.9	12.8	3.2	8.3	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	36.8	38.6	18.4	1.8	2.6	1.8
参加経験なし		560	42.1	35.2	13.4	2.1	5.0	2.1

(5) 教師が子どもに体罰を加えること

教師が子どもに体罰を加えることについて、「問題だと思う」が56.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(26.6%)、「あまり問題だと思わない」(10.1%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は83.0%となっています。

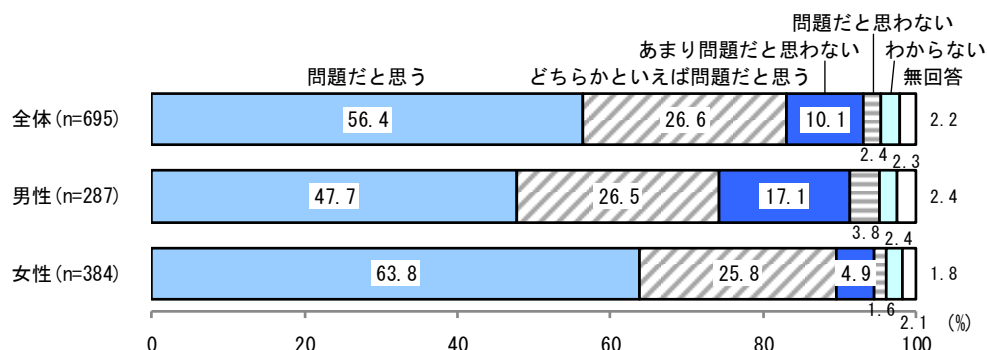
性別でみると、「問題だと思う」は男性(47.7%)より女性(63.8%)のほうが16.1ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の20~29歳(72.4%)、40~49歳(70.2%)で7割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	56.4	26.6	10.1	2.4	2.3	2.2
性年代別							
男性	18・19歳	8	87.5	12.5	-	-	-
	20~29歳	21	47.6	23.8	28.6	-	-
	30~39歳	22	45.5	22.7	18.2	9.1	4.5
	40~49歳	41	51.2	19.5	19.5	4.9	2.4
	50~59歳	42	38.1	23.8	23.8	9.5	4.8
	60~69歳	53	39.6	34.0	22.6	1.9	1.9
	70歳以上	99	52.5	29.3	9.1	2.0	3.0
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	72.4	17.2	3.4	3.4	-
	30~39歳	41	56.1	36.6	2.4	2.4	2.4
	40~49歳	57	70.2	19.3	7.0	-	3.5
	50~59歳	73	65.8	30.1	2.7	-	1.4
	60~69歳	66	66.7	24.2	6.1	1.5	1.5
	70歳以上	109	57.8	25.7	5.5	2.8	5.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	57.3	27.1	10.4	2.2	1.3	1.8
学習経験なし又は覚えていない	218	56.4	26.1	10.1	2.3	3.7	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	53.5	31.6	8.8	3.5	1.8	0.9
参加経験なし	560	57.5	25.5	10.4	2.1	2.5	2.0

(6) 実在する子どもの性的描写は法律で規制されているが、漫画やアニメの性的描写は規制されていないこと

漫画やアニメの性的描写は規制されていないことについて、「問題だと思う」「どちらかといえば問題だと思う」がともに34.7%と最も高く、次いで「あまり問題だと思わない」(15.0%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は69.4%となっています。

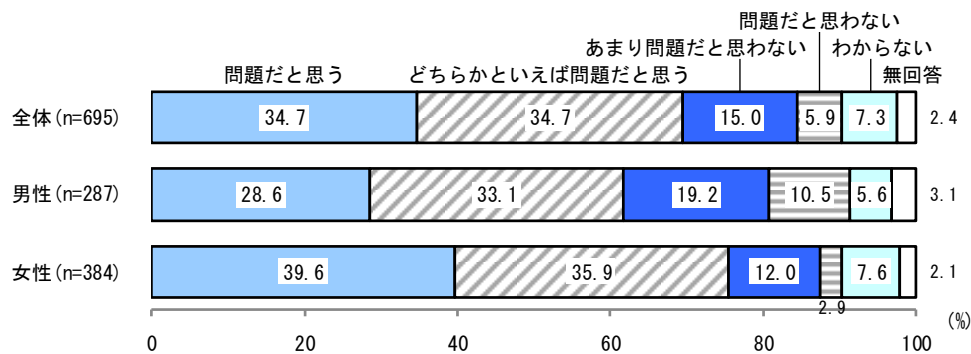
性別でみると、「問題だと思う」は男性(28.6%)より女性(39.6%)のほうが11.0ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の50～59歳(50.7%)で5割を占めて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

		調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体		695	34.7	34.7	15.0	5.9	7.3	2.4
性年代別								
男性	18・19歳	8	12.5	25.0	12.5	50.0	-	-
	20～29歳	21	19.0	19.0	28.6	28.6	4.8	-
	30～39歳	22	18.2	27.3	31.8	18.2	-	4.5
	40～49歳	41	26.8	26.8	22.0	14.6	7.3	2.4
	50～59歳	42	11.9	45.2	21.4	9.5	11.9	-
	60～69歳	53	41.5	32.1	17.0	5.7	1.9	1.9
	70歳以上	99	34.3	36.4	14.1	3.0	6.1	6.1
女性	18・19歳	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	20～29歳	29	27.6	20.7	31.0	6.9	13.8	-
	30～39歳	41	17.1	51.2	19.5	9.8	-	2.4
	40～49歳	57	38.6	35.1	15.8	-	7.0	3.5
	50～59歳	73	50.7	37.0	8.2	-	4.1	-
	60～69歳	66	43.9	34.8	10.6	4.5	4.5	1.5
	70歳以上	109	43.1	33.0	4.6	1.8	13.8	3.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	35.7	33.9	16.5	7.0	4.8	2.0
学習経験なし又は覚えていない		218	34.9	36.7	12.8	2.8	10.6	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	31.6	41.2	18.4	2.6	3.5	2.6
参加経験なし		560	35.2	33.6	14.6	6.6	7.9	2.1

(7) 家庭の経済的事情によって教育に格差が生じていること

家庭の経済的事情によって教育に格差が生じていることについて、「問題だと思う」が51.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(32.5%)、「あまり問題だと思わない」(7.8%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は83.9%となっています。

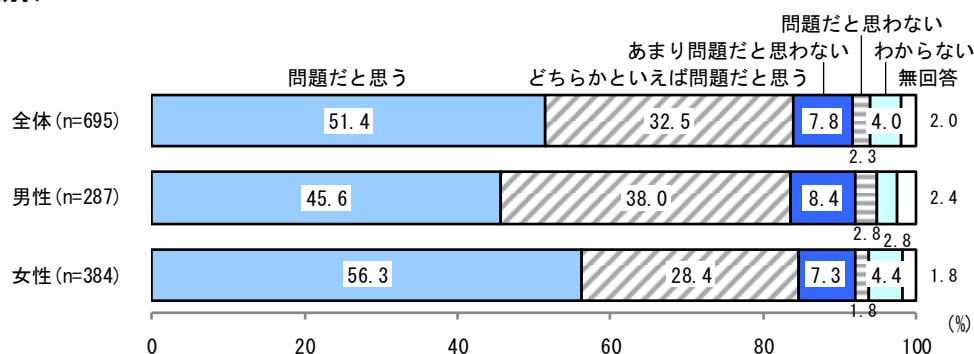
性別でみると、「問題だと思う」は男性(45.6%)より女性(56.3%)のほうが10.7ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の50～59歳(68.5%)、60～69歳(65.2%)で6割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(54.8%)で学習経験なし又は覚えていない(47.2%)より7.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	51.4	32.5	7.8	2.3	4.0	2.0
性年代別							
男性	18・19歳	8	62.5	12.5	25.0	-	-
	20～29歳	21	42.9	38.1	19.0	-	-
	30～39歳	22	36.4	45.5	9.1	4.5	4.5
	40～49歳	41	56.1	26.8	9.8	4.9	2.4
	50～59歳	42	42.9	47.6	2.4	2.4	4.8
	60～69歳	53	52.8	35.8	3.8	3.8	1.9
	70歳以上	99	40.4	39.4	9.1	2.0	5.1
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20～29歳	29	55.2	37.9	3.4	3.4	-
	30～39歳	41	41.5	41.5	12.2	2.4	2.4
	40～49歳	57	56.1	28.1	5.3	3.5	3.5
	50～59歳	73	68.5	21.9	6.8	-	2.7
	60～69歳	66	65.2	22.7	6.1	4.5	-
	70歳以上	109	46.8	30.3	9.2	-	10.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	54.8	30.8	8.1	2.6	2.0	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	47.2	36.7	6.9	1.4	6.0	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	54.4	37.7	3.5	1.8	1.8	0.9
参加経験なし	560	51.3	31.4	8.9	2.5	3.9	2.0

(8) 家事や家族の世話・介護などを日常的に子どもが行っていること

家事や家族の世話・介護などを日常的に子どもが行っていることについて、「問題だと思ふ」が57.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思ふ」(25.3%)、「あまり問題だと思わない」(9.9%)となっています。「問題だと思ふ」と「どちらかといえば問題だと思ふ」を合わせた『問題だと思ふ』は82.6%となっています。

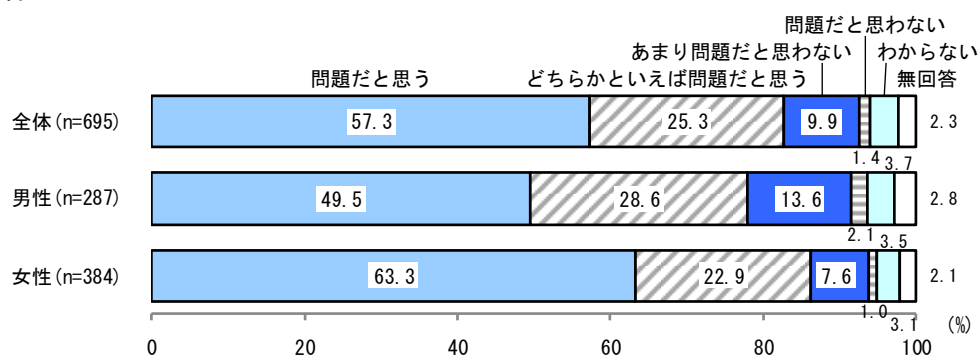
性別でみると、「問題だと思ふ」は男性(49.5%)より女性(63.3%)のほうが13.8ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思ふ」は女性の40～49歳(70.2%)、60～69歳(75.8%)で7割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思ふ」は学習経験あり(61.5%)で学習経験なし又は覚えていない(51.8%)より9.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<全体>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思ふ	どちらかといえば問題だと思ふ	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	57.3	25.3	9.9	1.4	3.7	2.3
性年代別							
男性	18・19歳	8	25.0	37.5	25.0	-	12.5
	20～29歳	21	38.1	52.4	9.5	-	-
	30～39歳	22	45.5	22.7	22.7	-	4.5
	40～49歳	41	58.5	24.4	14.6	-	2.4
	50～59歳	42	50.0	31.0	4.8	4.8	9.5
	60～69歳	53	67.9	13.2	13.2	3.8	1.9
	70歳以上	99	41.4	33.3	15.2	2.0	3.0
女性	18・19歳	4	50.0	25.0	25.0	-	-
	20～29歳	29	62.1	31.0	3.4	3.4	-
	30～39歳	41	56.1	36.6	4.9	2.4	-
	40～49歳	57	70.2	15.8	7.0	-	3.5
	50～59歳	73	68.5	20.5	6.8	1.4	1.4
	60～69歳	66	75.8	16.7	3.0	1.5	1.5
	70歳以上	109	52.3	24.8	11.9	-	7.3
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	61.5	23.8	9.5	1.3	2.4	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	51.8	29.8	9.6	1.4	4.6	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	53.5	33.3	9.6	0.9	0.9	1.8
参加経験なし	560	58.9	23.9	9.6	1.6	3.8	2.1

そのほか、あなたが子どもの人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、67件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・人権を理解させる教育を受けるまで「人権」の概念を理解できず、自分が侵害されていると気付けないということ。(18・19歳男性)
- ・SNSの広告やインターネットで性的描写のある画像が意図せず表示されていること。(20～29歳女性)
- ・全員が平等には出来ない。ないものねだりになってしまう。自分がいる場所で、自分の幸せを見つけることを、大人が伝えていける場があればと思う。体罰は、ていどによる。が、大人なら自分を忘れず口で言えと思う。(30～39歳女性)
- ・子どもの人権問題は各家庭がかかえている事情・問題を解消しなければなかなか解決しないと思う。(30～39歳男性)
- ・外あそびがしにくいように思う。公園でのボールあそび禁止とか、とにかく～禁止が多い。もっと大人が考えていかないといけない。(40～49歳男性)
- ・今も昔も経済的な事情などに平等はないので、それに対しての格差は生まれるが、それぞれに善悪があると思う。それぞれに学びがあると思う。が、どれにしてもトラウマになるようなものは良くない。いきすぎ、やりすぎに対しては、制限、フォローが必要。そして子供本人の意見がとにかく大事。子供たちが意見表明を出せる場がないのが一番の問題(40～49歳女性)
- ・いじめや虐待があった時、親や先生以外に誰に相談したら良いか分からない、または相談する術がない事(40～49歳女性)
- ・一人でも命の危険のある子供が一人の人間としての人権を守られる社会を早く作っていかないとと思う。(50～59歳女性)
- ・経済的事情、家庭環境によって教育を受ける権利が損なわれていること(50～59歳女性)
- ・学芸会に主人公が何人もいる。権力の有る親の子供がちやほやさされ、子供達で上下関係があり、平均(平等)にならない。先生の好き嫌いで、子供達も同じ事をする。(50～59歳男性)
- ・ヤングケアラー問題や児童虐待を解決すること。(60～69歳男性)
- ・(7)家庭の経済的事情によって、教育を受けられない事はとても悲しい事です。行きたい学校に行けるようにもっと援助してほしいです。(60～69歳女性)
- ・学校でいじめにあっている人に対して皆の関心が、無いのではなくて、自分になりたくないから無視していることがいけないと思う。(70歳以上女性)
- ・時代の流れで考え方意見が変わっていると思う。自分の感覚でいくと今の時代の考え方は少し過剰だと思う。(70歳以上男性)

5. 高齢者に関する人権について

問10 あなたは、高齢者の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。

(1) 働ける能力を発揮する機会がないこと

働ける能力を発揮する機会がないことについて、「どちらかといえば問題だと思う」が43.0%と最も高く、次いで「問題だと思う」(35.4%)、「あまり問題だと思わない」(10.6%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は78.4%となっています。

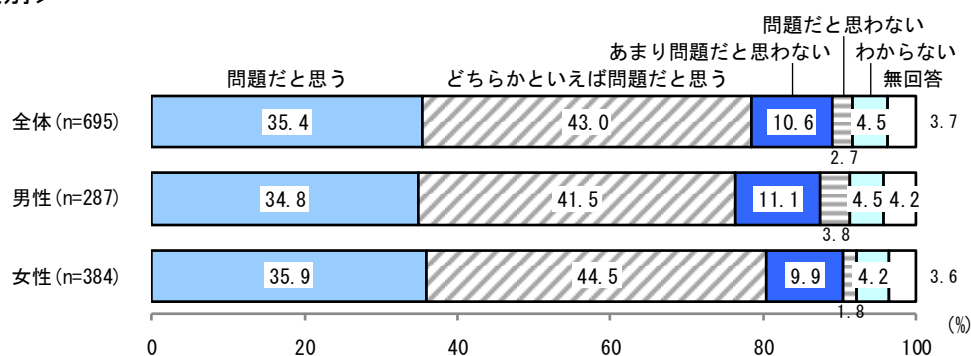
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思わない」は20～29歳(7.8%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(40.1%)で学習経験なし又は覚えていない(28.0%)より12.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	問題だと思わず どちらかといえば 問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	35.4	43.0	10.6	2.7	4.5	3.7
年代別							
18・19歳	12	50.0	50.0	-	-	-	-
20～29歳	51	35.3	45.1	7.8	7.8	2.0	2.0
30～39歳	63	34.9	46.0	7.9	3.2	1.6	6.3
40～49歳	100	44.0	41.0	11.0	-	3.0	1.0
50～59歳	116	41.4	43.1	11.2	-	1.7	2.6
60～69歳	119	40.3	40.3	10.1	1.7	3.4	4.2
70歳以上	212	24.5	43.4	13.2	4.7	8.5	5.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	40.1	44.1	9.5	2.0	2.2	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	28.0	43.1	13.3	4.1	7.3	4.1
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	30.7	49.1	11.4	2.6	1.8	4.4
参加経験なし	560	37.1	42.1	10.5	2.7	4.5	3.0

(2) 悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと

悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いことについて、「問題だと思う」が71.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(20.7%)、「あまり問題だと思わない」(2.3%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は92.1%となっています。

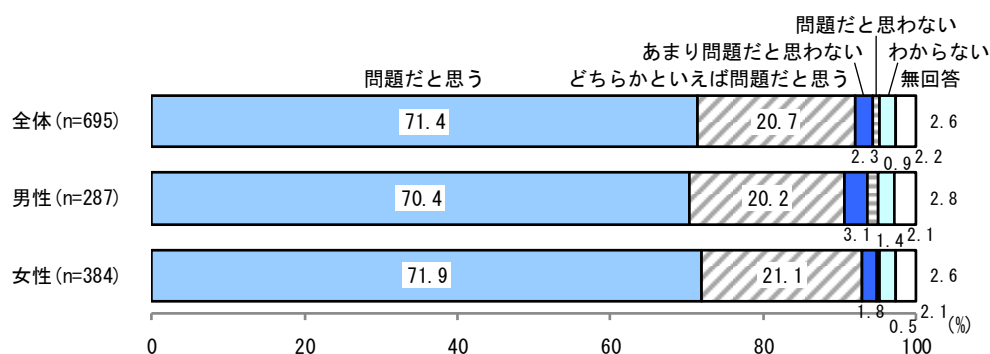
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」は40～49歳(81.0%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	71.4	20.7	2.3	0.9	2.2	2.6
年代別							
18・19歳	12	75.0	25.0	-	-	-	-
20～29歳	51	62.7	29.4	5.9	-	-	2.0
30～39歳	63	66.7	23.8	1.6	1.6	-	6.3
40～49歳	100	81.0	15.0	2.0	-	2.0	-
50～59歳	116	70.7	25.0	1.7	-	0.9	1.7
60～69歳	119	74.8	16.0	4.2	0.8	0.8	3.4
70歳以上	212	68.4	20.8	1.4	1.9	4.2	3.3
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	72.0	22.2	2.6	0.4	0.7	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	72.0	17.9	1.8	1.8	4.6	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	71.9	21.9	-	-	2.6	3.5
参加経験なし	560	71.4	20.5	2.9	1.1	2.1	2.0

(3) 集団生活である高齢者施設では、日常生活での自己決定の機会がないこと

高齢者施設では、日常生活での自己決定の機会がないことについて、「どちらかといえば問題だと思う」が39.3%と最も高く、次いで「問題だと思う」(31.2%)、「あまり問題だと思わない」(13.4%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は70.5%となっています。

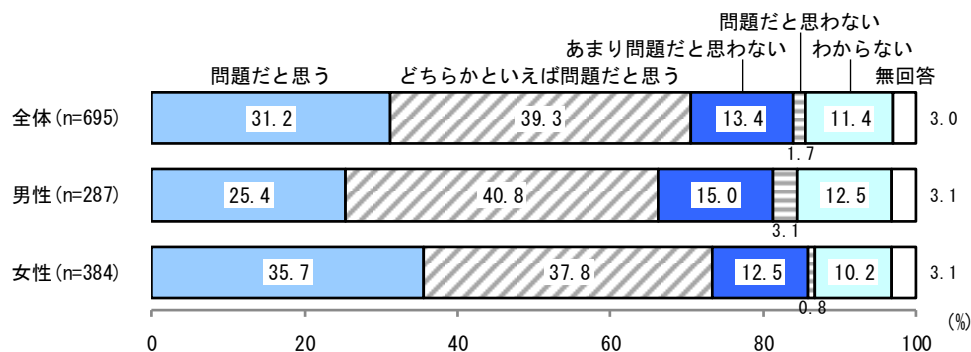
性別でみると、「問題だと思う」は男性(25.4%)より女性(35.7%)のほうが10.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思わない」は20～29歳(5.9%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(34.8%)で学習経験なし又は覚えていない(24.3%)より10.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思ふ	問題だと思ふ どちらかといえば	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	31.2	39.3	13.4	1.7	11.4	3.0
年代別							
18・19歳	12	50.0	33.3	-	-	16.7	-
20～29歳	51	25.5	43.1	19.6	5.9	3.9	2.0
30～39歳	63	30.2	44.4	12.7	1.6	4.8	6.3
40～49歳	100	41.0	37.0	12.0	3.0	7.0	-
50～59歳	116	37.9	39.7	10.3	0.9	9.5	1.7
60～69歳	119	31.1	45.4	11.8	0.8	7.6	3.4
70歳以上	212	24.5	35.4	15.6	1.4	18.9	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	34.8	39.6	13.7	1.8	8.1	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	24.3	41.3	13.8	1.8	16.1	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	28.1	45.6	14.0	0.9	7.9	3.5
参加経験なし	560	32.1	38.4	13.6	2.0	11.6	2.3

(4) 情報がひとり暮らしの高齢者に十分に伝わらないこと

情報がひとり暮らしの高齢者に十分に伝わらないことについて、「問題だと思う」が54.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(34.5%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は89.0%となっています。

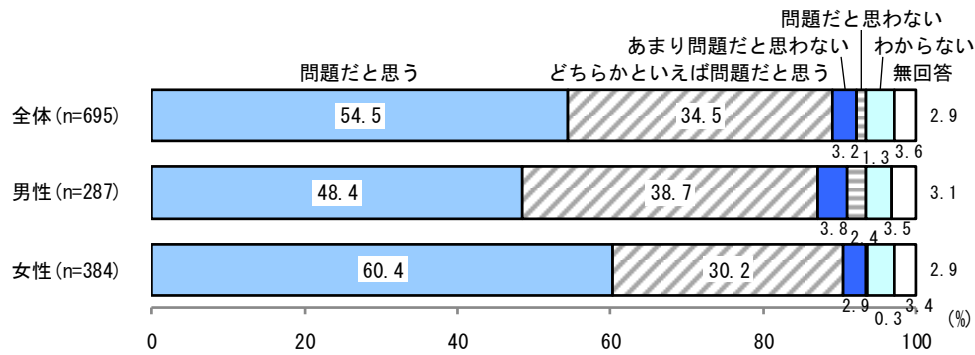
性別でみると、「問題だと思う」は男性(48.4%)より女性(60.4%)のほうが12.0ポイント高くなっています。

年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は学習経験あり(91.8%)で学習経験なし又は覚えていない(86.7%)より5.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だ と思う	問題だ と 思 う ど ち ら か と い え ば	思 わ な い	あ ま り 問 題 だ と	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	695	54.5	34.5	3.2	1.3	3.6	2.9	
年代別								
18・19歳	12	75.0	16.7	-	-	8.3	-	
20～29歳	51	54.9	31.4	7.8	2.0	2.0	2.0	
30～39歳	63	49.2	36.5	-	3.2	4.8	6.3	
40～49歳	100	62.0	33.0	2.0	1.0	2.0	-	
50～59歳	116	58.6	33.6	3.4	-	1.7	2.6	
60～69歳	119	54.6	37.0	2.5	2.5	-	3.4	
70歳以上	212	50.5	34.4	4.2	0.5	6.6	3.8	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	56.6	35.2	2.6	1.5	1.8	2.2	
学習経験なし又は覚えていない	218	52.8	33.9	4.6	0.5	6.0	2.3	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	52.6	36.8	2.6	1.8	2.6	3.5	
参加経験なし	560	55.5	34.1	3.4	1.1	3.6	2.3	

(5) 家族が世話をすることを避けたり、家族から虐待を受けたりすること

家族が世話をすることを避けたり、家族から虐待を受けたりすることについて、「問題だと思う」が74.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(18.6%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は92.8%となっています。

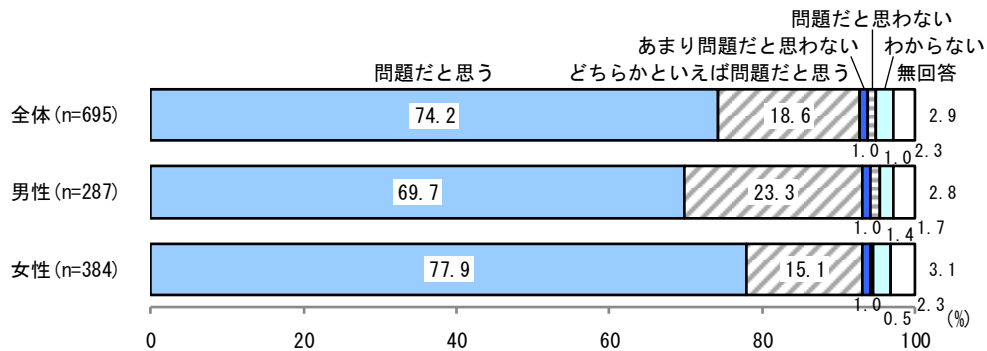
性別でみると、「問題だと思う」は男性(69.7%)より女性(77.9%)のほうが8.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は30～39歳(61.9%)で低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だ と思う	問題だ と 思 う ど ち ら か と い え ば	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	695	74.2	18.6	1.0	1.0	2.3	2.9
年代別							
18・19歳	12	100.0	-	-	-	-	-
20～29歳	51	72.5	17.6	3.9	2.0	2.0	2.0
30～39歳	63	61.9	27.0	1.6	1.6	1.6	6.3
40～49歳	100	77.0	20.0	-	1.0	2.0	-
50～59歳	116	78.4	17.2	1.7	-	0.9	1.7
60～69歳	119	75.6	17.6	0.8	1.7	0.8	3.4
70歳以上	212	72.6	17.9	0.5	0.5	4.2	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	75.6	19.4	0.7	1.1	1.1	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	74.8	17.4	1.8	0.5	3.2	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	73.7	20.2	-	0.9	1.8	3.5
参加経験なし	560	74.8	18.6	1.3	0.9	2.1	2.3

(6) 認知症の高齢者が電車ではねられる事故を起こし、家族に損害賠償が請求されること

認知症の高齢者が電車ではねられる事故を起こし、家族に損害賠償が請求されることについて、「問題だと思う」が60.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(23.3%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は84.2%となっています。

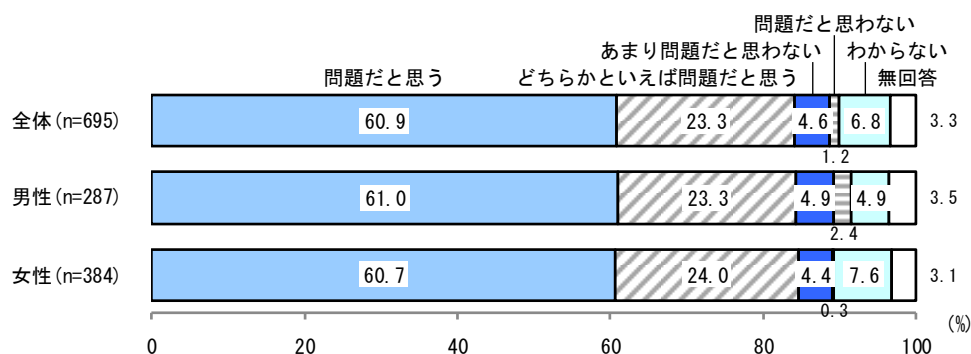
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」は40～49歳(77.0%)で高くなっており、「どちらかといえば問題だと思う」(15.0%)を合わせた『問題だと思う』は9割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(63.9%)で学習経験なし又は覚えていない(57.3%)より6.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験なし(63.9%)で学習経験あり(50.9%)より13.0ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	60.9	23.3	4.6	1.2	6.8	3.3
年代別							
18・19歳	12	50.0	33.3	-	16.7	-	-
20～29歳	51	60.8	25.5	7.8	2.0	2.0	2.0
30～39歳	63	65.1	22.2	3.2	-	3.2	6.3
40～49歳	100	77.0	15.0	6.0	2.0	-	-
50～59歳	116	64.7	20.7	3.4	-	8.6	2.6
60～69歳	119	59.7	23.5	8.4	0.8	4.2	3.4
70歳以上	212	50.9	28.8	2.4	0.9	12.3	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	63.9	22.9	5.3	1.1	4.6	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	57.3	25.7	3.2	1.4	9.6	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	50.9	32.5	5.3	0.9	6.1	4.4
参加経験なし	560	63.6	22.0	4.3	1.3	6.6	2.3

(7) 高齢者の意志が尊重されず、家族の都合で施設入所が決められてしまうこと

高齢者の意志が尊重されず、家族の都合で施設入所が決められてしまうことについて、「どちらかといえば問題だと思う」が41.7%と最も高く、次いで「問題だと思う」(28.5%)、「あまり問題だと思わない」(16.4%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は70.2%となっています。

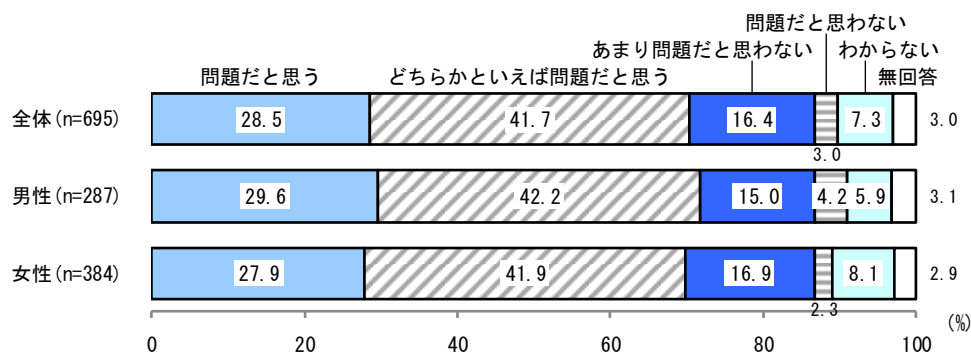
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は20～29歳(35.3%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	28.5	41.7	16.4	3.0	7.3	3.0
年代別							
18・19歳	12	66.7	25.0	-	-	8.3	-
20～29歳	51	23.5	33.3	29.4	5.9	5.9	2.0
30～39歳	63	19.0	41.3	25.4	3.2	4.8	6.3
40～49歳	100	27.0	44.0	23.0	4.0	2.0	-
50～59歳	116	27.6	50.0	11.2	1.7	7.8	1.7
60～69歳	119	31.9	42.0	12.6	3.4	6.7	3.4
70歳以上	212	29.7	40.6	13.2	2.8	9.9	3.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	28.9	41.0	18.5	3.1	6.6	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	28.4	46.8	11.5	3.2	7.3	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	27.2	46.5	13.2	3.5	6.1	3.5
参加経験なし	560	29.1	41.3	16.8	3.0	7.5	2.3

(8) 高齢者だけでは賃貸住宅などへの入居が難しいこと

高齢者だけでは賃貸住宅などへの入居が難しいことについて、「問題だと思う」が42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(37.8%)、「あまり問題だと思わない」(8.2%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思わない」を合わせた『問題だと思う』は80.5%となっています。

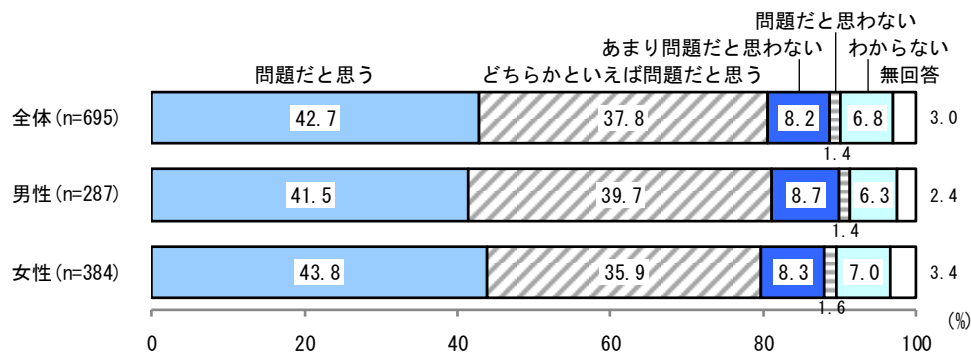
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「あまり問題だと思わない」は30～39歳(15.9%)で高く、また、「問題だと思わない」は40～49歳(6.0%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	42.7	37.8	8.2	1.4	6.8	3.0
年代別							
18・19歳	12	58.3	41.7	-	-	-	-
20～29歳	51	33.3	45.1	11.8	2.0	5.9	2.0
30～39歳	63	34.9	36.5	15.9	-	6.3	6.3
40～49歳	100	42.0	37.0	11.0	6.0	4.0	-
50～59歳	116	45.7	42.2	6.0	0.9	3.4	1.7
60～69歳	119	50.4	33.6	7.6	0.8	4.2	3.4
70歳以上	212	41.0	36.3	6.6	0.5	11.3	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	44.3	37.9	8.8	2.2	4.4	2.4
学習経験なし又は覚えていない	218	40.4	39.0	7.8	-	10.6	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	41.2	36.8	7.9	1.8	8.8	3.5
参加経験なし	560	43.2	38.0	8.6	1.4	6.4	2.3

そのほか、あなたが高齢者の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、54件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・少子高齢化社会が進んでゆくなかで、安易に安楽死という選択をとる家族が増えてゆくのではないかということ。(18・19歳男性)
- ・高齢者社会になるからこそ、高齢者を中心とした居場所を用意しないといけない。高齢者になることが楽しい社会にしないと。(30～39歳男性)
- ・高齢者が集まれる福祉センター等に出向く事が出来る方たちは良いと思うが、そうでない方もいるので、各町会がそういった場を提供してあげる事で高齢者のひきこもりも減るような気がする。(30～39歳女性)
- ・私の義父が、詐欺まがいの投資にだまされ、銀行の窓口へ何度も大金を下ろしに行きました。ATMなら防ぎようがなくても窓口なら異変に気付くのでは。官民間わず、高齢者を守る取組みをしてほしいです。(40～49歳女性)
- ・身近な事例が少ないのでわからないことが多いです。60歳以降も働くことができる環境制度は急務だと思います。(40～49歳男性)
- ・地域活動がへったことが孤独においやってしまったこと。(50～59歳女性)
- ・時間の有る高齢者の方が、親の代わりに子供達の面どうを見るのも良いと思う。ゲームなどでは無く自分で遊ぶ文具を作ることを教えてあげ、高齢者も子供と触れ合えることで、若さを保てる。(50～59歳男性)
- ・高齢者の仕事、きつい仕事、保険に入れない等。差別があることが、問題だと思う。(60～69歳女性)
- ・高齢者の所得によって家賃の額が異なる施設があればいいと思います。(60～69歳女性)
- ・高齢者への虐待や貧困問題に取り組むことが大切と思う。(60～69歳男性)
- ・昔に比べ今は福祉の方もいき届いてきたかと思います。(70歳以上女性)
- ・高齢者を働かせる職場を探してあげる事も必要ではないでしょうか。当方は掃除業務として65～80才まで雇用しています。元気な老人は大助かりです。(70歳以上女性)
- ・介護施設に入ったら自由に外へ出られない。(コロナの関係かもしれない)それより介護施設に入れるか、どうか不安(1人になった場合)(70歳以上女性)
- ・(3)集団生活=共同生活であり、全体と自己とのバランス・我慢も必要である。(7)家族の都合≠家族の状況・高齢者が施設入所が幸福な場合もある。家族が大きな負担となることも考慮すべきである。(70歳以上男性)
- ・高齢者の能力、高齢の程度等、一括で扱うことが不適切。他の事情考慮しないと、一概には判らない。(70歳以上男性)

6. 障害者に関する人権について

問11 あなたは、障害者の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。

(1) 精神疾患や精神障害に対し、いまだ社会に強い偏見や理解不足があること

精神疾患や精神障害に対し、いまだ社会に強い偏見や理解不足があることについて、「問題だと思う」が44.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(37.0%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は81.7%となっています。

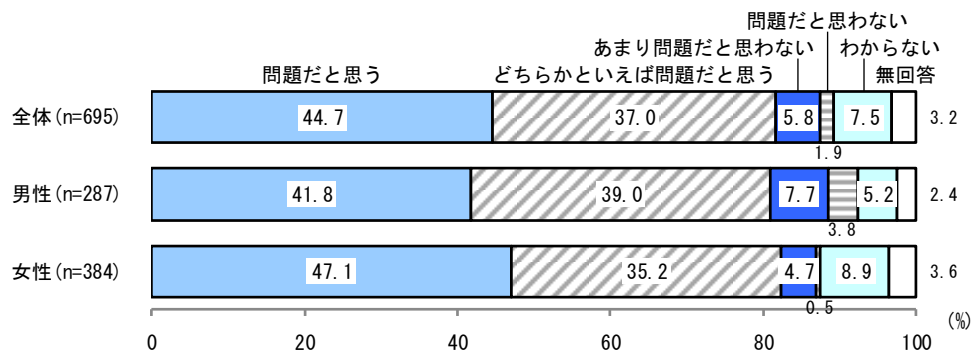
性別でみると、「問題だと思う」は男性(41.8%)より女性(47.1%)のほうが5.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は20～29歳(58.8%)で高くなっています。また、70歳未満で「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は8割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(47.8%)で学習経験なし又は覚えていない(40.4%)より7.4ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だ と思う	問題だ と 思 う ど ち ら か と い え ば	思 わ な い あ ま り 問 題 だ と	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	695	44.7	37.0	5.8	1.9	7.5	3.2
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	58.8	29.4	7.8	-	2.0	2.0
30～39歳	63	49.2	34.9	4.8	-	4.8	6.3
40～49歳	100	53.0	31.0	7.0	5.0	4.0	-
50～59歳	116	43.1	44.0	3.4	2.6	5.2	1.7
60～69歳	119	41.2	39.5	8.4	1.7	5.9	3.4
70歳以上	212	36.3	39.2	5.7	1.4	12.7	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	47.8	37.4	5.9	2.2	4.6	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	40.4	38.1	6.0	1.4	11.5	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	42.1	43.9	3.5	1.8	4.4	4.4
参加経験なし	560	45.5	35.9	6.4	2.0	7.9	2.3

(2) 社内に適切な仕事がないことなどを理由に、障害者雇用に企業が積極的に取り組まないこと

障害者雇用に企業が積極的に取り組まないことについて、「どちらかといえば問題だと思う」が39.6%と最も高く、次いで「問題だと思う」(37.4%)、「あまり問題だと思わない」(10.6%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は77.0%となっています。

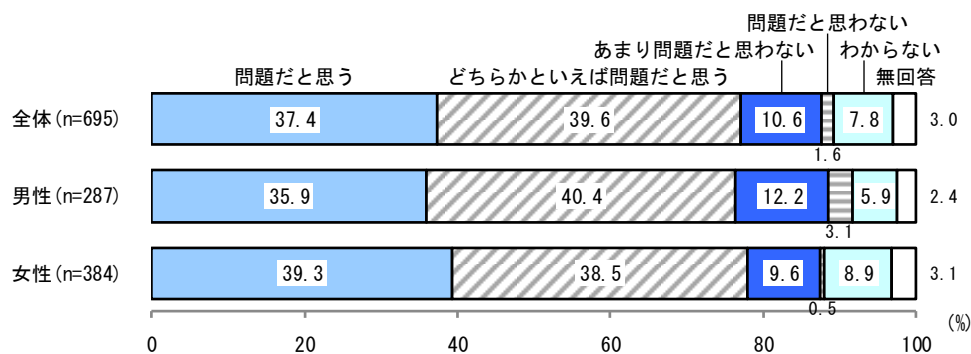
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」は20～29歳(49.0%)、40～49歳(47.0%)で高くなっています。また、「わからない」は70歳以上(13.7%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(40.5%)で学習経験なし又は覚えていない(33.0%)より7.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	37.4	39.6	10.6	1.6	7.8	3.0
年代別							
18・19歳	12	75.0	16.7	-	8.3	-	-
20～29歳	51	49.0	31.4	11.8	2.0	3.9	2.0
30～39歳	63	38.1	36.5	17.5	1.6	-	6.3
40～49歳	100	47.0	33.0	12.0	2.0	6.0	-
50～59歳	116	37.9	41.4	13.8	1.7	3.4	1.7
60～69歳	119	35.3	44.5	8.4	0.8	7.6	3.4
70歳以上	212	28.3	44.3	8.5	1.4	13.7	3.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	40.5	39.0	11.7	1.5	5.1	2.2
学習経験なし又は覚えていない	218	33.0	41.3	9.2	1.8	12.4	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	33.3	47.4	7.0	0.9	7.0	4.4
参加経験なし	560	38.6	38.2	11.4	1.8	7.9	2.1

(3) 手話や音声案内など、情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと

情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りないことについて、「問題だと思う」が46.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(36.5%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は83.3%となっています。

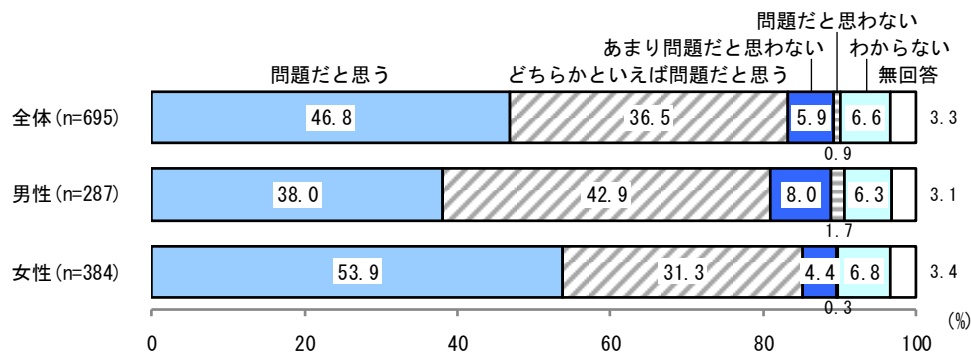
性別でみると、「問題だと思う」は男性(38.0%)より女性(53.9%)のほうが15.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、「わからない」は70歳以上(12.7%)で高くなっており、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』(75.0%)は他の年代に比べて低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(50.9%)で学習経験なし又は覚えていない(40.8%)より10.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	46.8	36.5	5.9	0.9	6.6	3.3
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	51.0	31.4	7.8	2.0	5.9	2.0
30～39歳	63	52.4	33.3	4.8	-	3.2	6.3
40～49歳	100	55.0	35.0	7.0	1.0	2.0	-
50～59歳	116	46.6	44.8	4.3	0.9	1.7	1.7
60～69歳	119	43.7	37.8	5.9	1.7	7.6	3.4
70歳以上	212	39.2	35.8	6.6	0.5	12.7	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	50.9	35.9	6.6	1.1	3.5	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	40.8	39.9	5.0	0.5	10.6	3.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	47.4	38.6	2.6	1.8	4.4	5.3
参加経験なし	560	47.3	36.4	6.8	0.7	6.6	2.1

(4) 知的障害、精神障害等により判断能力が十分でないことを理由に後見人や家族が財産を勝手に処分すること

判断能力が十分でないことを理由に後見人や家族が財産を勝手に処分することについて、「問題だと思う」が56.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(23.9%)、「あまり問題だと思わない」(7.5%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は80.7%となっています。

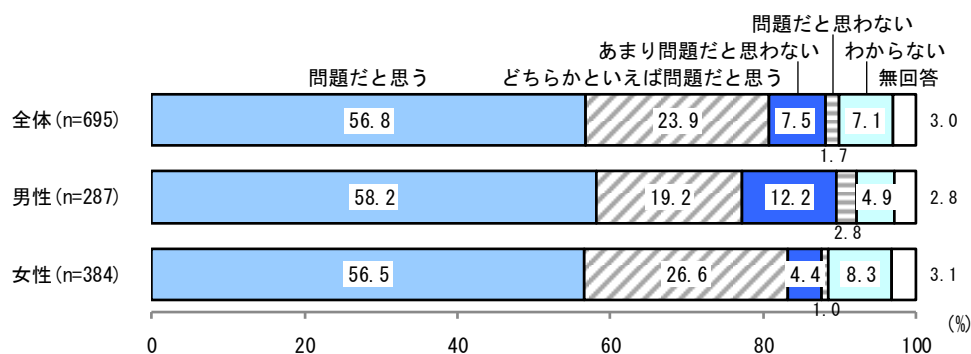
性別でみると、「あまり問題だと思わない」は女性(4.4%)より男性(12.2%)のほうが7.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、「わからない」は70歳以上(11.3%)で高くなっており、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』(77.4%)は他の年代に比べて低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	56.8	23.9	7.5	1.7	7.1	3.0
年代別							
18・19歳	12	91.7	-	-	-	8.3	-
20～29歳	51	60.8	21.6	5.9	3.9	5.9	2.0
30～39歳	63	46.0	31.7	12.7	-	3.2	6.3
40～49歳	100	58.0	26.0	10.0	4.0	2.0	-
50～59歳	116	56.0	29.3	7.8	0.9	4.3	1.7
60～69歳	119	57.1	21.8	6.7	3.4	7.6	3.4
70歳以上	212	56.6	20.8	6.6	0.5	11.3	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	58.8	24.0	8.4	2.2	4.6	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	55.0	24.8	6.0	0.9	10.6	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	52.6	25.4	8.8	3.5	5.3	4.4
参加経験なし	560	57.9	23.9	7.3	1.4	7.3	2.1

(5) 車いすの利用に配慮した段差の解消やスロープの設置が進まないこと

段差の解消やスロープの設置が進まないことについて、「問題だと思う」が61.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(27.6%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は89.2%となっています。

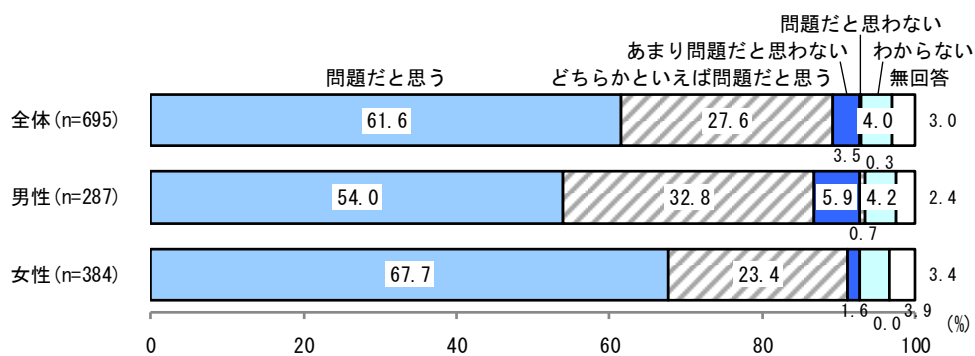
性別でみると、「問題だと思う」は男性(54.0%)より女性(67.7%)のほうが13.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は40～49歳(75.0%)で高くなっており、「どちらかといえば問題だと思う」(21.0%)を合わせた『問題だと思う』は96.0%となっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(65.6%)で学習経験なし又は覚えていない(55.5%)より10.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	61.6	27.6	3.5	0.3	4.0	3.0
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	58.8	31.4	2.0	-	5.9	2.0
30～39歳	63	60.3	25.4	7.9	-	-	6.3
40～49歳	100	75.0	21.0	4.0	-	-	-
50～59歳	116	64.7	28.4	2.6	-	2.6	1.7
60～69歳	119	57.1	31.1	4.2	0.8	3.4	3.4
70歳以上	212	55.7	29.7	2.4	0.5	7.5	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	65.6	25.6	4.0	0.2	2.6	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	55.5	33.0	2.3	0.5	6.0	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	58.8	28.1	2.6	0.9	5.3	4.4
参加経験なし	560	62.3	28.0	3.6	0.2	3.8	2.1

(6) スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が十分でないこと

スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が十分でないことについて、「どちらかといえば問題だと思う」が38.6%と最も高く、次いで「問題だと思う」(34.8%)、「あまり問題だと思わない」(13.2%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は73.4%となっています。

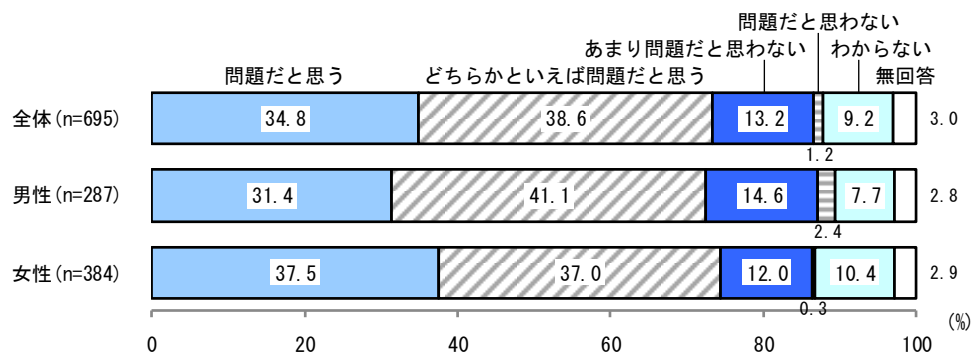
性別でみると、「問題だと思う」は男性(31.4%)より女性(37.5%)のほうが6.1ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は20～29歳(47.1%)、40～49歳(46.0%)で4割を超え高くなっている一方、70歳以上(22.6%)で低くなっています。また、「わからない」は70歳以上(16.5%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(41.0%)で学習経験なし又は覚えていない(23.9%)より17.1ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	わからない	問題だと思う	わからない	無回答
全体	695	34.8	38.6	13.2	1.2	9.2	3.0	
年代別								
18・19歳	12	66.7	25.0	8.3	-	-	-	
20～29歳	51	47.1	31.4	9.8	-	9.8	2.0	
30～39歳	63	38.1	31.7	17.5	1.6	4.8	6.3	
40～49歳	100	46.0	31.0	17.0	1.0	5.0	-	
50～59歳	116	38.8	44.0	9.5	1.7	4.3	1.7	
60～69歳	119	32.8	44.5	9.2	1.7	7.6	4.2	
70歳以上	212	22.6	41.0	15.6	0.9	16.5	3.3	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	41.0	36.8	13.2	1.3	5.7	2.0	
学習経験なし又は覚えていない	218	23.9	42.7	14.2	0.9	15.6	2.8	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	34.2	42.1	12.3	0.9	6.1	4.4	
参加経験なし	560	34.8	38.2	13.9	1.3	9.6	2.1	

(7) 店舗などで店員が障害者本人を避け、その介助者や家族ばかりにコミュニケーションをとろうとすること

店員が障害者本人を避け、その介助者や家族ばかりにコミュニケーションをとろうとすることについて、「問題だと思う」が36.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(34.5%)、「あまり問題だと思わない」(14.2%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は71.2%となっています。

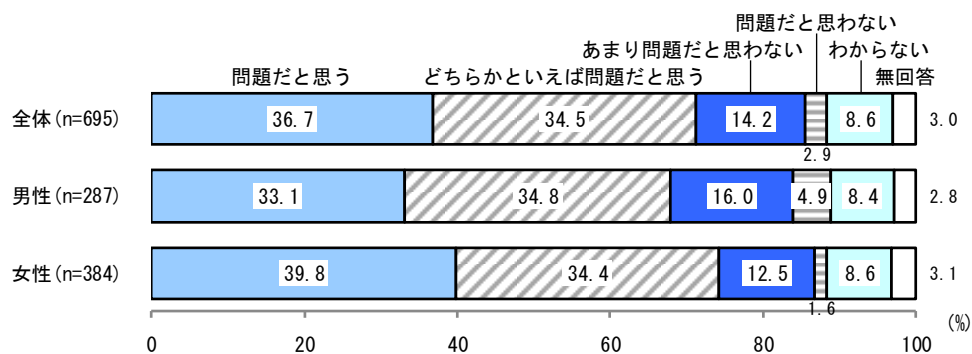
性別でみると、「問題だと思う」は男性(33.1%)より女性(39.8%)のほうが6.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は30～39歳(28.6%)、40～49歳(28.0%)で他の年代に比べて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(39.9%)で学習経験なし又は覚えていない(31.2%)より8.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(41.2%)で参加経験なし(35.5%)より5.7ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	36.7	34.5	14.2	2.9	8.6	3.0
年代別							
18・19歳	12	66.7	25.0	8.3	-	-	-
20～29歳	51	47.1	29.4	15.7	2.0	3.9	2.0
30～39歳	63	34.9	25.4	25.4	3.2	4.8	6.3
40～49歳	100	35.0	33.0	21.0	7.0	4.0	-
50～59歳	116	39.7	38.8	11.2	1.7	6.9	1.7
60～69歳	119	36.1	35.3	14.3	3.4	7.6	3.4
70歳以上	212	32.5	37.7	9.4	1.9	14.6	3.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	39.9	33.3	15.9	2.9	6.2	2.0
学習経験なし又は覚えていない	218	31.2	38.5	11.9	3.2	12.4	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	41.2	29.8	16.7	0.9	7.0	4.4
参加経験なし	560	35.5	36.1	14.1	3.4	8.8	2.1

そのほか、あなたが障害者の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、50件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・意見を表明できないほど重度の障害をもつ人が、人として認められず、安楽死させてもよいと考える人が多いということ。(18・19歳男性)
- ・障がいの有無によって、あたかも個人の価値が上下するかのような思考をもって障がい者と接することが人権侵害のように感じる。(20～29歳男性)
- ・重りを背負って、妊婦の大変さを体験するような、障害者の生活を体験するそんな設備があれば、もっと歩み寄れるかと(30～39歳男性)
- ・一番気になる事が盲道犬を連れていてる方の事、どういった店舗にも入店しやすくしてあげてほしい。(30～39歳女性)
- ・障害者の就労の選択肢がまだまだ少ないと思う。社会参加の機会を余暇を含めて増やしていくことが理解につながるのではないか。(30～39歳女性)
- ・見た目だけでは分からない知的障害者に対して、周りの理解が全くない。(40～49歳女性)
- ・障害者の方が、高度な学びを体験できる機会が少ないと思う。いじめなどあるかもしれないけど、健常者と一緒に学ぶのが、互いに良いと思う。普通の学校出て、道で障害者の方と会うと、身構えることがなくなる様な気がする。(40～49歳女性)
- ・どういった機会に、どの程度困ってらっしゃるのかを知る機会がありません。周知されないこと自体が問題では?(40～49歳男性)
- ・子供が大きくなって成人し、親が先に死なれ、その後子供達が一人で生活出来るのか心配です。兄弟、姉妹が同居していても、結婚して、バラバラになった場合、未来が…(50～59歳男性)
- ・(5)について、車いす乗っている方が話をされてましたが、歩道に段差があり、車をさけて、はしの方に行かないと行けないが、本人さんは車が恐いとおっしゃってました。道を作ってほしいと。(50～59歳女性)
- ・友人が知的障害の方に待ちぶせ、盗撮などのストーカー行為をされていますが、警察は相手は障害者だからしょうがないガマンしなさいと言われて終わりです。障害者は何をしても許されるのですか。(50～59歳女性)
- ・会社などのことは、できることできないことがあるのでいちがいに言えないけど働ける場所を作ってあげる努力は必要だと思う。(60～69歳女性)
- ・障害者をもっといたわる人をふやすためには、社会が知力を高めなければならないと思う。(60～69歳男性)
- ・一部の声の大きな障害者の声のみ「障害者の声である」とされているのが現状である。大多数の声をあげられない障害者の声を聞くように行政は努めるべきである。(70歳以上男性)
- ・障害者自身が自覚を以って人と接することが大切と思う(70歳以上女性)

7. 外国人に関する人権について

問12 あなたは、外国人の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。

(1) 就職や仕事の内容・待遇などで、国籍や民族を理由に不利な扱いを受けること

国籍や民族を理由に不利な扱いを受けることについて、「問題だと思う」が48.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(33.8%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は82.7%となっています。

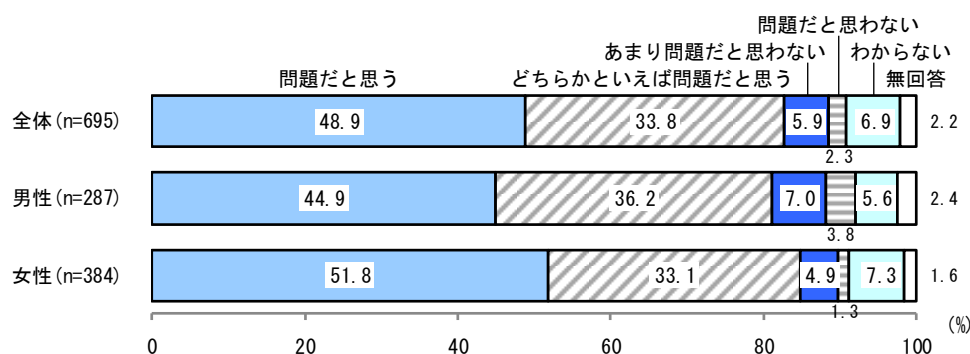
性別でみると、「問題だと思う」は男性(44.9%)より女性(51.8%)のほうが6.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、年代が下がるにつれ「問題だと思う」が増加する傾向がみられ、20～29歳では64.7%と高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(53.1%)で学習経験なし又は覚えていない(42.7%)より10.4ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(54.4%)で参加経験なし(48.2%)より6.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	48.9	33.8	5.9	2.3	6.9	2.2
年代別							
18・19歳	12	83.3	16.7	-	-	-	-
20～29歳	51	64.7	31.4	2.0	-	2.0	-
30～39歳	63	60.3	25.4	9.5	1.6	3.2	-
40～49歳	100	49.0	38.0	4.0	4.0	5.0	-
50～59歳	116	47.4	35.3	9.5	1.7	4.3	1.7
60～69歳	119	45.4	42.9	5.0	3.4	2.5	0.8
70歳以上	212	41.5	31.6	5.7	2.4	14.2	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	53.1	33.9	5.7	2.2	3.7	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	42.7	35.3	6.4	2.3	11.9	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	54.4	30.7	5.3	4.4	5.3	-
参加経験なし	560	48.2	34.8	6.1	2.0	7.3	1.6

(2) 外国人を労働者として雇用しているにもかかわらず、健康保険に加入させない事業者があること

外国人労働者を健康保険に加入させない事業者があることについて、「問題だと思う」が64.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(24.0%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は88.0%となっています。

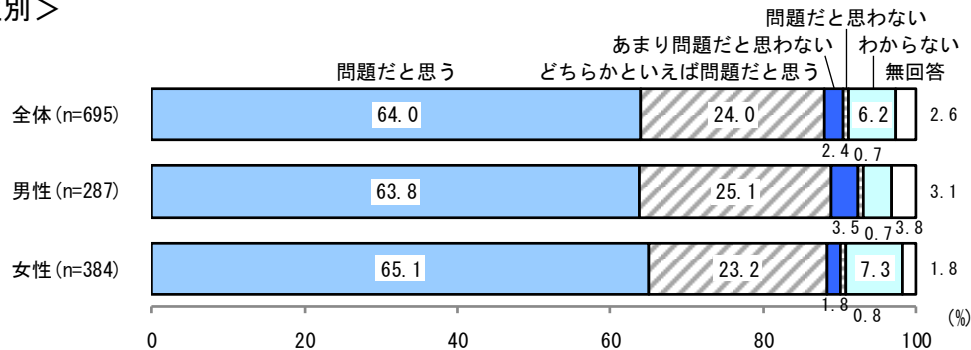
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」は20～29歳(82.4%)で高くなっており、「どちらかといえば問題だと思う」(17.6%)を合わせた『問題だと思う』は100.0%となっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(67.2%)で学習経験なし又は覚えていない(61.5%)より5.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(72.8%)で参加経験なし(62.9%)より9.9ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	64.0	24.0	2.4	0.7	6.2	2.6
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	82.4	17.6	-	-	-	-
30～39歳	63	65.1	20.6	9.5	1.6	3.2	-
40～49歳	100	66.0	25.0	1.0	3.0	5.0	-
50～59歳	116	64.7	27.6	2.6	-	3.4	1.7
60～69歳	119	62.2	28.6	2.5	0.8	5.0	0.8
70歳以上	212	57.1	24.1	1.9	-	11.3	5.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	67.2	24.0	2.6	0.9	4.0	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	61.5	24.3	1.8	-	10.1	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	72.8	22.8	-	0.9	3.5	-
参加経験なし	560	62.9	24.6	2.9	0.7	6.8	2.1

(3) 選挙権がなく、政治に意見が十分に反映されないこと

選挙権がなく、政治に意見が十分に反映されないことについて、「どちらかといえば問題だと思う」が31.1%と最も高く、次いで「問題だと思う」(24.2%)、「あまり問題だと思わない」(21.4%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は55.3%となっています。

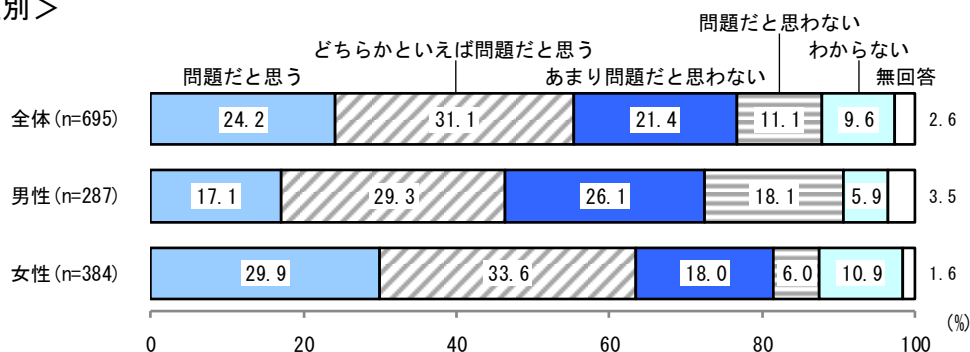
性別でみると、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は女性(24.0%)より男性(44.2%)のほうが20.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、「問題だと思う」は15.6%と低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(29.3%)で学習経験なし又は覚えていない(15.6%)より13.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(30.7%)で参加経験なし(22.9%)より7.8ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	問題だと思わず どちらかといえば 問題だと思う	あまり問題だ と思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	24.2	31.1	21.4	11.1	9.6	2.6
年代別							
18・19歳	12	66.7	8.3	-	16.7	8.3	-
20～29歳	51	31.4	35.3	17.6	9.8	5.9	-
30～39歳	63	30.2	34.9	22.2	12.7	-	-
40～49歳	100	31.0	29.0	20.0	13.0	7.0	-
50～59歳	116	30.2	33.6	19.0	11.2	4.3	1.7
60～69歳	119	17.6	32.8	27.7	13.4	7.6	0.8
70歳以上	212	15.6	30.7	21.7	9.4	17.0	5.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	29.3	30.6	21.6	11.0	6.2	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	15.6	34.4	21.6	11.0	15.1	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	30.7	35.1	17.5	10.5	6.1	-
参加経験なし	560	22.9	31.1	22.5	11.3	10.4	2.0

(4) 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいること

外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいることについて、「どちらかといえば問題だと思う」が40.0%と最も高く、次いで「問題だと思う」(37.1%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は77.1%となっています。

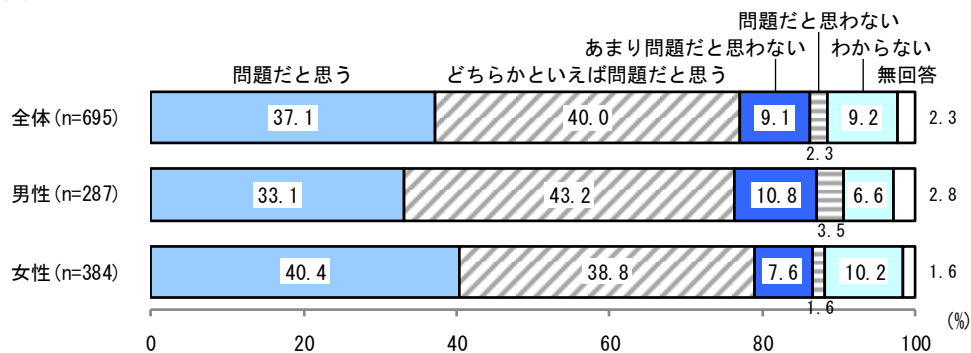
性別でみると、「問題だと思う」は男性(33.1%)より女性(40.4%)のほうが7.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は20~29歳(54.9%)で高くなっています。また、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は30~39歳(20.7%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(40.3%)で学習経験なし又は覚えていない(32.6%)より7.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(43.9%)で参加経験なし(35.9%)より8.0ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	問題だと思わない	あまり問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	37.1	40.0	9.1	2.3	9.2	2.3
年代別							
18・19歳	12	75.0	25.0	-	-	-	-
20~29歳	51	54.9	33.3	7.8	2.0	2.0	-
30~39歳	63	44.4	33.3	17.5	3.2	1.6	-
40~49歳	100	38.0	39.0	11.0	5.0	7.0	-
50~59歳	116	35.3	46.6	6.9	-	9.5	1.7
60~69歳	119	31.1	48.7	10.1	2.5	6.7	0.8
70歳以上	212	32.5	37.7	7.1	2.4	15.1	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	40.3	40.5	9.3	2.0	6.6	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	32.6	41.3	8.7	2.8	13.3	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	43.9	35.1	11.4	2.6	7.0	-
参加経験なし	560	35.9	41.6	8.6	2.3	9.8	1.8

(5) 働いている外国人に、日本名（通称名）の使用を求めること

働いている外国人に、日本名の使用を求めることについて、「問題だと思う」が50.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(25.3%)、「あまり問題だと思わない」(10.2%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は76.1%となっています。

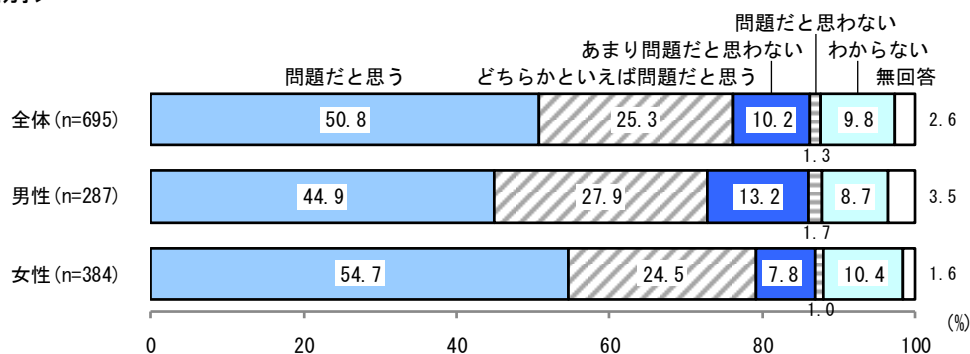
性別でみると、「問題だと思う」は男性（44.9%）より女性（54.7%）のほうが9.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、「問題だと思う」は37.7%と低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり（57.7%）で学習経験なし又は覚えていない（39.4%）より18.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり（57.9%）で参加経験なし（50.2%）より7.7ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	50.8	25.3	10.2	1.3	9.8	2.6
年代別							
18・19歳	12	75.0	8.3	16.7	-	-	-
20～29歳	51	56.9	25.5	11.8	3.9	2.0	-
30～39歳	63	57.1	27.0	12.7	1.6	1.6	-
40～49歳	100	57.0	23.0	12.0	2.0	6.0	-
50～59歳	116	56.0	27.6	9.5	-	5.2	1.7
60～69歳	119	54.6	26.9	7.6	0.8	9.2	0.8
70歳以上	212	37.7	26.4	9.9	1.4	18.4	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	57.7	24.9	9.5	0.9	5.7	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	39.4	27.1	11.9	1.8	17.4	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	57.9	24.6	9.6	0.9	7.0	-
参加経験なし	560	50.2	25.7	10.4	1.4	10.4	2.0

(6) 結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること

結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けることについて、「問題だと思う」が41.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(31.4%)、「あまり問題だと思わない」(11.7%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は72.6%となっています。

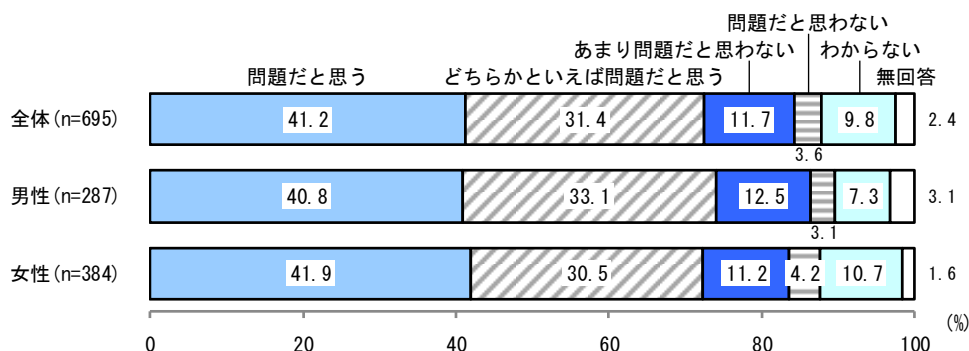
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」は20～29歳(58.8%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(45.2%)で学習経験なし又は覚えていない(33.9%)より11.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は参加経験あり(79.0%)で参加経験なし(71.8%)より7.2ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	41.2	31.4	11.7	3.6	9.8	2.4
年代別							
18・19歳	12	83.3	16.7	-	-	-	-
20～29歳	51	58.8	19.6	11.8	5.9	3.9	-
30～39歳	63	52.4	25.4	15.9	4.8	1.6	-
40～49歳	100	49.0	27.0	16.0	6.0	2.0	-
50～59歳	116	36.2	35.3	14.7	2.6	8.6	2.6
60～69歳	119	37.8	39.5	12.6	3.4	5.9	0.8
70歳以上	212	32.1	33.5	7.5	2.4	19.8	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	45.2	30.8	12.8	4.0	6.2	1.1
学習経験なし又は覚えていない	218	33.9	34.9	9.6	2.8	16.5	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	43.9	35.1	11.4	3.5	5.3	0.9
参加経験なし	560	40.5	31.3	12.0	3.8	10.7	1.8

(7) 病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと

病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なことについて、「問題だと思う」が41.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(37.7%)、「あまり問題だと思わない」(8.8%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思わない」を合わせた『問題だと思う』は79.3%となっています。

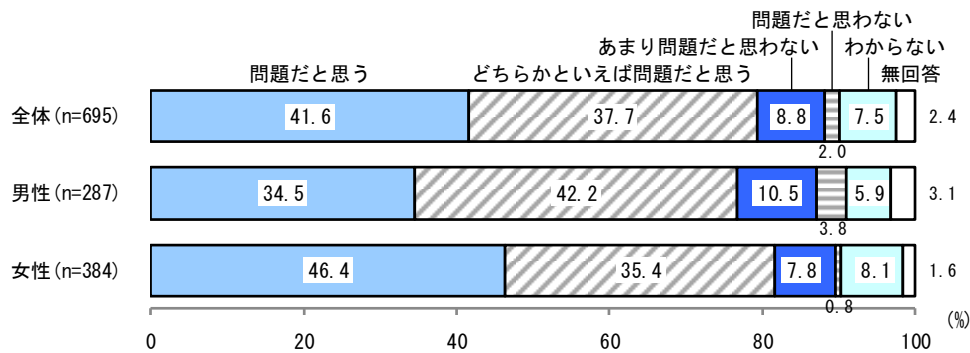
性別でみると、「問題だと思う」は男性(34.5%)より女性(46.4%)のほうが11.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、「あまり問題だと思わない」と「問題だと思わない」を合わせた『問題だと思わない』は6.1%と低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「わからない」は学習経験なし又は覚えていない(11.9%)で学習経験あり(4.4%)より7.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	問題だと思わない	どちらかといえば問題だと思わない	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	41.6	37.7	8.8	2.0	7.5	2.4	
年代別								
18・19歳	12	75.0	16.7	8.3	-	-	-	
20～29歳	51	52.9	33.3	9.8	2.0	2.0	-	
30～39歳	63	46.0	34.9	14.3	3.2	1.6	-	
40～49歳	100	47.0	40.0	9.0	3.0	1.0	-	
50～59歳	116	38.8	37.9	15.5	0.9	5.2	1.7	
60～69歳	119	37.0	45.4	7.6	3.4	5.9	0.8	
70歳以上	212	35.8	36.8	4.7	1.4	15.6	5.7	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	44.1	37.2	10.8	2.2	4.4	1.3	
学習経験なし又は覚えていない	218	39.4	39.9	5.5	1.4	11.9	1.8	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	42.1	39.5	9.6	2.6	6.1	-	
参加経験なし	560	41.6	37.7	8.9	2.0	7.9	2.0	

(8) 特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）があること

特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動があることについて、「問題だと思う」が54.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(26.3%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は81.1%となっています。

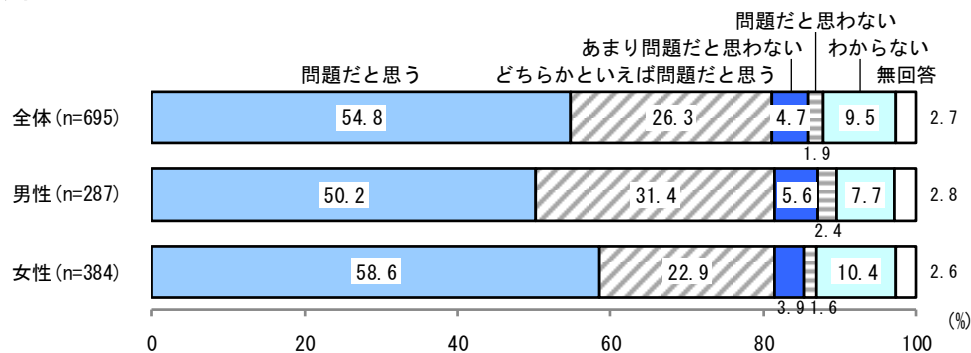
性別でみると、「どちらかといえば問題だと思う」は女性(22.9%)より男性(31.4%)のほうが8.5ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は20～29歳(74.5%)で高くなっており、「どちらかといえば問題だと思う」(15.7%)を合わせた『問題だと思う』は9割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(58.8%)で学習経験なし又は覚えていない(49.5%)より9.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は参加経験あり(86.8%)で参加経験なし(80.8%)より6.0ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	54.8	26.3	4.7	1.9	9.5	2.7
年代別							
18・19歳	12	83.3	8.3	-	-	8.3	-
20～29歳	51	74.5	15.7	9.8	-	-	-
30～39歳	63	54.0	34.9	7.9	1.6	1.6	-
40～49歳	100	59.0	23.0	6.0	4.0	7.0	1.0
50～59歳	116	51.7	31.0	4.3	2.6	8.6	1.7
60～69歳	119	48.7	34.5	4.2	2.5	8.4	1.7
70歳以上	212	50.9	23.1	2.8	0.9	16.0	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	58.8	26.2	5.1	2.2	6.4	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	49.5	28.4	4.6	0.9	14.2	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	59.6	27.2	3.5	1.8	6.1	1.8
参加経験なし	560	54.5	26.3	5.2	2.0	10.4	1.8

そのほか、あなたが外国人の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、52件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・在日外国人というだけでいじめをうけたり、悪評をながす人がいること。上記の通り在日外国人には選挙権がなく政治に意見が十分に反映されないこと。(18・19歳男性)
- ・外国人が日本で仕事する際の制限を緩和してほしいです。私の会社には外国人の労働者が在籍していますが、コロナによる社会出向の際に、就労制限が理由で他社へ応援に出ることができず、作業の少ない本社で雑用ばかりしていました。能力がある者であるだけに、歯がゆい思いでした。(30～39歳男性)
- ・働いてもらっているではなく、働かせてやっていると思っている人が多いと思う。(30～39歳女性)
- ・現代で外国人に質問のようなことがおきているように思えない。質問の内容古すぎる。あったら問題のある内容ばかりだけど、(5)は特にそんなことあるのかと思ってしまう。(40～49歳女性)
- ・グローバル化になっている今の世の中、外国から働きにきて日本の役に立っている人々を守ることは大切。(50～59歳女性)
- ・日本人もアジア人という理由で諸外国で差別を受けることもある。外国でそのような扱いをされたらとても嫌な思いをする。同じことをしたらダメ。とくに今後、少子化で外国の方を頼る時代になっていく、日本にもっと外国の方に来てもらえるようにするべきだ。(50～59歳女性)
- ・インバウンドの方々や、移民問題など、国籍・人種の違いで差別することのない共生社会の実現が、大切と思う。(60～69歳男性)
- ・一概には言えませんが、外国に来てたいへんだと思う。そのお手伝いができる場所があったらいいと思う。外国人だからじゃなく、人としての見方ができたらいいと思う。(60～69歳女性)
- ・外国人の人権も大切だと思うが、まずは日本人を優先してほしい。(60～69歳女性)
- ・日本は働き手がこれからもっと少なくなるというのに、外国からの就職をもっとかんわして色々な面を前むきに考えてスピーディに。(70歳以上女性)
- ・ひと口に外国人といっても、親の代から数十年も居住している人と、ほんの数年しか滞在しない人とは 人権問題といっても千差万別であるので、非常に難しい問題である。(70歳以上男性)

8. インターネットによる人権侵害について

問13 あなたは、インターネットによる次の人権問題についてどう思われますか。

(1) 誹謗中傷がたちまちのうちに拡散してしまうこと

誹謗中傷がたちまちのうちに拡散してしまうことについて、「問題だと思う」が80.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(11.9%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は92.3%となっています。

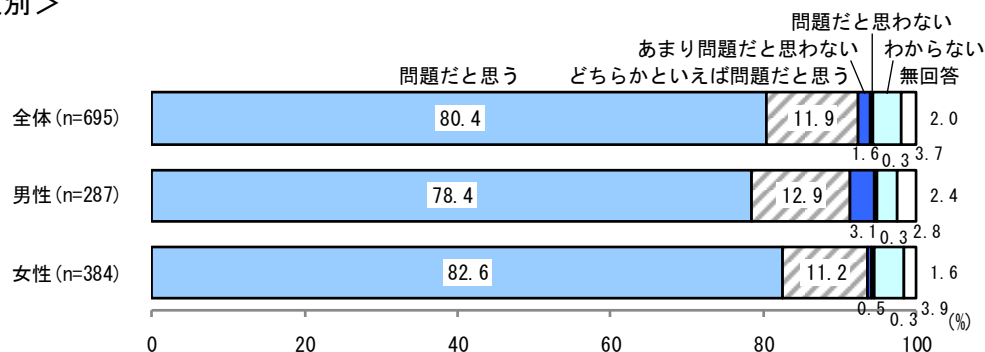
性別で大きな差はみられません。

年代別で見ると、70歳以上では「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、「問題だと思う」は73.6%と低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で見ると、「問題だと思う」は学習経験あり(84.1%)で学習経験なし又は覚えていない(76.1%)より8.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	80.4	11.9	1.6	0.3	3.7	2.0
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	82.4	15.7	-	-	-	-
30～39歳	63	82.5	11.1	6.3	-	-	-
40～49歳	100	87.0	8.0	3.0	-	-	-
50～59歳	116	81.9	15.5	0.9	-	-	1.7
60～69歳	119	83.2	13.4	1.7	-	-	1.7
70歳以上	212	73.6	10.8	0.5	-	10.8	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	84.1	11.9	1.5	0.2	1.3	0.9
学習経験なし又は覚えていない	218	76.1	12.8	1.4	0.5	6.9	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	85.1	9.6	1.8	-	2.6	0.9
参加経験なし	560	80.2	12.9	1.4	0.4	3.9	1.3

(2) フェイクニュース（真実ではない情報）や誤った情報が拡散されること

フェイクニュースや誤った情報が拡散されることについて、「問題だと思う」が80.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」（11.8%）となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は92.2%となっています。

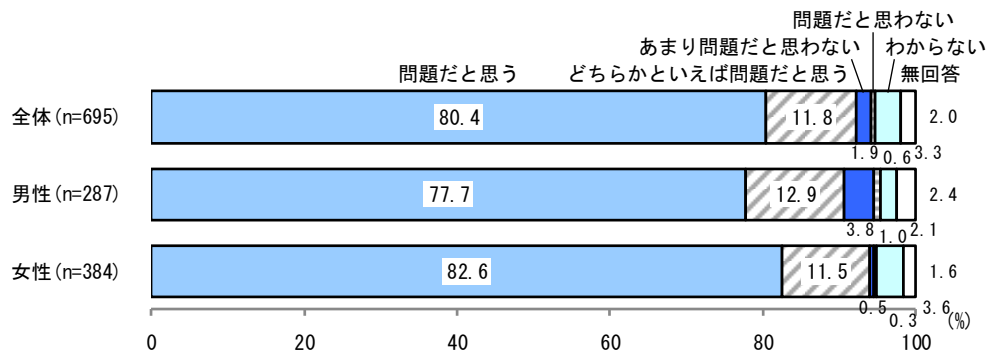
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、70歳以上では「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、「問題だと思う」は73.1%と低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり（83.9%）で学習経験なし又は覚えていない（77.1%）より6.8ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	80.4	11.8	1.9	0.6	3.3	2.0
年代別							
18・19歳	12	83.3	16.7	-	-	-	-
20～29歳	51	86.3	9.8	3.9	-	-	-
30～39歳	63	81.0	14.3	4.8	-	-	-
40～49歳	100	88.0	8.0	2.0	2.0	-	-
50～59歳	116	80.2	14.7	2.6	-	0.9	1.7
60～69歳	119	84.9	10.9	0.8	1.7	-	1.7
70歳以上	212	73.1	12.3	0.9	-	9.4	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	83.9	10.6	2.6	0.9	1.3	0.7
学習経験なし又は覚えていない	218	77.1	14.2	0.5	-	6.0	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	80.7	14.9	0.9	0.9	2.6	-
参加経験なし	560	81.3	11.3	2.1	0.5	3.4	1.4

(3) 有害な書き込みによる被害を訴えても、書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要すること

有害な書き込みによる被害を訴えても、書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要することについて、「問題だと思う」が76.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(13.8%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は90.2%となっています。

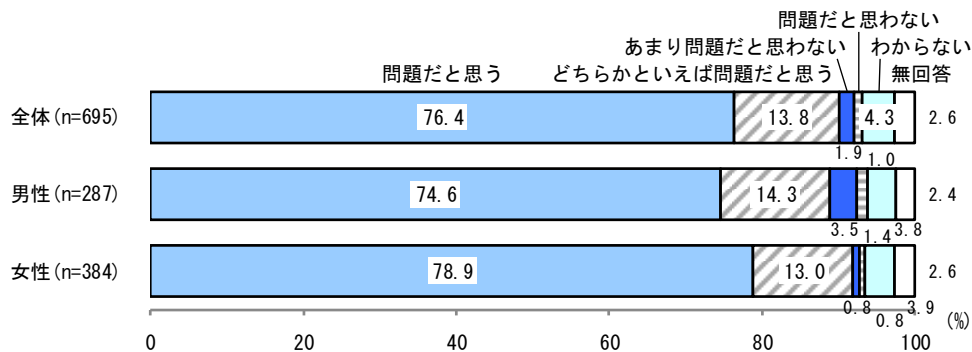
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は70歳未満で9割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(80.4%)で学習経験なし又は覚えていない(71.6%)より8.8ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	76.4	13.8	1.9	1.0	4.3	2.6
年代別							
18・19歳	12	66.7	16.7	8.3	8.3	-	-
20～29歳	51	78.4	15.7	-	2.0	3.9	-
30～39歳	63	79.4	17.5	3.2	-	-	-
40～49歳	100	83.0	11.0	3.0	3.0	-	-
50～59歳	116	81.0	12.9	2.6	-	1.7	1.7
60～69歳	119	84.9	11.8	1.7	-	-	1.7
70歳以上	212	65.6	15.1	0.9	0.9	11.3	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	80.4	13.4	1.8	1.1	2.0	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	71.6	15.1	1.8	0.9	7.8	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	75.4	16.7	3.5	-	3.5	0.9
参加経験なし	560	77.3	13.8	1.4	1.1	4.5	2.0

(4) 子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していること

子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していることについて、「問題だと思う」が82.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(10.8%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は93.0%となっています。

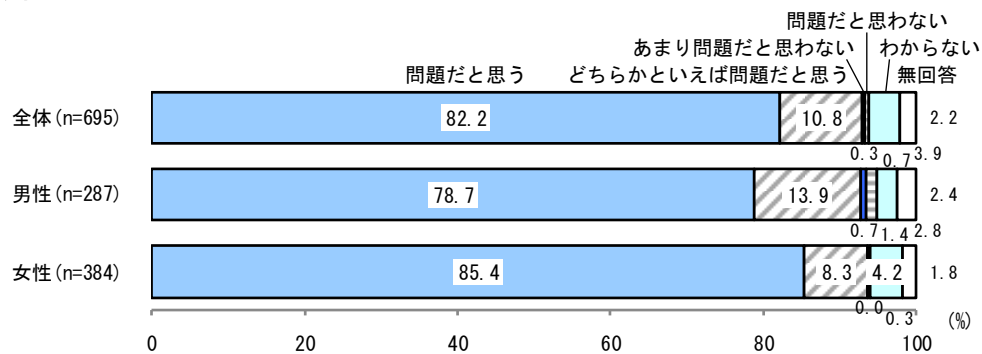
性別でみると、「問題だと思う」は男性(78.7%)より女性(85.4%)のほうが6.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、「問題だと思う」は69.8%と低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(87.2%)で学習経験なし又は覚えていない(75.7%)より11.5ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	82.2	10.8	0.3	0.7	2.2
年代別						
18・19歳	12	100.0	-	-	-	-
20～29歳	51	90.2	7.8	-	-	2.0
30～39歳	63	85.7	12.7	-	1.6	-
40～49歳	100	91.0	8.0	1.0	-	-
50～59歳	116	86.2	10.3	-	1.7	1.7
60～69歳	119	86.6	10.9	0.8	-	1.7
70歳以上	212	69.8	13.2	-	0.9	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別						
学習経験あり	454	87.2	9.7	0.2	0.7	0.9
学習経験なし又は覚えていない	218	75.7	12.8	0.5	0.9	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別						
参加経験あり	114	84.2	12.3	-	0.9	2.6
参加経験なし	560	82.5	10.7	0.4	0.7	1.6

(5) 誹謗中傷されている人の気持ちを考えず、書き込みをリツイートしさらに広めること

誹謗中傷されている人の気持ちを考えず、書き込みをリツイートしさらに広めることについて、「問題だと思う」が81.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(10.4%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は92.1%となっています。

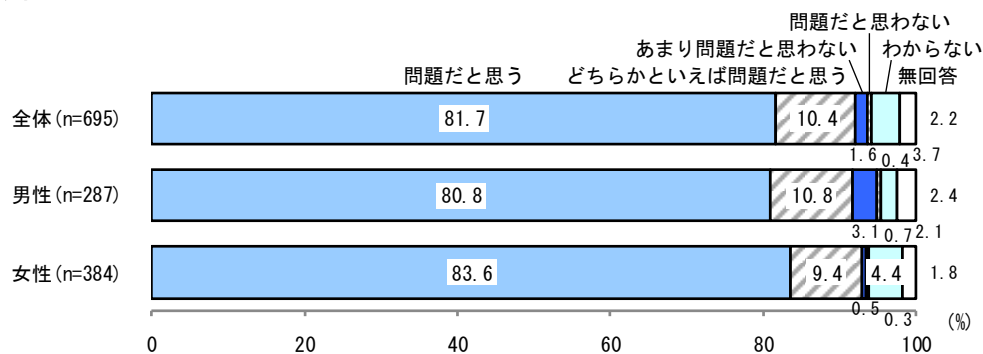
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は70歳以上(84.0%)で他の年代に比べて10ポイント以上低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は学習経験あり(95.2%)で学習経験なし又は覚えていない(89.5%)より5.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	81.7	10.4	1.6	0.4	3.7	2.2
年代別							
18・19歳	12	100.0	-	-	-	-	-
20～29歳	51	84.3	11.8	2.0	-	2.0	-
30～39歳	63	81.0	15.9	1.6	1.6	-	-
40～49歳	100	89.0	7.0	3.0	1.0	-	-
50～59歳	116	82.8	13.8	1.7	-	-	1.7
60～69歳	119	85.7	9.2	2.5	-	0.8	1.7
70歳以上	212	75.5	8.5	0.5	0.5	10.4	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	84.6	10.6	2.4	0.2	1.3	0.9
学習経験なし又は覚えていない	218	79.4	10.1	-	0.9	7.3	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	82.5	13.2	1.8	-	2.6	-
参加経験なし	560	82.3	10.0	1.6	0.5	3.9	1.6

(6) 事件報道を受け、被害者や加害者の個人情報ネットに掲載されること

事件報道を受け、被害者や加害者の個人情報ネットに掲載されることについて、「問題だと思う」が77.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(13.5%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は90.8%となっています。

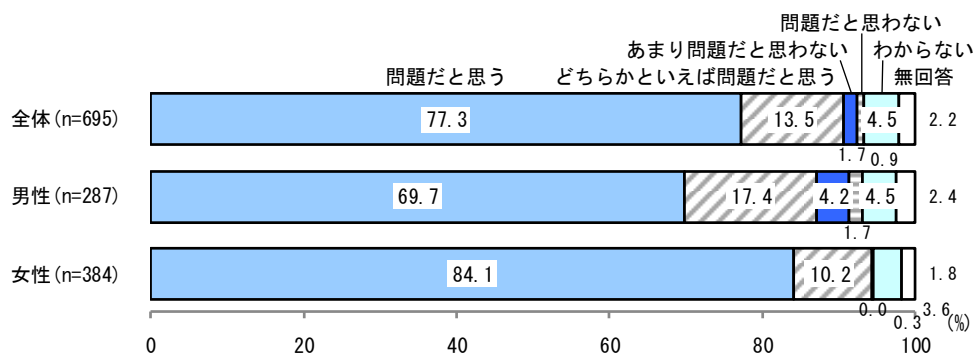
性別でみると、「問題だと思う」は男性(69.7%)より女性(84.1%)のほうが14.4ポイント高くなっています。

年代別でみると、年代が下がるにつれ「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は増加する傾向がみられ、20~29歳では96.1%と高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(81.7%)で学習経験なし又は覚えていない(72.0%)より9.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	77.3	13.5	1.7	0.9	4.5	2.2
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20~29歳	51	86.3	9.8	-	-	3.9	-
30~39歳	63	82.5	12.7	1.6	1.6	1.6	-
40~49歳	100	84.0	10.0	3.0	2.0	1.0	-
50~59歳	116	79.3	13.8	1.7	0.9	2.6	1.7
60~69歳	119	79.8	10.9	5.0	-	2.5	1.7
70歳以上	212	67.0	17.9	-	0.9	9.4	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	81.7	11.9	2.0	0.7	2.9	0.9
学習経験なし又は覚えていない	218	72.0	17.0	0.9	1.4	6.4	2.3
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	78.9	15.8	1.8	-	3.5	-
参加経験なし	560	77.7	13.4	1.6	1.1	4.6	1.6

(7) 問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること

問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかることについて、「問題だと思う」が76.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(12.8%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は89.6%となっています。

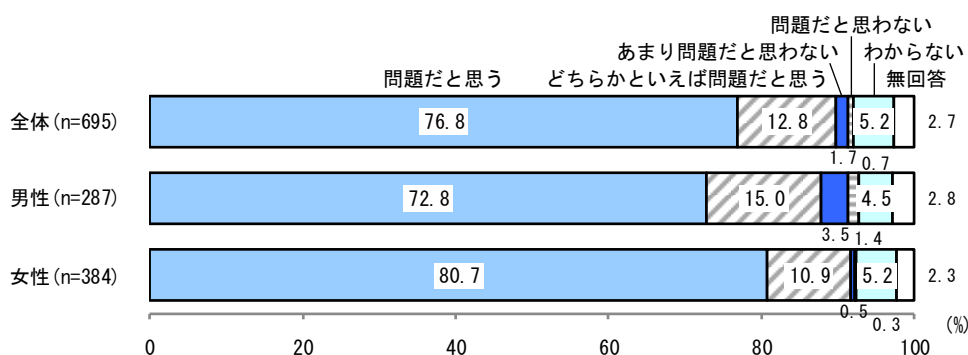
性別でみると、「問題だと思う」は男性(72.8%)より女性(80.7%)のほうが7.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は40～49歳(86.0%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(82.2%)で学習経験なし又は覚えていない(70.2%)より12.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	76.8	12.8	1.7	0.7	5.2	2.7
年代別							
18・19歳	12	75.0	8.3	8.3	8.3	-	-
20～29歳	51	78.4	15.7	-	2.0	3.9	-
30～39歳	63	82.5	14.3	-	1.6	1.6	-
40～49歳	100	86.0	8.0	4.0	1.0	1.0	-
50～59歳	116	81.0	10.3	1.7	-	4.3	2.6
60～69歳	119	81.5	13.4	2.5	-	0.8	1.7
70歳以上	212	65.6	15.6	0.9	0.5	11.3	6.1
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	82.2	11.2	1.8	0.7	2.9	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	70.2	15.6	1.8	0.9	8.7	2.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	75.4	17.5	0.9	-	4.4	1.8
参加経験なし	560	78.2	11.8	2.0	0.9	5.4	1.8

そのほか、あなたがインターネットで人権を脅かされることについて問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、56件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・匿名であることによって誹謗中傷に対しての責任感がうすれてしまっているということ。(18・19歳男性)
- ・モザイク処理されず、知らない内にSNS上に写真をアップロードされること。(20～29歳)
- ・自分の意見が正解だと思っている人が多く。顔も出せないのに、意見を言うのは、ちがうと思う。人をきずつける言葉をかきこめることがおかしい。大人もモラルの問題(30～39歳女性)
- ・人々がスマホ等で、多数の情報にふれる機会が増えた反面、情報に対する「考え方」や「使い方」を教える機会が少ないことが問題だと考えます。『スマホに使われてしまっている人』が多すぎます。当事者意識が低い方々が多い。子どもへの教育もそうですが、見本となる大人への教育も必要と思います。(30～39歳男性)
- ・ネットリテラシーやネットモラルなど今後の世界に必要な知識は、学校教育の段階から、危機感をもっと取り組まなければならない。(30～39歳男性)
- ・そもそもインターネットに関するリテラシーが低い利用者が多い。最近では義務教育で学習機会を設けてくれているようだが、一定年齢以上はその機会の無いままである。そのような機会を積極的に用意し参加を促し、リテラシー向上をサポートすることで一部解消、解決する面もあると思う。(40～49歳女性)
- ・インターネットはひどすぎる。わからない所で知らない人や関係ない人が書き込み見た人は信じてしまう。けど解決方法はない。ムリだけど個人が特定できて罰せられるようになってほしい(40～49歳女性)
- ・組織が意図して、(工作)拡散するパターンが多いように思います。それによって、個人の発言の自由が奪われていくのが問題だと思います。(40～49歳男性)
- ・言葉の暴力は心を破壊する。上手につきあっていける人としてのマナー道徳が大切。(50～59歳女性)
- ・事件などがあると、加害者、被害者のどちらの情報もすぐに広がり、被害者なのに、もっとつらい思いをする事。加害者はよいが何もしらなかった家族が自殺など追いこまれる事が問題だと思う。(50～59歳女性)
- ・一度拡散されるとデジタルタトゥーとなって消えなくなってしまう。(50～59歳男性)
- ・ネットは便利だが、人権侵害行為にならないよう、人を誹謗・中傷したり、個人情報侵害するようなことのないよう、教育の場において、しっかり子どもたちに教えることが重要と思う。(60～69歳男性)
- ・子供のインターネットの利用の制限が必要だと思う。(60～69歳女性)
- ・インターネットで誹謗中傷した者への刑罰があまりにも軽過ぎる。(70歳以上男性)

9. 性的マイノリティ（性的指向の異なる人や性別違和など）の人権について

問14 あなたは、性的マイノリティに関する次の人権問題についてどう思われますか。

(1) 性的指向が異なることを理由に、就職活動や職場において不利な扱いを受けること

性的指向が異なることを理由に、就職活動や職場において不利な扱いを受けることについて、「問題だと思う」が54.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(29.9%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は84.3%となっています。

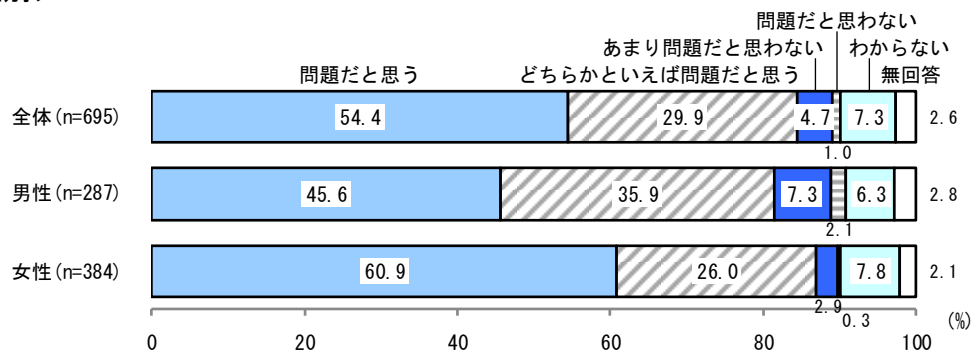
性別でみると、「問題だと思う」は男性(45.6%)より女性(60.9%)のほうが15.3ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の20～29歳(79.3%)、40～49歳(77.2%)で7割を超えて高くなっています。一方で、男性の60～69歳で「あまり問題だと思わない」(13.2%)と「問題だと思わない」(3.8%)を合わせた『問題だと思わない』(17.0%)が1割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(61.9%)で学習経験なし又は覚えていない(42.7%)より19.2ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は参加経験あり(90.4%)で参加経験なし(83.9%)より6.5ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

		調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体		695	54.4	29.9	4.7	1.0	7.3	2.6
性年代別								
男性	18・19歳	8	87.5	12.5	-	-	-	-
	20～29歳	21	66.7	28.6	4.8	-	-	-
	30～39歳	22	63.6	27.3	9.1	-	-	-
	40～49歳	41	58.5	26.8	4.9	4.9	-	4.9
	50～59歳	42	42.9	42.9	7.1	-	7.1	-
	60～69歳	53	34.0	41.5	13.2	3.8	5.7	1.9
	70歳以上	99	36.4	39.4	6.1	2.0	12.1	4.0
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-	-
	20～29歳	29	79.3	20.7	-	-	-	-
	30～39歳	41	68.3	22.0	4.9	-	2.4	2.4
	40～49歳	57	77.2	17.5	1.8	1.8	1.8	-
	50～59歳	73	67.1	27.4	1.4	-	2.7	1.4
	60～69歳	66	54.5	37.9	3.0	-	3.0	1.5
	70歳以上	109	44.0	26.6	4.6	-	20.2	4.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
	学習経験あり	454	61.9	26.7	4.6	1.1	3.7	2.0
	学習経験なし又は覚えていない	218	42.7	37.6	5.5	0.9	12.4	0.9
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
	参加経験あり	114	54.4	36.0	3.5	1.8	1.8	2.6
	参加経験なし	560	55.0	28.9	5.2	0.9	8.4	1.6

(2) 職場や学校などでいやがらせやいじめを受けること

職場や学校などでいやがらせやいじめを受けることについて、「問題だと思う」が70.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(20.0%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は90.5%となっています。

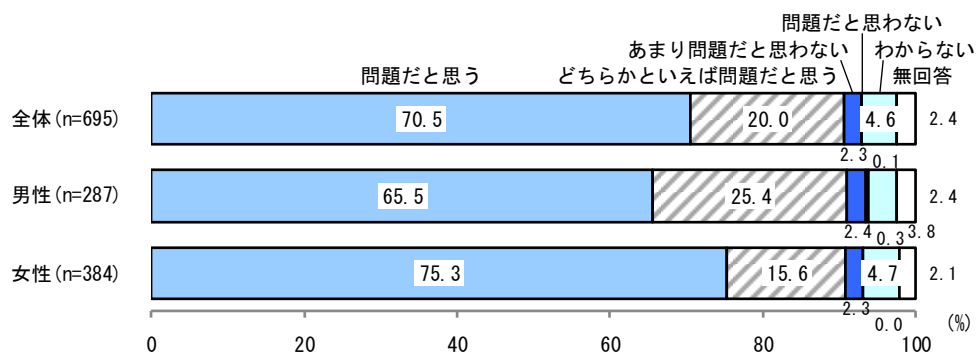
性別でみると、「問題だと思う」は男性(65.5%)より女性(75.3%)のほうが9.8ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の20~29歳(93.1%)、40~49歳(89.5%)で9割程度を占めて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(74.2%)で学習経験なし又は覚えていない(65.6%)より8.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(76.3%)で参加経験なし(69.6%)より6.7ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	70.5	20.0	2.3	0.1	4.6	2.4
性年代別							
男性	18・19歳	8	87.5	12.5	-	-	-
	20~29歳	21	85.7	14.3	-	-	-
	30~39歳	22	68.2	27.3	4.5	-	-
	40~49歳	41	82.9	12.2	2.4	-	2.4
	50~59歳	42	61.9	33.3	2.4	-	2.4
	60~69歳	53	58.5	28.3	7.5	-	3.8
	70歳以上	99	56.6	29.3	-	1.0	8.1
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	93.1	6.9	-	-	-
	30~39歳	41	75.6	19.5	2.4	-	2.4
	40~49歳	57	89.5	5.3	5.3	-	-
	50~59歳	73	80.8	15.1	2.7	-	1.4
	60~69歳	66	69.7	25.8	1.5	-	1.5
	70歳以上	109	62.4	17.4	1.8	-	13.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	74.2	19.6	2.9	-	1.5	1.8
学習経験なし又は覚えていない	218	65.6	22.5	1.4	0.5	9.2	0.9
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	76.3	18.4	-	0.9	1.8	2.6
参加経験なし	560	69.6	20.9	2.9	-	5.2	1.4

(3) じろじろ見られたり、避けられたりすること

じろじろ見られたり、避けられたりすることについて、「問題だと思う」が52.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(30.9%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は83.7%となっています。

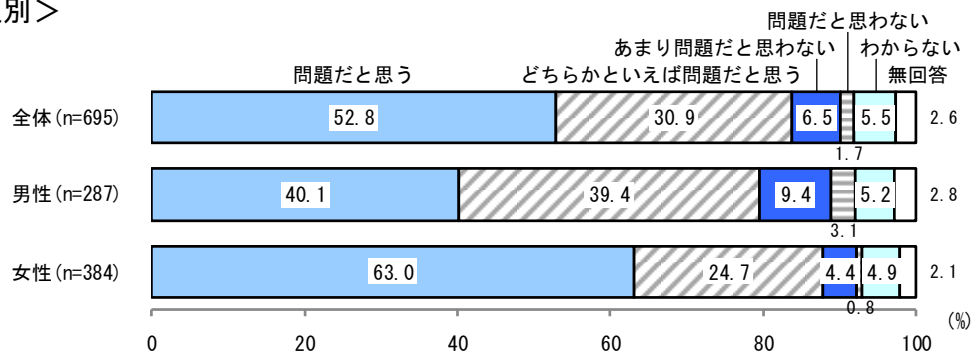
性別でみると、「問題だと思う」は男性(40.1%)より女性(63.0%)のほうが22.9ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は男性の40~49歳(90.2%)、女性の20~29歳(93.1%)、30~39歳(92.7%)、50~59歳(94.5%)、60~69歳(90.9%)で9割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(57.9%)で学習経験なし又は覚えていない(44.5%)より13.4ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(57.9%)で参加経験なし(52.1%)より5.8ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

		調査数	問題だと思 う	ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		695	52.8	30.9	6.5	1.7	5.5	2.6
性年代別								
男性	18・19歳	8	75.0	25.0	-	-	-	-
	20~29歳	21	66.7	19.0	4.8	4.8	4.8	-
	30~39歳	22	40.9	31.8	13.6	9.1	4.5	-
	40~49歳	41	58.5	31.7	7.3	-	-	2.4
	50~59歳	42	38.1	38.1	16.7	2.4	4.8	-
	60~69歳	53	34.0	43.4	11.3	3.8	5.7	1.9
	70歳以上	99	28.3	48.5	7.1	3.0	8.1	5.1
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-	-
	20~29歳	29	72.4	20.7	3.4	3.4	-	-
	30~39歳	41	63.4	29.3	4.9	-	-	2.4
	40~49歳	57	66.7	22.8	8.8	-	1.8	-
	50~59歳	73	74.0	20.5	4.1	-	-	1.4
	60~69歳	66	63.6	27.3	1.5	3.0	3.0	1.5
	70歳以上	109	49.5	28.4	4.6	-	12.8	4.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり		454	57.9	28.9	6.8	1.5	3.1	1.8
学習経験なし又は覚えていない		218	44.5	37.6	6.0	2.3	8.3	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり		114	57.9	29.8	1.8	2.6	5.3	2.6
参加経験なし		560	52.1	31.8	7.5	1.6	5.4	1.6

(4) 同性カップルが賃貸住宅などに入居することを拒否されること

同性カップルが賃貸住宅などに入居することを拒否されることについて、「問題だと思ふ」が54.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思ふ」(27.3%)となっており、両者を合わせた『問題だと思ふ』は81.8%となっています。

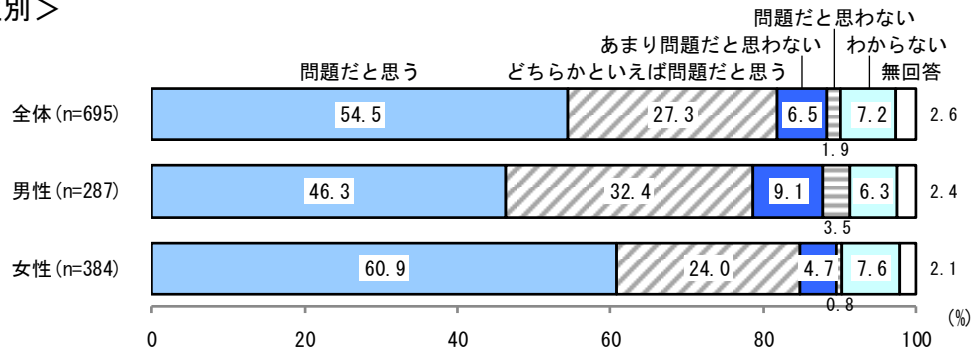
性別でみると、「問題だと思ふ」は男性(46.3%)より女性(60.9%)のほうが14.6ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思ふ」は女性の20～29歳(82.8%)で8割を超えて高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思ふ」は学習経験あり(61.2%)で学習経験なし又は覚えていない(43.6%)より17.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思ふ」と「どちらかといえば問題だと思ふ」を合わせた『問題だと思ふ』は参加経験あり(87.7%)で参加経験なし(81.4%)より6.3ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思ふ	どちらかといえば問題だと思ふ	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	54.5	27.3	6.5	1.9	7.2	2.6
性年代別							
男性	18・19歳	8	87.5	-	-	12.5	-
	20～29歳	21	71.4	19.0	4.8	4.8	-
	30～39歳	22	68.2	22.7	4.5	4.5	-
	40～49歳	41	68.3	19.5	4.9	4.9	2.4
	50～59歳	42	42.9	31.0	19.0	-	7.1
	60～69歳	53	30.2	41.5	15.1	1.9	9.4
	70歳以上	99	34.3	40.4	6.1	6.1	8.1
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20～29歳	29	82.8	17.2	-	-	-
	30～39歳	41	70.7	24.4	2.4	-	2.4
	40～49歳	57	75.4	14.0	7.0	-	3.5
	50～59歳	73	68.5	21.9	5.5	-	2.7
	60～69歳	66	57.6	30.3	4.5	1.5	4.5
	70歳以上	109	40.4	29.4	5.5	1.8	18.3
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	61.2	25.1	6.8	1.1	4.0	1.8
学習経験なし又は覚えていない	218	43.6	33.5	6.4	3.7	11.5	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	58.8	28.9	1.8	2.6	5.3	2.6
参加経験なし	560	53.9	27.5	7.7	1.8	7.5	1.6

(5) 性的マイノリティについて相談する場所が十分でないこと

性的マイノリティについて相談する場所が十分でないことについて、「問題だと思う」が46.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(30.6%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は77.4%となっています。

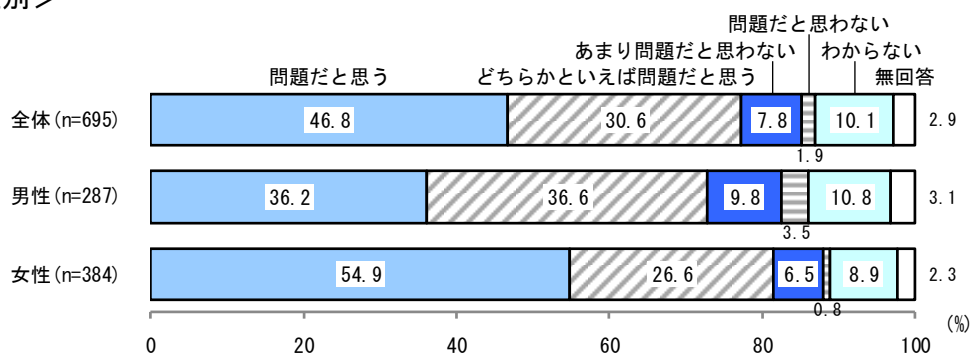
性別でみると、「問題だと思う」は男性(36.2%)より女性(54.9%)のほうが18.7ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は女性の20~29歳(69.0%)、40~49歳(68.4%)で7割近くを占めて高くなっています。また、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は女性の20~29歳(100.0%)、50~59歳(90.4%)で9割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(53.7%)で学習経験なし又は覚えていない(34.4%)より19.3ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「どちらかといえば問題だと思う」は参加経験あり(42.1%)で参加経験なし(29.1%)より13.0ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	46.8	30.6	7.8	1.9	10.1	2.9
性年代別							
男性	18・19歳	8	87.5	-	-	-	12.5
	20~29歳	21	42.9	33.3	19.0	-	4.8
	30~39歳	22	50.0	31.8	13.6	4.5	-
	40~49歳	41	46.3	36.6	7.3	4.9	2.4
	50~59歳	42	38.1	31.0	9.5	4.8	14.3
	60~69歳	53	30.2	39.6	11.3	3.8	13.2
	70歳以上	99	26.3	41.4	8.1	3.0	15.2
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	69.0	31.0	-	-	-
	30~39歳	41	51.2	31.7	12.2	-	2.4
	40~49歳	57	68.4	21.1	8.8	-	1.8
	50~59歳	73	61.6	28.8	4.1	1.4	2.7
	60~69歳	66	59.1	25.8	4.5	1.5	7.6
	70歳以上	109	36.7	26.6	8.3	0.9	22.0
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	53.7	29.1	7.5	1.8	6.2	1.8
学習経験なし又は覚えていない	218	34.4	36.2	9.2	2.3	16.1	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	43.0	42.1	4.4	0.9	7.0	2.6
参加経験なし	560	47.5	29.1	8.8	2.1	10.7	1.8

(6) 本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められること
(アウトティング)

本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められることについて、「問題だと思う」が69.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(17.4%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は86.5%となっています。

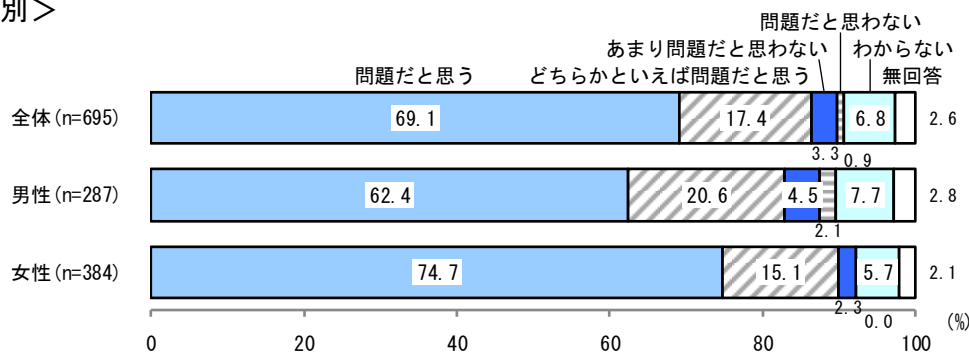
性別でみると、「問題だと思う」は男性(62.4%)より女性(74.7%)のほうが12.3ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」は男性の20~29歳(85.7%)、女性の20~29歳(86.2%)、40~49歳(87.7%)、50~59歳(82.2%)で8割を超えて高くなっています。一方で、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は男性の60~69歳(79.2%)、女性の70歳以上(76.2%)で8割未満となっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(75.6%)で学習経験なし又は覚えていない(59.6%)より16.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だ と思う	どちらかとい えば問題だ と思う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	695	69.1	17.4	3.3	0.9	6.8	2.6
性年代別							
男性	18・19歳	8	87.5	-	-	12.5	-
	20~29歳	21	85.7	-	4.8	4.8	-
	30~39歳	22	59.1	22.7	18.2	-	-
	40~49歳	41	78.0	14.6	2.4	2.4	2.4
	50~59歳	42	64.3	16.7	7.1	2.4	9.5
	60~69歳	53	52.8	26.4	5.7	1.9	11.3
	70歳以上	99	53.5	27.3	1.0	2.0	10.1
女性	18・19歳	4	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	86.2	10.3	3.4	-	-
	30~39歳	41	73.2	22.0	2.4	-	2.4
	40~49歳	57	87.7	8.8	3.5	-	-
	50~59歳	73	82.2	12.3	2.7	-	1.4
	60~69歳	66	78.8	16.7	1.5	-	1.5
	70歳以上	109	56.9	19.3	1.8	-	17.4
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	75.6	14.8	3.7	0.7	3.7	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	59.6	23.9	2.8	1.4	11.0	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	72.8	16.7	3.5	0.9	3.5	2.6
参加経験なし	560	69.1	17.7	3.4	0.9	7.5	1.4

(7) パートナーがいても婚姻と同等に扱われないこと

パートナーがいても婚姻と同等に扱われないことについて、「問題だと思う」が42.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(30.4%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は72.4%となっています。

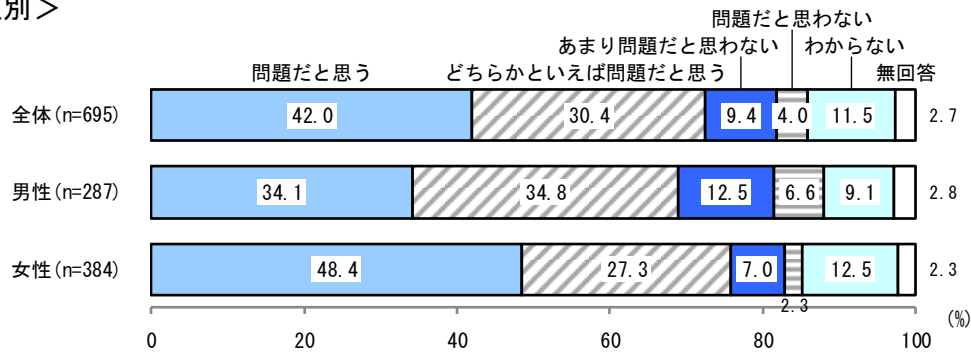
性別でみると、「問題だと思う」は男性(34.1%)より女性(48.4%)のほうが14.3ポイント高くなっています。

性年代別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は70歳未満の男性で7割、70歳未満の女性で8割を超えているものの、70歳以上では男女ともに6割程度にとどまっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(47.6%)で学習経験なし又は覚えていない(33.0%)より14.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は参加経験あり(79.0%)で参加経験なし(71.6%)より7.4ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だ と思う	ど ちら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	問 題 だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	695	42.0	30.4	9.4	4.0	11.5	2.7	
性年代別								
男性	18・19歳	8	75.0	-	12.5	-	12.5	-
	20~29歳	21	42.9	33.3	9.5	4.8	9.5	-
	30~39歳	22	50.0	27.3	13.6	4.5	4.5	-
	40~49歳	41	48.8	26.8	12.2	9.8	-	2.4
	50~59歳	42	33.3	38.1	11.9	7.1	9.5	-
	60~69歳	53	22.6	49.1	5.7	11.3	9.4	1.9
	70歳以上	99	26.3	34.3	17.2	4.0	13.1	5.1
女性	18・19歳	4	75.0	25.0	-	-	-	-
	20~29歳	29	69.0	17.2	10.3	3.4	-	-
	30~39歳	41	53.7	29.3	9.8	2.4	2.4	2.4
	40~49歳	57	63.2	21.1	10.5	-	5.3	-
	50~59歳	73	50.7	32.9	6.8	-	8.2	1.4
	60~69歳	66	50.0	30.3	4.5	7.6	6.1	1.5
	70歳以上	109	29.4	27.5	5.5	1.8	30.3	5.5
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別								
学習経験あり	454	47.6	30.8	8.6	4.6	6.6	1.8	
学習経験なし又は覚えていない	218	33.0	30.7	11.9	3.2	19.3	1.8	
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別								
参加経験あり	114	43.9	35.1	5.3	4.4	8.8	2.6	
参加経験なし	560	41.8	29.8	10.4	4.1	12.1	1.8	

そのほか、あなたが性的マイノリティの人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、36件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・同性では結婚できないこと。(20～29歳女性)
- ・性的マイノリティを他者が受け入れる。認めるなどの表現そのものが差別(上から目線)のように思う。そもそも、個人の性について、他人が口を狭む、狭んでもよいという思考が間違いのように感じる。(20～29歳)
- ・相談できる場が少ないこと、また担当者の認識不足や教育を行った方がよいと思います。実際にアウトティングに似た場面に遭遇したことがあります。担当者はよかれと思いやったのですが、当人ははずかしい思いをしたと話しており、今後相談しないと憤っていました。(30～39歳男性)
- ・個性はそんなふうされるべき(30～39歳男性)
- ・性的マイノリティと分けられている事自体不思議。自分のしたい様にしたら良いと思う。性別関係なく、人として好意を持てるのはステキ。ただ身体的な違和感ある方は気の毒だと思う。婚姻と同等に扱われる事を願います。(40～49歳女性)
- ・いろいろな価値感や感性の人がいるのはあたり前だと思う。(40～49歳男性)
- ・男は男、女は女は、もう次の世代では重しでしかない。(50～59歳女性)
- ・人類の平等と言うなら、同性カップルの婚姻は認めるべきと思う。(50～59歳女性)
- ・性の多様性について、学校でしっかり教育を行う。性的マイノリティの方々の人権が守られる社会的施策を推進すること。(60～69歳男性)
- ・性的マイノリティが本当なのかを他人が判断できない事が問題でもある。例えば外見が男性の人が心が女性であるからとして、女性トイレに入る事は本人の意志に反して周囲が拒否する事になるだろう。内心の事はどのように他人が判断して理解するか、まだまだ問題はあと思う。(60～69歳男性)
- ・なぜ差別対象になるのかがわからない、他人と違う言動をしたとしても他者に危害を加えないのであれば、個性として捉えられないのか?(60～69歳女性)
- ・年配者として全くわかりませんが、独立した1人の人間である限り個人的なことはその人本人にまかせるべきだと思います。(70歳以上女性)
- ・特に問題だと、思わずにいることは、気にならないということ。メディアが騒ぎすぎ。しかし、女性トイレやお風呂で、女性が、肩身が狭い思いをするのは、良くないと思います。(70歳以上女性)
- ・性的な問題については、男と女とでは、多少のちがいはあと思う。(70歳以上男性)

10. 同和問題について

問15 あなたは、同和問題に関する次の差別や人権問題についてどう思われますか。

(1) 就職において不利な扱いを受けること

就職において不利な扱いを受けることについて、「問題だと思う」が65.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(22.6%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は88.4%となっています。

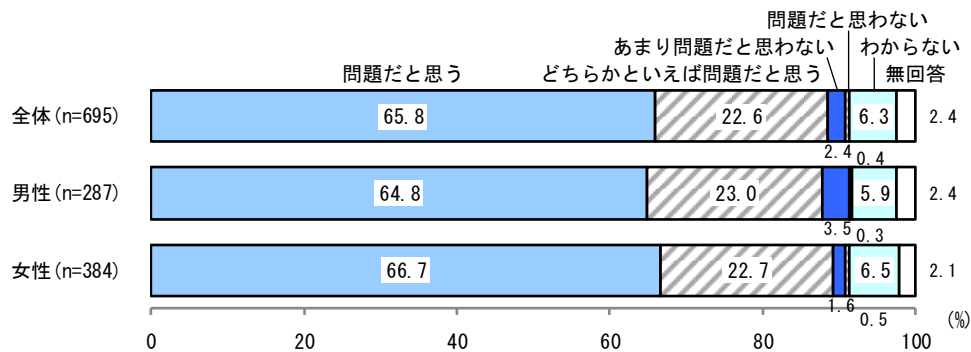
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「あまり問題だと思わない」は30～39歳(6.3%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(71.4%)で学習経験なし又は覚えていない(57.8%)より13.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(74.6%)で参加経験なし(64.5%)より10.1ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	65.8	22.6	2.4	0.4	6.3	2.4
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	72.5	21.6	3.9	-	2.0	-
30～39歳	63	73.0	15.9	6.3	-	3.2	1.6
40～49歳	100	64.0	23.0	4.0	1.0	7.0	1.0
50～59歳	116	67.2	25.9	1.7	-	5.2	-
60～69歳	119	66.4	27.7	1.7	-	2.5	1.7
70歳以上	212	59.9	22.6	0.5	0.9	10.8	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	71.4	21.1	2.4	0.4	3.3	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	57.8	26.6	2.8	0.5	10.6	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	74.6	19.3	1.8	-	2.6	1.8
参加経験なし	560	64.5	23.8	2.7	0.5	7.0	1.6

(2) 結婚の際、周囲から反対を受けること

結婚の際、周囲から反対を受けることについて、「問題だと思う」が54.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(27.1%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は81.8%となっています。

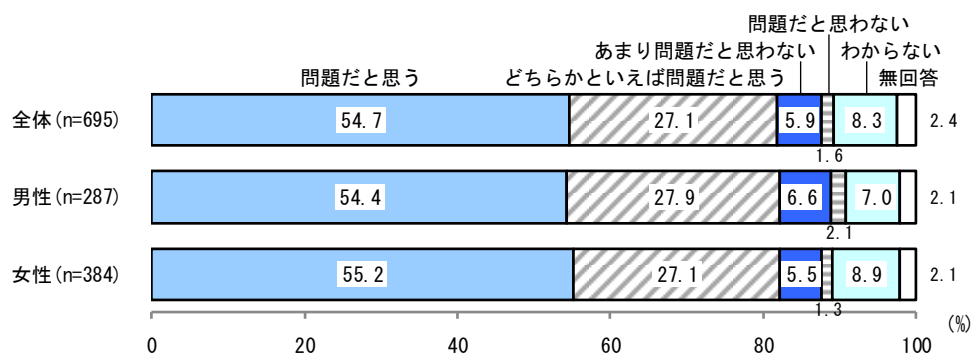
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、70歳以上では「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、「問題だと思う」は43.4%と低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(61.2%)で学習経験なし又は覚えていない(43.6%)より17.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(63.2%)で参加経験なし(53.4%)より9.8ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	54.7	27.1	5.9	1.6	8.3	2.4
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	56.9	27.5	5.9	3.9	5.9	-
30～39歳	63	66.7	20.6	6.3	-	4.8	1.6
40～49歳	100	59.0	23.0	9.0	2.0	6.0	1.0
50～59歳	116	61.2	24.1	6.9	-	7.8	-
60～69歳	119	55.5	31.9	4.2	1.7	4.2	2.5
70歳以上	212	43.4	32.1	5.2	2.4	12.3	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	61.2	24.4	6.2	1.1	5.5	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	43.6	33.9	6.0	2.8	12.4	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	63.2	24.6	1.8	1.8	6.1	2.6
参加経験なし	560	53.4	27.9	7.0	1.6	8.8	1.4

(3) 日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること

日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられることについて、「問題だと思う」が59.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(26.5%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は85.8%となっています。

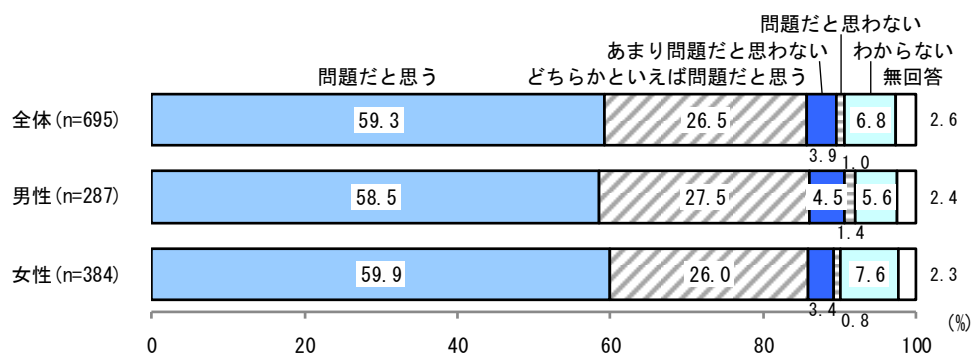
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」は70歳以上(49.5%)で低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(66.1%)で学習経験なし又は覚えていない(48.2%)より17.9ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(65.8%)で参加経験なし(58.4%)より7.4ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	59.3	26.5	3.9	1.0	6.8	2.6
年代別							
18・19歳	12	91.7	8.3	-	-	-	-
20～29歳	51	58.8	29.4	3.9	2.0	5.9	-
30～39歳	63	63.5	23.8	7.9	-	3.2	1.6
40～49歳	100	65.0	21.0	5.0	1.0	7.0	1.0
50～59歳	116	66.4	20.7	6.0	-	6.9	-
60～69歳	119	60.5	31.9	0.8	0.8	3.4	2.5
70歳以上	212	49.5	31.6	2.4	1.9	9.4	5.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	66.1	22.9	4.0	0.9	4.6	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	48.2	35.8	4.1	1.4	8.7	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	65.8	22.8	1.8	1.8	4.4	3.5
参加経験なし	560	58.4	27.7	4.5	0.9	7.1	1.4

(4) インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること

インターネット上に誹謗中傷等が掲載されることについて、「問題だと思う」が73.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(16.5%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は89.6%となっています。

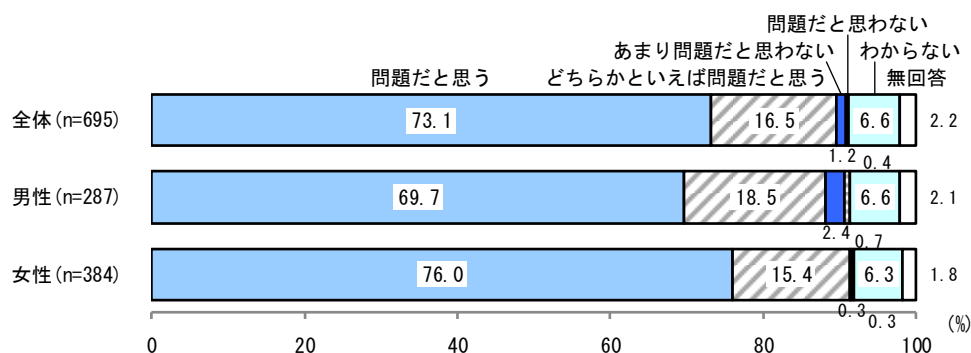
性別でみると、「問題だと思う」は男性(69.7%)より女性(76.0%)のほうが6.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、「問題だと思う」は70歳未満で9割を超えています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(78.0%)で学習経験なし又は覚えていない(67.0%)より11.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(78.9%)で参加経験なし(72.5%)より6.4ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	73.1	16.5	1.2	0.4	6.6	2.2
年代別							
18・19歳	12	100.0	-	-	-	-	-
20～29歳	51	74.5	17.6	3.9	-	3.9	-
30～39歳	63	71.4	22.2	1.6	-	3.2	1.6
40～49歳	100	78.0	12.0	2.0	1.0	6.0	1.0
50～59歳	116	81.0	15.5	0.9	-	2.6	-
60～69歳	119	74.8	20.2	0.8	-	2.5	1.7
70歳以上	212	65.1	16.5	0.5	0.9	12.7	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	78.0	16.1	1.1	0.2	3.3	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	67.0	18.8	1.4	0.9	11.0	0.9
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	78.9	14.9	1.8	-	2.6	1.8
参加経験なし	560	72.5	17.3	1.1	0.5	7.3	1.3

(5) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること

インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されることについて、「問題だと思う」が69.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(17.8%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は87.4%となっています。

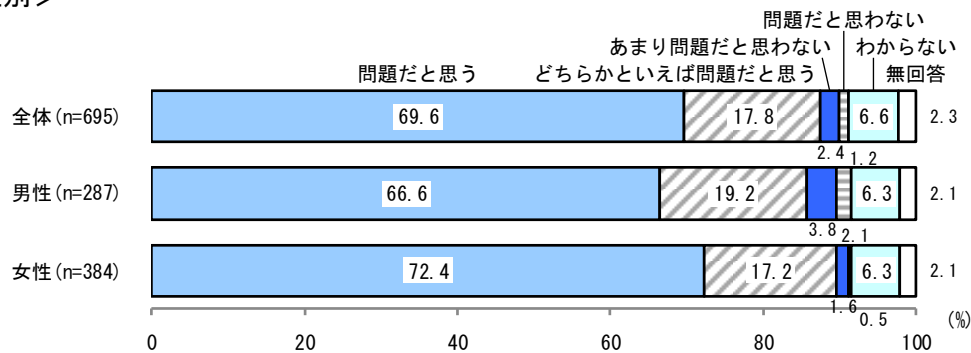
性別でみると、「問題だと思う」は男性(66.6%)より女性(72.4%)のほうが5.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、「あまり問題だと思わない」は40～49歳(6.0%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(73.1%)で学習経験なし又は覚えていない(66.5%)より6.6ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(81.6%)で参加経験なし(67.9%)より13.7ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	問題だと思う	問題だと思わず どちらかといえば 問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	69.6	17.8	2.4	1.2	6.6	2.3
年代別							
18・19歳	12	91.7	-	-	-	8.3	-
20～29歳	51	64.7	25.5	2.0	2.0	5.9	-
30～39歳	63	68.3	19.0	4.8	3.2	3.2	1.6
40～49歳	100	73.0	13.0	6.0	1.0	6.0	1.0
50～59歳	116	73.3	19.8	2.6	1.7	2.6	-
60～69歳	119	73.9	20.2	1.7	0.8	1.7	1.7
70歳以上	212	65.1	17.0	0.9	0.5	11.8	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	73.1	17.4	2.9	1.5	3.7	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	66.5	20.2	1.8	0.5	10.1	0.9
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	81.6	11.4	2.6	-	2.6	1.8
参加経験なし	560	67.9	19.6	2.5	1.4	7.1	1.4

(6) 身元調査をされること

身元調査をされることについて、「問題だと思う」が66.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(18.1%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は84.6%となっています。

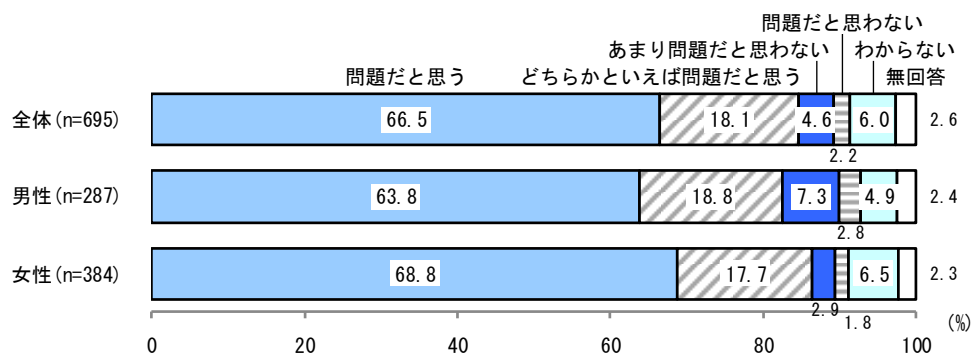
性別でみると、「問題だと思う」は男性(63.8%)より女性(68.8%)のほうが5.0ポイント高くなっています。

年代別で大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(70.3%)で学習経験なし又は覚えていない(63.3%)より7.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(74.6%)で参加経験なし(65.7%)より8.9ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	66.5	18.1	4.6	2.2	6.0	2.6
年代別							
18・19歳	12	100.0	-	-	-	-	-
20～29歳	51	74.5	13.7	7.8	-	3.9	-
30～39歳	63	73.0	14.3	6.3	-	3.2	3.2
40～49歳	100	68.0	18.0	5.0	1.0	7.0	1.0
50～59歳	116	69.8	19.0	5.2	3.4	2.6	-
60～69歳	119	61.3	22.7	6.7	3.4	4.2	1.7
70歳以上	212	60.8	19.3	2.4	2.8	9.9	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	70.3	17.2	5.1	2.0	3.7	1.8
学習経験なし又は覚えていない	218	63.3	20.6	3.7	2.3	8.7	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	74.6	14.9	3.5	1.8	2.6	2.6
参加経験なし	560	65.7	19.1	4.8	2.1	6.6	1.6

(7) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせる人がいること

「どこが同和地区なのか」と問い合わせる人がいることについて、「問題だと思う」が53.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(25.6%)となっており、両者を合わせた『問題だと思う』は78.7%となっています。

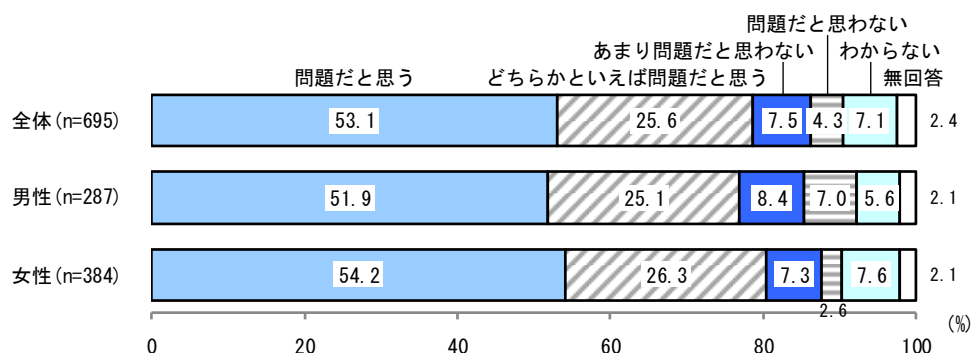
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は40～49歳(74.0%)で低くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(56.2%)で学習経験なし又は覚えていない(49.5%)より6.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」は参加経験あり(60.5%)で参加経験なし(52.1%)より8.4ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	53.1	25.6	7.5	4.3	7.1	2.4
年代別							
18・19歳	12	83.3	-	-	16.7	-	-
20～29歳	51	52.9	29.4	7.8	5.9	3.9	-
30～39歳	63	44.4	34.9	11.1	3.2	4.8	1.6
40～49歳	100	57.0	17.0	11.0	5.0	9.0	1.0
50～59歳	116	56.0	26.7	9.5	5.2	2.6	-
60～69歳	119	54.6	27.7	4.2	6.7	4.2	2.5
70歳以上	212	48.6	26.9	6.6	1.9	11.3	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	56.2	24.7	7.5	5.1	5.1	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	49.5	29.8	7.8	2.8	8.7	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	60.5	27.2	3.5	5.3	1.8	1.8
参加経験なし	560	52.1	25.7	8.4	4.1	8.0	1.6

(8) 引っ越しや住宅の購入で、同和地区を避ける人がいること

引っ越しや住宅の購入で、同和地区を避ける人がいることについて、「問題だと思う」が40.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば問題だと思う」(27.1%)、「あまり問題だと思わない」(13.2%)となっています。「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思わない」を合わせた『問題だと思う』は67.1%となっています。

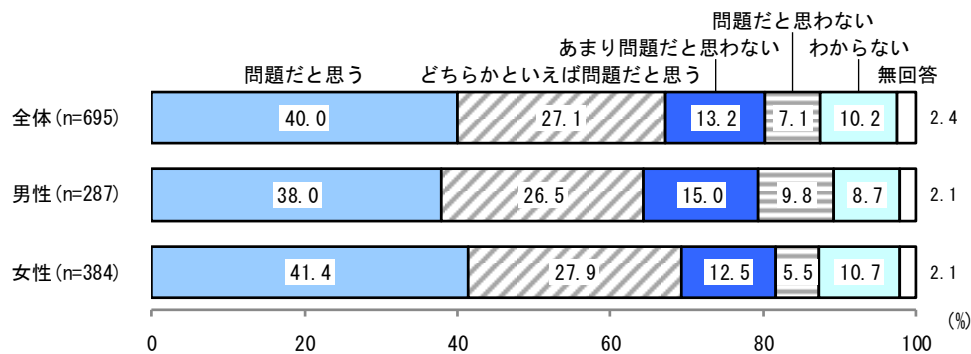
性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、70歳以上で「わからない」が14.6%と高くなっているものの、他に大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「問題だと思う」は学習経験あり(43.4%)で学習経験なし又は覚えていない(34.4%)より9.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「問題だと思う」と「どちらかといえば問題だと思う」を合わせた『問題だと思う』は参加経験あり(74.6%)で参加経験なし(66.1%)より8.5ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	問題だと思う	どちらかといえば問題だと思う	あまり問題だと思わない	問題だと思わない	わからない	無回答
全体	695	40.0	27.1	13.2	7.1	10.2	2.4
年代別							
18・19歳	12	75.0	-	-	16.7	8.3	-
20～29歳	51	41.2	31.4	13.7	5.9	5.9	2.0
30～39歳	63	47.6	17.5	20.6	7.9	4.8	1.6
40～49歳	100	45.0	19.0	16.0	11.0	8.0	1.0
50～59歳	116	37.9	33.6	11.2	8.6	8.6	-
60～69歳	119	39.5	30.3	15.1	5.0	7.6	2.5
70歳以上	212	34.0	29.7	11.8	5.7	14.6	4.2
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	43.4	26.2	13.2	7.5	8.1	1.5
学習経験なし又は覚えていない	218	34.4	31.2	13.8	6.9	11.9	1.8
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	43.9	30.7	11.4	4.4	7.9	1.8
参加経験なし	560	39.5	26.6	13.8	7.9	10.7	1.6

そのほか、あなたが同和問題について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

人権問題についての意見については、58件の自由記述が寄せられました。

下記に主な意見を抜粋しています。(原文まま)

- ・中途半端な教育(私はこの貝塚市で同和問題の教育を実際に受けたが、このように感じた)のせいで真に問題だと思える人が少なく、かえって差別意識を生むことがあるということ。(18・19歳男性)
- ・身元調査は必要と考えます。大切なのは同和地区だからと言って気にしない人をふやすこと。また、差別されている方も、「同和」と聞いただけで差別だと憤らないこと。双方の拒絶ない歩み寄りが大事ですし、「同和」という言葉のもつネガティブなイメージばかり助長するような伝方はダメだと思います。(30～39歳男性)
- ・今の世代でしっかりと抑制に、新しい世代に持ち込まないようにタブー化する必要がある。(30～39歳男性)
- ・同和地区について、小学校で学ばせるべきだと思う。確かにつらいおいたちがあるのかもしれないが、同和地区の友達ともめた時に、学校の先生が助けてくれなかった過去があるので、何とも言えない。(30～39歳女性)
- ・同和地区自身が優遇を受けているのに差別だと声をあげるのはおかしい。すべて平等の上で言うのはいいがこっちからしたら逆差別。就職でも優遇されているのもあるのに被害者のような言い方をしているのはいつまでたっても差別はなくなる。差別反対と言うなら優遇をやめてから言った方がいい。生活保護、介護認定で同和地区同士優遇されている事は問題ではないですか？(40～49歳男性)
- ・学校でそれを学んでいるからこそ差別がうまれる。今は違うという事も知らないといけませんが、学校で習った事のインパクトが強い。同じ家を買うなら…と避けてしまう気持ちはわからなくもない。後で子供たちが差別をうけるかも…と考えてしまうならその土地をかなり気に入っていない限りは。それは災害がおこりやすい場所。治安が悪い場所を避けるのと同じイメージなのかも…(40～49歳女性)
- ・同和という言葉が徐々に耳にしました。“同和”“同和”と言い続けることで、傷つくのは、子どもたちです。歴史が次世代の子どもたちに重い石を乗せるだけのものなら今の大人が、忘れて。“これから時代は変わる”と言えればいいかな…(50～59歳女性)
- ・私の回りでは今迄より理解得ているように思う。(60～69歳女性)
- ・この頃は昔の様な同和地区への認識が薄まっている様に思う。(60～69歳女性)
- ・同和地区とか過去の同和問題を質問にすることが問題です。(60～69歳男性)
- ・同和問題がいまだにあることでびっくりです。子供の頃、仲がよかった友の中にいましたが私も両親も気にせず食事によんだり私もおよばれたこと思い出します。(70歳以上女性)
- ・今日の状態でこの問題は大きく改善されている。但し表記の内容等は許されることなく、反対です。(70歳以上男性)

問16 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。

結婚や就職時の身元調査について、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が41.2%と最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」(22.9%)、「わからない」(10.2%)、「身元調査をすることは当然のことだと思う」(5.0%)となっています。

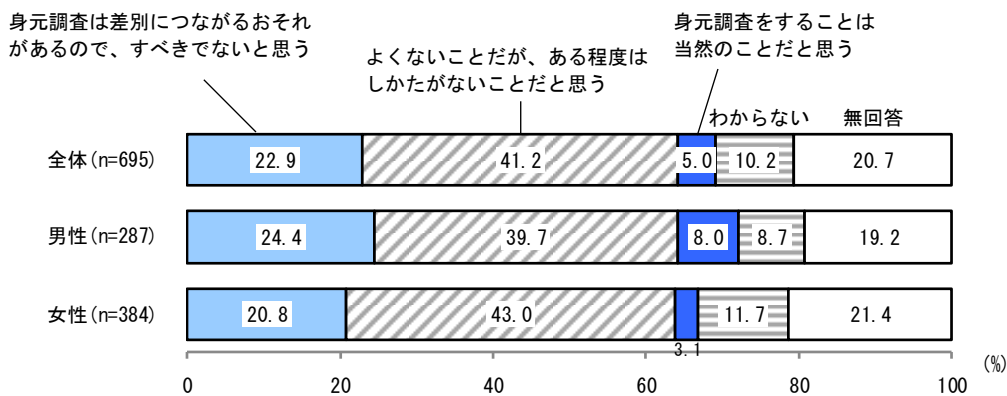
性別でみると、「身元調査をすることは当然のことだと思う」は女性(3.1%)より男性(8.0%)のほうが4.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」は30～39歳(54.0%)で半数を超えて高くなっています。また、「わからない」は20～29歳(19.6%)で高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別で大きな差はみられません。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」は参加経験あり(28.9%)で参加経験なし(22.3%)より6.6ポイント高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	身元調査をすることは当然のことだと思う	わからない	無回答
全体	695	22.9	41.2	5.0	10.2	20.7
年代別						
18・19歳	12	41.7	33.3	-	8.3	16.7
20～29歳	51	15.7	49.0	5.9	19.6	9.8
30～39歳	63	11.1	54.0	1.6	7.9	25.4
40～49歳	100	24.0	39.0	2.0	8.0	27.0
50～59歳	116	25.9	41.4	3.4	9.5	19.8
60～69歳	119	25.2	44.5	9.2	7.6	13.4
70歳以上	212	22.6	36.3	6.6	11.8	22.6
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別						
学習経験あり	454	24.0	43.8	4.4	8.4	19.4
学習経験なし又は覚えていない	218	21.6	39.0	6.4	12.8	20.2
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別						
参加経験あり	114	28.9	34.2	4.4	11.4	21.1
参加経験なし	560	22.3	43.4	5.2	9.8	19.3

問17 あなたが、同和地区や同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは、何からですか。

同和地区や同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が41.3%と最も高く、次いで「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」(21.3%)、「被差別部落や部落差別を知っているがきっかけは覚えていない」(9.5%)となっています。

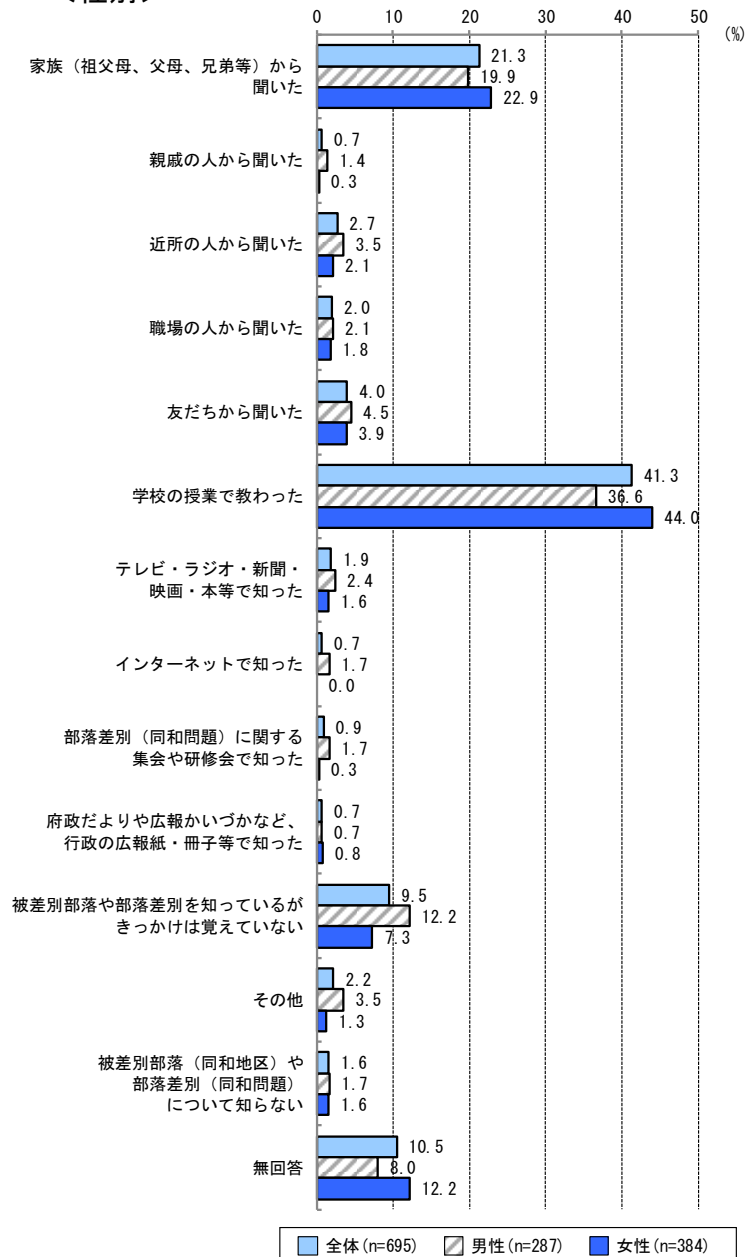
性別でみると、上位3項目は全体と変わりませんが、「学校の授業で教わった」は男性(36.6%)より女性(44.0%)が7.4ポイント高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」、「近所の人から聞いた」や「友達から聞いた」などの身近な人から聞いた割合が高くなっており、70歳未満では「学校の授業で教わった」が半数近くを占めて高くなっています。また、「インターネットで知った」は20~39歳の若い年代が高くなっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、学習経験ありで「学校の授業で教わった」(58.8%)が6割近くを占めて高くなっています。一方で、学習経験なし又は覚えていないで「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」(30.3%)が3割を占めて高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別でみると、参加経験ありで「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」(28.1%)が3割近くを占め高くなっています。一方で、参加経験なしで「学校の授業で教わった」(43.4%)が4割を超えて高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	友だちから聞いた	学校の授業で教わった	テレビ・ラジオ・新聞・映画・本等で知った	
全体	695	21.3	0.7	2.7	2.0	4.0	41.3	1.9	
年代別									
18・19歳	12	25.0	-	-	-	-	58.3	8.3	
20～29歳	51	23.5	-	-	-	-	51.0	2.0	
30～39歳	63	20.6	-	1.6	-	1.6	52.4	1.6	
40～49歳	100	10.0	1.0	-	2.0	2.0	57.0	3.0	
50～59歳	116	15.5	-	0.9	0.9	0.9	67.2	0.9	
60～69歳	119	21.0	0.8	0.8	1.7	5.9	47.1	0.8	
70歳以上	212	30.7	1.4	7.5	3.8	7.5	9.4	2.4	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別									
学習経験あり	454	17.4	0.4	1.8	0.4	2.0	58.8	1.5	
学習経験なし又は覚えていない	218	30.3	1.4	3.7	5.0	8.3	9.2	2.8	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別									
参加経験あり	114	28.1	2.6	3.5	2.6	2.6	36.0	2.6	
参加経験なし	560	20.2	0.4	2.1	2.0	4.3	43.4	1.8	
	調査数	インターネットで知った	部活動（同和問題）に関する集会や研修会で知った	紙・冊子等で知った	府政だよりや広報かいづかなど、行政の広報	被差別部落や部落差別を知っているがきっかけは覚えていない	その他	被差別部落（同和地区）や部落差別（同和問題）について知らない	無回答
全体	695	0.7	0.9	0.7	9.5	2.2	1.6	10.5	
年代別									
18・19歳	12	-	-	-	-	-	-	8.3	
20～29歳	51	3.9	-	-	5.9	5.9	5.9	2.0	
30～39歳	63	3.2	-	-	4.8	1.6	3.2	9.5	
40～49歳	100	1.0	-	1.0	7.0	1.0	2.0	13.0	
50～59歳	116	-	-	-	2.6	0.9	-	10.3	
60～69歳	119	-	-	2.5	4.2	0.8	-	14.3	
70歳以上	212	-	2.8	0.5	19.3	3.8	1.9	9.0	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別									
学習経験あり	454	0.4	0.2	0.7	3.5	1.8	1.3	9.7	
学習経験なし又は覚えていない	218	1.4	2.3	0.9	22.0	3.2	2.3	7.3	
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別									
参加経験あり	114	0.9	1.8	1.8	7.0	1.8	1.8	7.0	
参加経験なし	560	0.7	0.7	0.5	10.4	2.3	1.6	9.6	

問18 もし、あなたのお子さん（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください）が恋愛をし、結婚をしたいと言っている相手が同和地区の人であった場合、あなたは親として、どのような態度をとると思いますか。

お子さんの結婚したい相手が同和地区の人であった場合、親としてどのような態度をとると思うかについて、「わからない」が33.4%と最も高く、次いで「迷いながらも、結局は賛成する」（27.6%）、「賛成する」（23.7%）となっています。

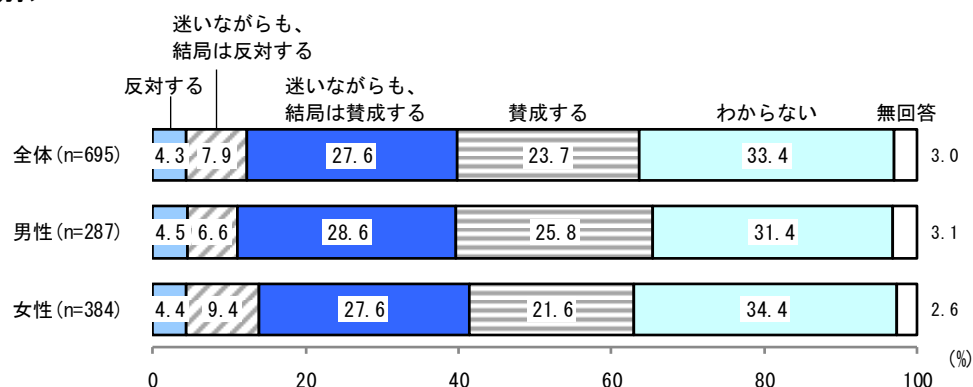
性別でみると、「迷いながらも、結局は賛成する」と「賛成する」を合わせた『賛成する』は女性（49.2%）より男性（54.4%）のほうが5.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、いずれの年代も「わからない」が3割程度みられ、年代が下がるにつれ「賛成する」は増加する傾向がみられ、20～29歳では37.3%となっています。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「賛成する」は学習経験あり（28.6%）で学習経験なし又は覚えていない（15.6%）より13.0ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	反対する	迷いながらも、結局は反対する	迷いながらも、結局は賛成する	賛成する	わからない	無回答
全体	695	4.3	7.9	27.6	23.7	33.4	3.0
年代別							
18・19歳	12	-	8.3	16.7	75.0	-	-
20～29歳	51	-	9.8	19.6	37.3	33.3	-
30～39歳	63	3.2	4.8	23.8	33.3	31.7	3.2
40～49歳	100	5.0	7.0	23.0	27.0	33.0	5.0
50～59歳	116	3.4	6.9	31.9	24.1	31.9	1.7
60～69歳	119	5.9	7.6	30.3	22.7	31.9	1.7
70歳以上	212	5.7	9.9	31.1	12.7	36.8	3.8
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別							
学習経験あり	454	4.0	7.5	28.0	28.6	30.6	1.3
学習経験なし又は覚えていない	218	4.6	9.6	28.9	15.6	40.4	0.9
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別							
参加経験あり	114	0.9	6.1	28.1	26.3	36.0	2.6
参加経験なし	560	5.0	8.4	28.2	23.9	33.4	1.1

問19 もし、あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区にある物件、もしくは小中学校区に同和地区がある物件ならばどのようにすると思いますか。

同和地区にある物件について、「いずれにあってもこだわらないと思う」が32.9%と最も高い一方で、「同和地区や同じ小中学校区にある物件は避けると思う」(13.5%)と「同和地区は避けるが、同じ小中学校区にある物件は避けないと思う」(25.6%)を合わせた『同和地区にある物件を避ける』は39.1%と、「いずれにあってもこだわらないと思う」(32.9%)を超えています。

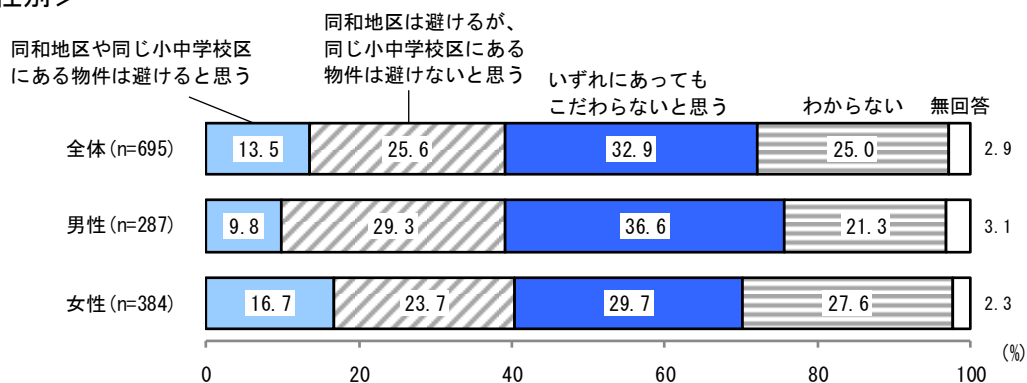
性別でみると、「同和地区や同じ小中学校区にある物件は避けると思う」は男性(9.8%)より女性(16.7%)のほうが6.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、「いずれにあってもこだわらないと思う」は20～29歳(43.1%)でやや高くなっているものの、他に大きな差はみられません。

学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別でみると、「いずれにあってもこだわらないと思う」は学習経験あり(35.5%)で学習経験なし又は覚えていない(29.8%)より5.7ポイント高くなっています。

人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別で大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

	調査数	同和地区や同じ小中学校区にある物件は避けると思う	同和地区は避けるが、同じ小中学校区にある物件は避けないと思う	いずれにあってもこだわらないと思う	わからない	無回答
全体	695	13.5	25.6	32.9	25.0	2.9
年代別						
18・19歳	12	16.7	8.3	75.0	-	-
20～29歳	51	19.6	15.7	43.1	21.6	-
30～39歳	63	15.9	20.6	31.7	28.6	3.2
40～49歳	100	19.0	24.0	28.0	26.0	3.0
50～59歳	116	13.8	25.9	36.2	23.3	0.9
60～69歳	119	14.3	31.9	27.7	24.4	1.7
70歳以上	212	9.0	28.3	31.1	26.9	4.7
学校の授業での人権問題に関する学習経験の有無別						
学習経験あり	454	15.2	26.4	35.5	22.0	0.9
学習経験なし又は覚えていない	218	10.6	26.1	29.8	32.1	1.4
人権問題に関する研修会・講習会への参加経験の有無別						
参加経験あり	114	10.5	25.4	32.5	28.9	2.6
参加経験なし	560	14.6	26.1	33.8	24.6	0.9

11. 人権問題に関する学習やその解決に向けた取組について

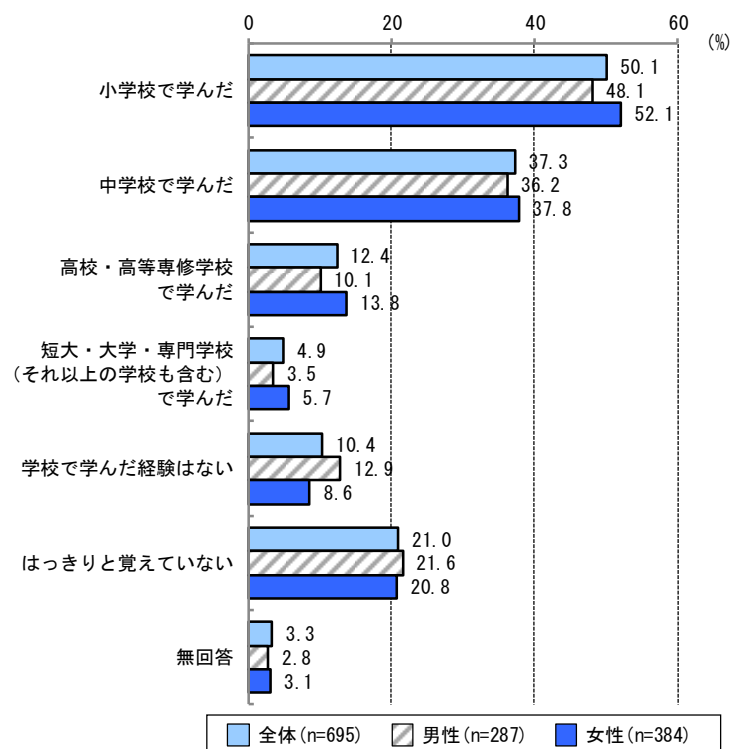
問20 あなたは、人権問題について、学校の授業等で学んだことがありますか。(〇は
いくつでも)

人権問題について、学校の授業等で学んだことがあるかについて、「小学校で学んだ」が50.1%で最も高く、次いで「中学校で学んだ」(37.3%)、「はっきりと覚えていない」(21.0%)となっています。

性別でみると、上位3項目は全体と変わりませんが、「学校で学んだ経験はない」が男性は12.9%と1割を超えています。

年代別でみると、70歳未満で「小学校で学んだ」が他の項目に比べ最も高くなっています。70歳以上では「はっきりと覚えていない」が41.0%となっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	小学校で学んだ	中学校で学んだ	高校・高等専修学校で学んだ	短大・大学・専門学校(それ以上の学校も含む)で学んだ	学校で学んだ経験はない	はっきりと覚えていない	無回答
全体	695	50.1	37.3	12.4	4.9	10.4	21.0	3.3
18・19歳	12	83.3	91.7	50.0	33.3	-	-	-
20～29歳	51	72.5	49.0	23.5	19.6	2.0	11.8	-
30～39歳	63	79.4	49.2	20.6	6.3	1.6	9.5	3.2
40～49歳	100	76.0	51.0	17.0	7.0	-	16.0	1.0
50～59歳	116	68.1	41.4	11.2	4.3	1.7	12.1	-
60～69歳	119	50.4	42.9	9.2	-	7.6	12.6	2.5
70歳以上	212	13.2	15.1	4.2	0.9	26.4	41.0	7.1

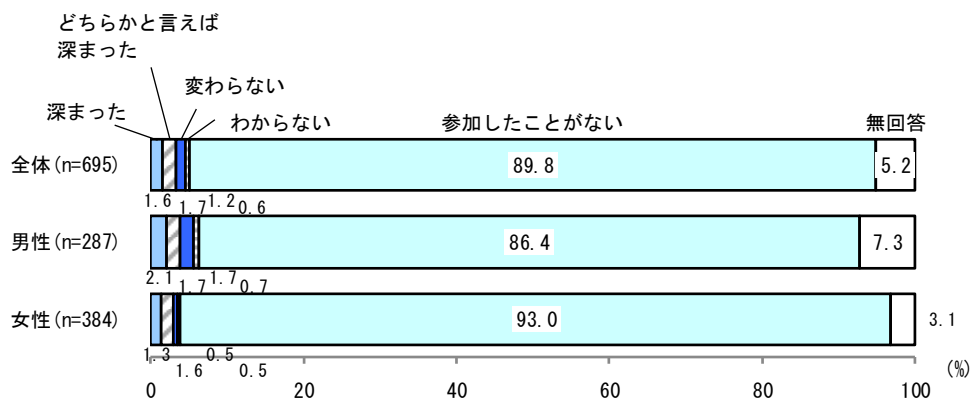
問21 あなたは、過去5年間に、人権問題に関する研修会や講演会に参加されたことがありますか。参加して人権問題に対する理解・認識は深まりましたか。

(1) 市主催の研修会や講演会

市主催の研修会や講演会について、「参加したことがない」は89.8%となっています。参加したことがある場合、人権問題に対する理解・認識は深まったかについて、「深まった」(1.6%)と「どちらかと言えば深まった」(1.7%)を合わせた『深まった』は3.3%となっています。

性別でみると、「参加したことがない」は男性(86.4%)より女性(93.0%)のほうが6.6ポイント高くなっています。

<性別>

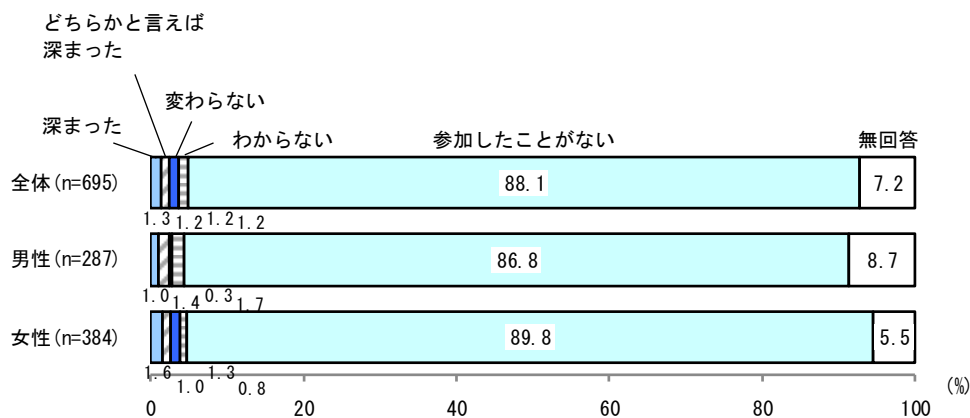


(2) 地域の自治会・団体等が主催の研修会や講演会

地域の自治会・団体等が主催の研修会や講演会について、「参加したことがない」は88.1%となっています。参加したことがある場合、人権問題に対する理解・認識は深まったかについて、「深まった」(1.3%)と「どちらかと言えば深まった」(1.2%)を合わせた『深まった』は2.5%となっています。

性別で大きな差はみられません。

<性別>



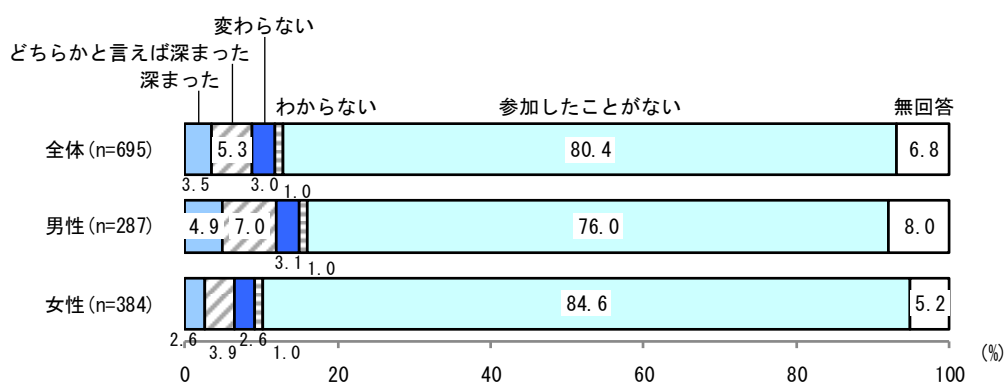
(3) 勤めている職場での研修会や講演会

勤めている職場での研修会や講演会について、「参加したことがない」は80.4%となっています。参加したことがある場合、人権問題に対する理解・認識は深まったかについて、「深まった」(3.5%)と「どちらかと言えば深まった」(5.3%)を合わせた『深まった』は8.8%となっています。

性別でみると、「参加したことがない」は男性(76.0%)より女性(84.6%)のほうが8.6ポイント高くなっています。

年代別でみると、「深まった」と「どちらかと言えば深まった」を合わせた『深まった』は20~29歳(13.7%)、30~39歳(22.2%)で高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

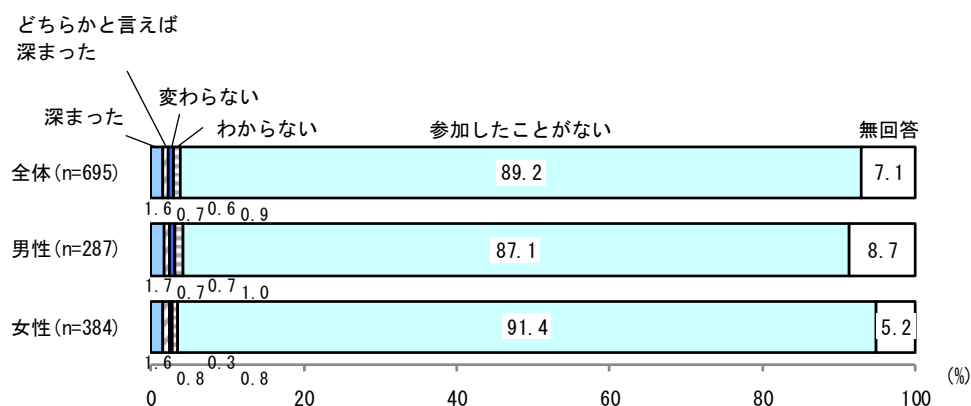
	調査数	深まった	深まった どちらかと言えば	変わらない	わからない	参加したことがない	無回答
全体	695	3.5	5.3	3.0	1.0	80.4	6.8
18・19歳	12	8.3	-	-	8.3	75.0	8.3
20~29歳	51	9.8	3.9	-	2.0	84.3	-
30~39歳	63	7.9	14.3	1.6	1.6	73.0	1.6
40~49歳	100	3.0	4.0	7.0	1.0	82.0	3.0
50~59歳	116	-	6.9	4.3	-	84.5	4.3
60~69歳	119	3.4	4.2	1.7	2.5	84.9	3.4
70歳以上	212	2.8	3.3	2.8	-	77.4	13.7

(4) 市民団体やNPO等が主催の研修会や講演会

市民団体やNPO等が主催の研修会や講演会について、「参加したことがない」は89.2%となっています。参加したことがある場合、人権問題に対する理解・認識は深まったかについて、「深まった」(1.6%)と「どちらかと言えば深まった」(0.7%)を合わせた『深まった』は2.3%となっています。

性別で大きな差はみられません。

<性別>



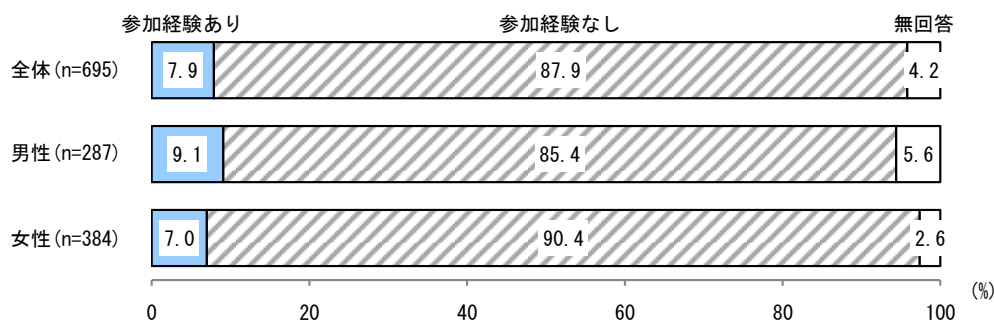
【(1)・(2)・(4)の職場研修以外の研修会・講演会に参加したことがある人での集計】

職場研修以外の研修会や講演会について、1回でも参加したことがある「参加経験あり」は7.9%となっています。

性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「参加経験あり」は70歳以上(11.3%)で1割を占め、他の年代に比べてやや高くなっています。

<性別>



<クロス表>

	調査数	参加経験あり	参加経験なし	無回答
全体	695	7.9	87.9	4.2
18・19歳	12	-	100.0	-
20～29歳	51	9.8	90.2	-
30～39歳	63	7.9	88.9	3.2
40～49歳	100	7.0	91.0	2.0
50～59歳	116	5.2	92.2	2.6
60～69歳	119	6.7	89.9	3.4
70歳以上	212	11.3	81.1	7.5

問22 今後、貝塚市が人権問題の解決に向けて取り組むべきことについて、あなたのお考えをお聞かせください。

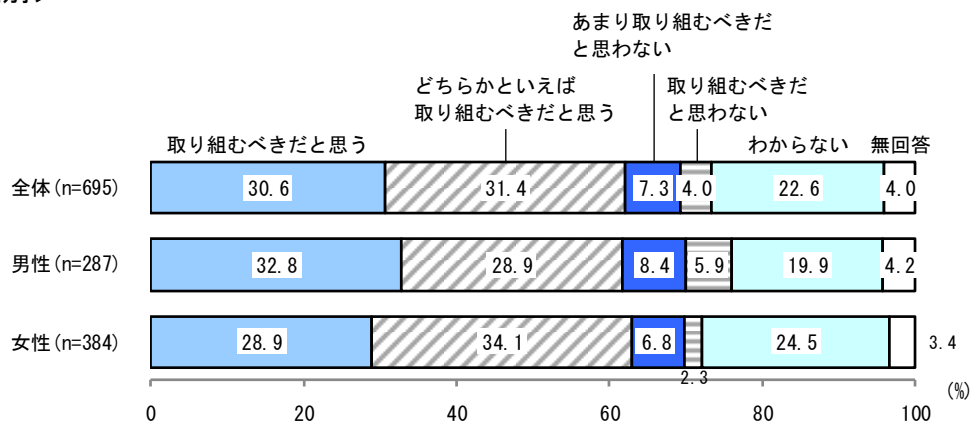
(1) 広報活動の推進

広報活動の推進について、「どちらかといえば取り組むべきだと思う」が31.4%と最も高く、次いで「取り組むべきだと思う」(30.6%)、「わからない」(22.6%)となっています。

性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、「取り組むべきだと思う」と「どちらかといえば取り組むべきだと思う」を合わせた『取り組むべきだと思う』は70歳以上で50.0%と、他の年代に比べて10ポイント以上低くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	取り組むべきだと思う	取り組むべきだと思わず どちらかといえば 取り組むべきだと思う	あまり取り組むべきだ と思わない	取り組むべきだと思 わない	わからない	無回答
全体	695	30.6	31.4	7.3	4.0	22.6	4.0
18・19歳	12	50.0	33.3	-	8.3	8.3	-
20～29歳	51	29.4	33.3	9.8	-	27.5	-
30～39歳	63	25.4	44.4	3.2	3.2	22.2	1.6
40～49歳	100	39.0	30.0	6.0	4.0	19.0	2.0
50～59歳	116	27.6	43.1	4.3	4.3	19.8	0.9
60～69歳	119	32.8	31.1	11.8	5.9	15.1	3.4
70歳以上	212	28.3	21.7	9.0	3.3	28.8	9.0

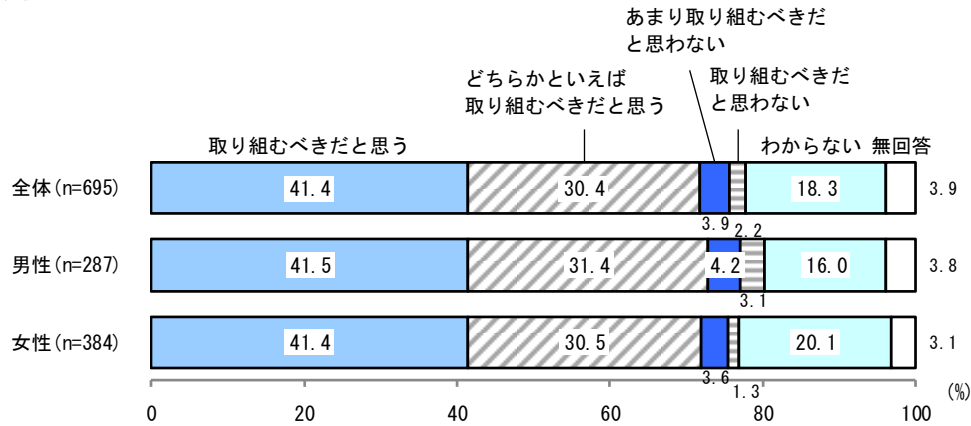
(2) 人権侵害被害者の相談体制の整備・充実

人権侵害被害者の相談体制の整備・充実について、「取り組むべきだと思う」が41.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば取り組むべきだと思う」(30.4%)、「わからない」(18.3%)となっています。

性別で大きな差はみられません。

年代別でみると、年代が下がるにつれ「取り組むべきだと思う」は増加する傾向がみられ、20～29歳では49.0%となっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	取り組むべきだと思う	どちらかといえば取り組むべきだと思う	あまり取り組むべきだと思わない	取り組むべきだと思わない	わからない	無回答
全体	695	41.4	30.4	3.9	2.2	18.3	3.9
18・19歳	12	66.7	33.3	-	-	-	-
20～29歳	51	49.0	25.5	5.9	-	19.6	-
30～39歳	63	46.0	33.3	3.2	-	15.9	1.6
40～49歳	100	47.0	30.0	5.0	1.0	16.0	1.0
50～59歳	116	40.5	36.2	1.7	3.4	17.2	0.9
60～69歳	119	42.9	33.6	4.2	4.2	12.6	2.5
70歳以上	212	33.5	26.9	4.7	1.9	24.1	9.0

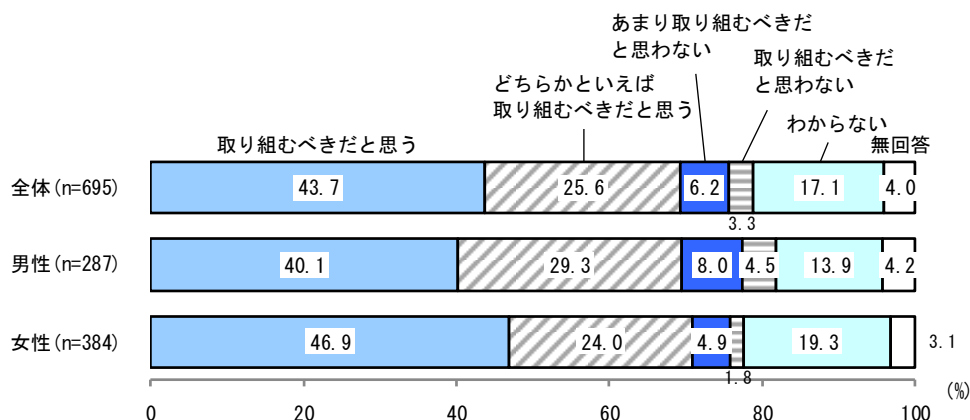
(3) 学校における人権教育の推進

学校における人権教育の推進について、「取り組むべきだと思う」が43.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば取り組むべきだと思う」(25.6%)、「わからない」(17.1%)となっています。

性別でみると、「取り組むべきだと思う」は男性(40.1%)より女性(46.9%)のほうが6.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、「取り組むべきだと思う」と「どちらかといえば取り組むべきだと思う」を合わせた『取り組むべきだと思う』は20～29歳、30～39歳で8割を超えて高くなっています。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	取り組むべきだと思う	取り組むべきだと思わず	どちらかといえば取り組むべきだと思わず	あまり取り組むべきだと思わず	取り組むべきだと思わず	わからない	無回答
全体	695	43.7	25.6	6.2	3.3	17.1	4.0	
18・19歳	12	66.7	25.0	-	8.3	-	-	
20～29歳	51	62.7	17.6	-	-	19.6	-	
30～39歳	63	63.5	20.6	3.2	1.6	9.5	1.6	
40～49歳	100	48.0	27.0	3.0	4.0	16.0	2.0	
50～59歳	116	42.2	31.0	5.2	4.3	15.5	1.7	
60～69歳	119	41.2	29.4	9.2	5.9	11.8	2.5	
70歳以上	212	32.1	25.0	9.4	1.4	23.6	8.5	

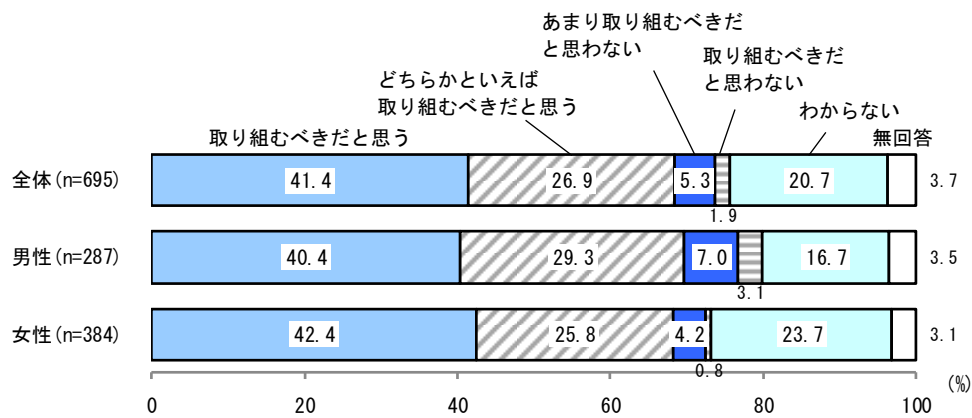
(4) 市の職員や教職員、社会教育関係職員、保健・医療・福祉・介護関係者等、
人権にかかわりの深い職業従事者に対する人権教育・啓発の充実

市の職員や教職員等、人権にかかわりの深い職業従事者に対する人権教育・啓発の充実について、「取り組むべきだと思う」が41.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば取り組むべきだと思う」(26.9%)、「わからない」(20.7%)となっています。

性別でみると、「わからない」は男性(16.7%)より女性(23.7%)のほうが7.0ポイント高くなっているものの、他に大きな差はみられません。

年代別でみると、70歳以上で「取り組むべきだと思う」(29.7%)がやや低くなっているものの、他に大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	取り組むべきだと思う	どちらかといえば取り組むべきだと思う	あまり取り組むべきだと思わない	取り組むべきだと思わない	わからない	無回答
全体	695	41.4	26.9	5.3	1.9	20.7	3.7
18・19歳	12	66.7	25.0	-	-	8.3	-
20～29歳	51	47.1	23.5	5.9	-	23.5	-
30～39歳	63	49.2	30.2	6.3	-	12.7	1.6
40～49歳	100	51.0	24.0	4.0	1.0	19.0	1.0
50～59歳	116	45.7	29.3	3.4	2.6	19.0	-
60～69歳	119	41.2	28.6	5.9	3.4	18.5	2.5
70歳以上	212	29.7	26.9	7.1	1.9	25.9	8.5

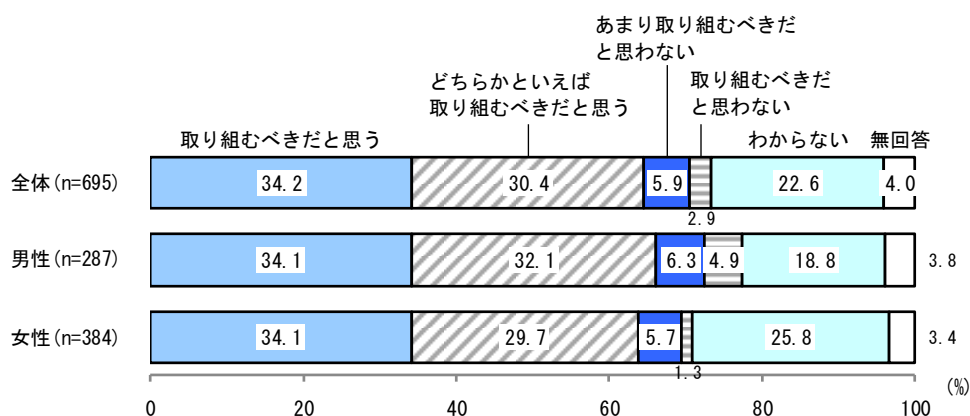
(5) 事業者と自治体が結ぶ契約に人権基準を定め、遵守させること

事業者と自治体が結ぶ契約に人権基準を定め、遵守させることについて、「取り組むべきだと思う」が34.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば取り組むべきだと思う」(30.4%)、「わからない」(22.6%)となっています。

性別でみると、「わからない」は男性(18.8%)より女性(25.8%)のほうが7.0ポイント高くなっているものの、他に大きな差はみられません。

年代別でみると、70歳以上で「わからない」や無回答が他の年代より多いものの、他に大きな差はみられません。

<性別>



<クロス表>

(%)

	調査数	取り組むべきだと思う	取り組むべきだと思わず どちらかといえば	あまり取り組むべきだと思わない	取り組むべきだと思わない	わからない	無回答
全体	695	34.2	30.4	5.9	2.9	22.6	4.0
18・19歳	12	58.3	33.3	-	-	8.3	-
20～29歳	51	37.3	23.5	9.8	3.9	25.5	-
30～39歳	63	42.9	31.7	6.3	-	17.5	1.6
40～49歳	100	43.0	31.0	4.0	3.0	17.0	2.0
50～59歳	116	36.2	38.8	4.3	3.4	16.4	0.9
60～69歳	119	33.6	28.6	9.2	4.2	21.8	2.5
70歳以上	212	25.0	28.3	5.7	2.4	29.7	9.0

問26 人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください。

人権問題についての意見については、151件の自由記述が寄せられました。

回答を分類した結果は下記の通りです。なお、複数の項目にまたがる意見があるため、項目別の合計と回答数は一致しません。

分類	件数
人権問題に対する意識について	49
教育・啓発・広報について	34
部落差別（同和問題）について	32
他者への配慮による働きかけについて	24
男女平等、人はみな平等という考えについて	20
差別がなくなるのは難しいというご意見	15
インターネットやメディア等情報社会のあり方について	12
行政に対する要望について	10
アンケートについて	10
政治家等、社会的地位のある人の意識や働きかけについて	7
外国人の人権について	7
格差について	3
障害者の人権について	3
相談窓口について	1
その他	8
特にない、分からない	6
総計	241

Ⅲ 調査票

人権問題に関する市民意識調査

令和4年11月
貝塚市

貝塚市が実施する人権に関する大切な調査です。
ご意見をぜひお聞かせください！

市民のみなさまには、日頃から市政にご協力をいただき、ありがとうございます。
貝塚市では、平成6年に制定した貝塚市人権擁護に関する条例に基づき「差別のない明るく住みよい国際都市」の実現をすすめているところです。

この調査は、貝塚市が今後の人権施策を推進する基礎資料として活用するため、市民のみなさまに、様々な人権問題についてのお考えをお聞きするものです。

この調査票は、18歳以上の貝塚市民のみなさまの中から無作為に2,000人のかたを選び、お送りしています。

調査は無記名で回答いただき、誰がどのように回答したのか全く分からないように統計的に処理します。また、回答は上記の目的以外に使用することはありませんので、あなたご自身の率直なご意見をお聞かせくださいますようご協力お願いします。

記入上の注意

- ・お送りした宛名のご本人がお答えください。お名前の記入は不要です。
- ・ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族のかたなどが記入してください。結構です。
- ・ご記入いただいた「調査票」は、同封の返信用封筒に入れて、
令和4年11月25日（金）までに郵便ポストに投函してください。（切手不要です）
- ・この調査に関するお問い合わせは、下記担当課までお願いいたします。

大きな文字の調査票、ふりがながある調査票が必要なかたやサポートが必要な
かたは、貝塚市人権政策課へご連絡ください。

お問い合わせ先

貝塚市 都市政策部 人権政策課

〒597-8585 貝塚市島中1丁目17番1号

電話 072-433-7160

ファクシミリ 072-433-7511

メール jinkenseisaku@city.kaizuka.lg.jp

「人権」全般についておたずねします。

問1 人権を取り巻く社会の状況について、あなたはどのように思いますか。(1)~(3)の各事項について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

< 事 項 >	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば そう思わない	5 そう思わない	6 わからない
(1)今の社会は、基本的人権が尊重されている社会である	1	2	3	4	5	6
(2)市民一人ひとりの人権意識は、ここ10年間で高くなっている	1	2	3	4	5	6
(3)ここ10年間で、人権が侵害されることは減っている	1	2	3	4	5	6

問2 人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたは次の(1)~(19)の人権に関心をお持ちですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 関心がある	2 少し関心がある	3 関心がない
(1)女性に関する人権問題	1	2	3
(2)子どもに関する人権問題	1	2	3
(3)高齢者に関する人権問題	1	2	3
(4)障害者に関する人権問題	1	2	3
(5)同和問題(部落差別)	1	2	3
(6)日本に居住している外国人に関する人権問題	1	2	3
(7)H I V感染者、ハンセン病患者・回復者及びその家族に関する人権問題	1	2	3
(8)こころの病(うつ病、依存症など)をもつ人に関する人権問題	1	2	3
(9)犯罪被害者に関する人権問題	1	2	3
(10)ホームレスの人権問題	1	2	3
(11)性的マイノリティ(性的指向の異なる人・性別違和など)の人権問題	1	2	3

	1 関心が ある	2 少し関心 がある	3 関心が ない
(12)職業や雇用をめぐる人権問題 (差別待遇、職業や職種に対する偏り、過労死など)	1	2	3
(13)セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	1	2	3
(14)インターネットにおける人権侵害	1	2	3
(15)ヘイトスピーチ(特定の人種や民族の人々を排斥する不 当な差別的言動)	1	2	3
(16)新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに治療 にかかわる医療従事者等やその家族の人権問題	1	2	3
(17)アイヌの人々の人権問題	1	2	3
(18)刑を終えて出所した人の人権問題	1	2	3
(19)環境・気候変動によっておこる人権問題	1	2	3

問3 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。次の中か
ら1つお選びください。

- | | | | |
|---|-------|---|-------------|
| 1 | ある | → | 問4へお進みください。 |
| 2 | ない | → | 問6へお進みください。 |
| 3 | わからない | → | 問6へお進みください。 |

▶(問3で「1 ある」と答えた方におたずねします。)

問4 どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものをすべてお選びください。(○
はいくつでも)

- | | |
|----|--|
| 1 | あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた |
| 2 | 名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された |
| 3 | 社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を
侵害された |
| 4 | 人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた |
| 5 | 職場、地域において、不当な待遇や言動(パワーハラスメントなど)を受けた |
| 6 | 医療機関や社会福祉施設等で施設職員から不当な取扱いを受けた |
| 7 | プライバシーを侵害された |
| 8 | 性的嫌がらせ(セクシュアルハラスメント)を受けた |
| 9 | インターネットによる人権侵害 |
| 10 | 特定の人に執拗につきまとわれた(ストーカー被害) |
| 11 | 公的機関や企業・団体による不当な扱い |
| 12 | 配偶者・パートナー間での暴力や虐待(ドメスティック・バイオレンス(DV)) |
| 13 | 親子間(孫を含む)での暴力や虐待 |
| 14 | その他(具体的に: _____) |

(問4を回答された方におたずねします。)

問5 (問4で回答された人権侵害について) その時、どうされましたか。次の中から該当するものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 友達、同僚、先輩、教師、上司など信頼できる人に相談した |
| 2 | 家族、親戚に相談した |
| 3 | 警察に相談した |
| 4 | 弁護士に相談した |
| 5 | 公共機関(法務局、人権擁護委員、府・市役所などの人権相談窓口)に相談した |
| 6 | NPOなどの民間団体に相談した |
| 7 | 職場の相談窓口に相談した |
| 8 | 相手に抗議するなど自分で解決した |
| 9 | 何もしなかった |
| 10 | 忘れた・わからない |
| 11 | その他(具体的に: _____) |

問6 人権問題にかかわる次のような法律や条例、制度などを知っていますか。(1)～(17)について、あてはまる番号1つに〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	1 内容を 知っている	2 名称は 知っているが 内容が	3 知らない
(1)水平社宣言(1922(大正11)年宣言)	1	2	3
(2)世界人権宣言(1948(昭和23)年採択)	1	2	3
(3)国際人権規約(社会権規約・自由権規約/日本は1979(昭和54)年批准)	1	2	3
(4)貝塚市人権擁護に関する条例(1994(平成6)年施行)	1	2	3
(5)本人通知制度(貝塚市が、住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者に交付した場合に、希望する本人(事前に市への登録が必要)に交付したことをお知らせする制度/2011(平成23)年施行)	1	2	3
(6)障害者虐待防止法(「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律」/2012(平成24)年施行)	1	2	3
(7)いじめ防止対策推進法(2013(平成25)年施行)	1	2	3
(8)子供の貧困対策推進法(「子どもの貧困対策の推進に関する法律」/2014(平成26)年施行)	1	2	3
(9)女性活躍推進法(「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」/2016(平成28)年施行)	1	2	3
(10)障害者差別解消法(「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」/2016(平成28)年施行)	1	2	3

	1 内容を 知っている	2 名称は 知っている が 内容は 知らない	3 知らない
(11)ヘイトスピーチ解消法（「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」／2016(平成28)年施行）	1	2	3
(12)部落差別解消推進法（「部落差別の解消の推進に関する法律」／2016(平成28)年施行）	1	2	3
(13)大阪府障がい者差別解消条例（「大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」／2016(平成28)年施行）	1	2	3
(14)大阪府性の多様性理解増進条例（「大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例」／2019(令和元)年施行）	1	2	3
(15)大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例（「大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例」／2019(令和元)年施行）	1	2	3
(16)アイヌ民族支援法（「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」／2019(令和元)年施行）	1	2	3
(17)貝塚市パートナーシップ宣誓制度（2020(令和2)年施行）	1	2	3

問7 あなたが仮に、結婚相手など、パートナーを決めるとしたら、その人について重視することはどんなことだと思いますか。次の中から該当するものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

1 人柄や性格	2 身なり・容姿
3 趣味や価値観	4 仕事に対する理解と協力
5 家事や育児に対する理解と協力	6 経済力
7 学歴	8 職業
9 家族構成	10 健康
11 家柄	12 離婚歴
13 本籍・出生地	14 国籍、民族
15 相手やその家族が障害者かどうか	16 相手やその家族の宗教
17 ひとり親家庭かどうか	
18 同和地区の出身であると言われていないかどうか	
19 その他（具体的に： ）	

* 「同和地区」について（これ以降の質問でも同様）

我が国では同和問題の解決に向け、平成14(2002)年3月に「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下、「同法」という。）が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組みが積極的に進められてきました。

この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、同法（平成14(2002)年3月失効）によって指定されていた対象地域を示しています。

女性に関する人権についておたずねします。

問8 あなたは、女性の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。(1)～(7)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題だ と思う	2 どちらか かといえ ば問題だ と思う	3 あまり 問題だ と思わ ない	4 問題だ と思わ ない	5 わか らな い
(1) 男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること	1	2	3	4	5
(2) 女性ということで、同じ勤続年数の男性よりも、給料や昇進で低い評価を受けること	1	2	3	4	5
(3) 職場において、妊娠や出産、育児等を理由に急に仕事を減らされたり、会社を辞めるよう言われたりすること	1	2	3	4	5
(4) 恋人や配偶者・パートナーが携帯電話やスマートフォンの通信履歴を見ること	1	2	3	4	5
(5) 職場で「まだ結婚しないのか」などと何度も聞かれること	1	2	3	4	5
(6) 女性の政治家や管理職が少ないなど、女性が政策や方針などの決定に参画する機会が少ないこと	1	2	3	4	5
(7) 自治会長など地域の役職は慣習的に男性がつとめていること	1	2	3	4	5

〔自由意見欄〕 そのほか、あなたが女性の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

子どもに関する人権についておたずねします。

問9 あなたは、子どもの人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。(1)～(8)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題だ と思う	2 どちらか かといえ ば問題だ と思う	3 あまり 問題だ と思わ ない	4 問題だ と思わ ない	5 わか らな い
(1)子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること	1	2	3	4	5
(2)子ども同士の「仲間はずれ」、「無視」など	1	2	3	4	5
(3)SNSなどインターネットを使ったいじめが起きていること	1	2	3	4	5
(4)学校の規則等を定める際に子どもの意見表明の場がないこと	1	2	3	4	5
(5)教師が子どもに体罰を加えること	1	2	3	4	5
(6)実在する子どもの性的描写は法律で規制されているが、漫画やアニメの性的描写は規制されていないこと	1	2	3	4	5
(7)家庭の経済的事情によって教育に格差が生じていること	1	2	3	4	5
(8)家事や家族の世話・介護などを日常的に子どもが行っていること	1	2	3	4	5

【自由意見欄】 そのほか、あなたが子どもの人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

高齢者に関する人権についておたずねします。

問10 あなたは、高齢者の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。(1)～(8)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題だ と思う	2 どちら かとい えは 問題だ と思う	3 あまり 問題だ と思 わない	4 問題だ と思 わない	5 わか らな い
(1)働ける能力を発揮する機会がないこと	1	2	3	4	5
(2)悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	1	2	3	4	5
(3)集団生活である高齢者施設では、日常生活での自己決定の機会がないこと	1	2	3	4	5
(4)情報がひとり暮らしの高齢者に十分に伝わらないこと	1	2	3	4	5
(5)家族が世話をすることを避けたり、家族から虐待を受けたりすること	1	2	3	4	5
(6)認知症の高齢者が電車ではねられる事故を起こし、家族に損害賠償が請求されること	1	2	3	4	5
(7)高齢者の意志が尊重されず、家族の都合で施設入所が決められてしまうこと	1	2	3	4	5
(8)高齢者だけでは賃貸住宅などへの入居が難しいこと	1	2	3	4	5

[自由意見欄] そのほか、あなたが高齢者の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

障害者に関する人権についておたずねします。

問11 あなたは、障害者の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。(1)～(7)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題だ と思う	2 どちらか かといえ ば問題だ と思う	3 あまり 問題だ と思わ ない	4 問題だ と思わ ない	5 わか らない
(1)精神疾患や精神障害に対し、いまだ社会に強い偏見や理解不足があること	1	2	3	4	5
(2)社内に適切な仕事がないことなどを理由に、障害者雇用に企業が積極的に取り組まないこと	1	2	3	4	5
(3)手話や音声案内など、情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	1	2	3	4	5
(4)知的障害、精神障害等により判断能力が十分でないことを理由に後見人や家族が財産を勝手に処分すること	1	2	3	4	5
(5)車いすの利用に配慮した段差の解消やスロープの設置が進まないこと	1	2	3	4	5
(6)スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が十分でないこと	1	2	3	4	5
(7)店舗などで店員が障害者本人を避け、その介助者や家族ばかりにコミュニケーションをとろうとすること	1	2	3	4	5

【自由意見欄】 そのほか、あなたが障害者の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

外国人に関する人権についておたずねします。

問12 あなたは、外国人の人権にかかわる次の問題についてどう思われますか。(1)～(8)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題だ と思う	2 どちらか 問題だと思 う といえ ば	3 あまり 問題だ と思わ ない	4 問題だ と思わ ない	5 わか らない
(1)就職や仕事の内容・待遇などで、国籍や民族を理由に不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(2)外国人を労働者として雇用しているにもかかわらず、健康保険に加入させない事業者があること	1	2	3	4	5
(3)選挙権がなく、政治に意見が十分に反映されないこと	1	2	3	4	5
(4)外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいること	1	2	3	4	5
(5)働いている外国人に、日本名（通称名）の使用を求めること	1	2	3	4	5
(6)結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること	1	2	3	4	5
(7)病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと	1	2	3	4	5
(8)特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）があること	1	2	3	4	5

[自由意見欄] そのほか、あなたが外国人の人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

インターネットによる人権侵害についておたずねします。

問13 あなたは、インターネットによる次の人権問題についてどう思われますか。(1)～(7)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題 だと思 う	2 ど ち ら か と い え ば 問 題 だ と 思 う	3 あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	4 問 題 だ と 思 わ な い	5 わ か ら な い
(1) <small>ひぼう</small> 誹謗中傷がたちまちのうちに拡散してしまうこと	1	2	3	4	5
(2) フェイクニュース（真実ではない情報）や誤った情報が拡散されること	1	2	3	4	5
(3) 有害な書き込みによる被害を訴えても、書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要すること	1	2	3	4	5
(4) 子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していること	1	2	3	4	5
(5) 誹謗中傷されている人の気持ちを考えず、書き込みをリツイートしさらに広めること	1	2	3	4	5
(6) 事件報道を受け、被害者や加害者の個人情報がネットに掲載されること	1	2	3	4	5
(7) 問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること	1	2	3	4	5

【自由意見欄】 そのほか、あなたがインターネットで人権を脅かされることについて問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

性的マイノリティ（性的指向の異なる人や性別違和など）の人権についておたずねします。

問14 あなたは、性的マイノリティに関する次の人権問題についてどう思われますか。(1)～(7)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題だ と思う	2 どちらか と い え ば 問 題 だ と 思 う	3 あ ま り 問 題 だ と 思 わ な い	4 問 題 だ と 思 わ な い	5 わ か ら な い
(1)性的指向が異なることを理由に、就職活動や職場において不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(2)職場や学校などでいやがらせやいじめを受けること	1	2	3	4	5
(3)じろじろ見られたり、避けられたりすること	1	2	3	4	5
(4)同性カップルが賃貸住宅などに入居することを拒否されること	1	2	3	4	5
(5)性的マイノリティについて相談する場所が十分でないこと	1	2	3	4	5
(6)本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められること（アウトティング）	1	2	3	4	5
(7)パートナーがいても婚姻と同等に扱われないこと	1	2	3	4	5

【自由意見欄】 そのほか、あなたが性的マイノリティの人権について問題だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

同和問題についておたずねします。

問15 あなたは、同和問題に関する次の差別や人権問題についてどう思われますか。(1)～(8)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1 問題だ と思う	2 どちらか かといえ ば問題だ と思う	3 あまり 問題だ と思わ ない	4 問題だ と思わ ない	5 わか らな い
(1)就職において不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(2)結婚の際、周囲から反対を受けること	1	2	3	4	5
(3)日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること	1	2	3	4	5
(4)インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	1	2	3	4	5
(5)インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	1	2	3	4	5
(6)身元調査をされること	1	2	3	4	5
(7)行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせる人がいること	1	2	3	4	5
(8)引っ越しや住宅の購入で、同和地区を避ける人がいること	1	2	3	4	5

[自由意見欄] そのほか、あなたが同和問題について差別や人権侵害だと思っていることがあれば自由にご記入ください。

問16 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 1 身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う
- 2 よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う
- 3 身元調査をすることは当然のことだと思う
- 4 わからない

問17 あなたが、同和地区や同和问题（部落差別）について初めて知ったきっかけは、何からですか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 1 家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた
- 2 親戚しんせきの人から聞いた
- 3 近所の人から聞いた
- 4 職場の人から聞いた
- 5 友だちから聞いた
- 6 学校の授業で教わった
- 7 テレビ・ラジオ・新聞・映画・本等で知った
- 8 インターネットで知った
- 9 部落差別（同和问题）に関する集会や研修会で知った
- 10 大阪府の「府政だより」や「広報かいつか」など、行政の広報紙・冊子等で知った
- 11 被差別部落（同和地区）や部落差別（同和问题）について、知っているが、きっかけは覚えていない
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 被差別部落（同和地区）や部落差別（同和问题）について、知らない

問18 もし、あなたのお子さん（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください）が恋愛をし、結婚をしたいと言っている相手が同和地区の人であった場合、あなたは親として、どのような態度をとると思いますか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 1 反対する
- 2 迷いながらも、結局は反対する
- 3 迷いながらも、結局は賛成する
- 4 賛成する
- 5 わからない

問19 もし、あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区にある物件、もしくは小中学校区に同和地区がある物件ならばどのようにすると思いますか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 1 同和地区や同じ小中学校区にある物件は避けると思う
- 2 同和地区である物件は避けるが、同じ小中学校区にある物件は避けないと思う
- 3 いずれにあってもこだわらないと思う
- 4 わからない

人権問題に関する学習やその解決に向けた取組についておたずねします。

問20 あなたは、人権問題について、学校の授業等で学んだことがありますか。次の中から該当するものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1 小学校で学んだ	2 中学校で学んだ
3 高校・高等専修学校で学んだ	4 短大・大学・専門学校 (それ以上の学校も含む)で学んだ
5 学校で学んだ経験はない	6 はっきりと覚えていない

問21 あなたは、過去5年間に、人権問題に関する研修会や講演会に参加されたことがありますか。参加して人権問題に対する理解・認識は深まりましたか。(1)~(4)の各事項について、あてはまる番号1つに〇をつけてください。(参加したことがある方は1~4のうち1つに、参加したことがない方は5に、〇をつけてください。)

	参加したことがある				参加したことがない
	深まった	深まった どちらかといえば	変わらない	わからない	
(1)市主催の研修会や講演会	1	2	3	4	5
(2)地域の自治会・団体等が主催の研修会や講演会	1	2	3	4	5
(3)勤めている職場での研修会や講演会	1	2	3	4	5
(4)市民団体やNPO等が主催の研修会や講演会	1	2	3	4	5

問22 今後、貝塚市が人権問題の解決に向けて取り組むべきことについて、あなたのお考えをお聞かせください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	1 取り組むべきだ と思う	2 どちらかといえば取 り組むべきだと思 う	3 あまり取り組むべ きだと思わない	4 取り組むべきだと 思わない	5 わからない
(1)広報活動の推進	1	2	3	4	5
(2)人権侵害被害者の相談体制の整備・充実	1	2	3	4	5
(3)学校における人権教育の推進	1	2	3	4	5
(4)市の職員や教職員、社会教育関係職員、保健・医療・福祉・介護関係者等、人権にかかわりの深い職業従事者に対する人権教育・啓発の充実	1	2	3	4	5
(5)事業者と自治体が結ぶ契約に人権基準を定め遵守させること	1	2	3	4	5

最後に、調査結果の分析のために必要ですので、あなたご自身のことについておたずねします。【答えたくない項目は回答する必要はありません。】

問23 あなたの性別についておたずねします。

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問24 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(令和4年10月1日現在)

1 18・19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上	

問25 あなたのお仕事(職業)は次のどれにあてはまりますか。

1 公務員・教職員
2 自営業・自由業
3 民間企業・団体の経営者、役員
4 民間企業・団体の従業者(会社員、団体職員)
5 臨時雇用、パート、アルバイト
6 学生
7 家事専業
8 無職
9 その他(具体的に：)

問26 人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください。

これで調査は終了になります。ご協力ありがとうございました。

本調査票は同封の返信用封筒で、令和4年11月25日(金)までに、郵便ポストにご投函くださいますようお願い申し上げます。

令和4年度 貝塚市人権問題に関する市民意識調査
報告書

令和5年4月

発行 貝塚市

編集 貝塚市 市民生活部 人権政策課

〒597-8585 大阪府貝塚市島中1丁目17番1号

電話 072-433-7160 FAX 072-433-7511

E-mail : jinkenseisaku@city.kaizuka.lg.jp

